

議事日程 (令和8年2月27日 午後1時30分)

日程 番号	議事		
1	1月教育委員会会議録の承認		
2	会議録署名委員の指名		
3	教育長報告		
4	議題		
	(1)	議案第2号	令和7年度教育費補正予算に係る意見聴取について
		議案第3号	令和8年度教育費予算に係る意見聴取について
		議案第4号	令和8年度学校教育の重点方針について
	(2)	その他1	令和8年度 今治市教育行政の重点方針及び事業について
		その他2	今治市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について
		その他3	寄附採納報告について

## 2月教育委員会教育長報告

先月の定例教育委員会以降に開催された主な行事及び今後の教育委員会関係等の主な行事予定を下記のとおり記載し、教育長報告とさせていただきます。

## 記

## 1 報告

- 1月27日(火) 教頭会
- 2月 2日(月) 第3回地元代表者協議会(大島地区)
- 2月 4日(水) 少年式
- 2月 5日(木) 第3回地元代表者協議会(大三島地区)
- 2月 6日(金) 劇団四季ミュージカル「王子と少年」公演
- 2月 9日(月) 研修主任会
- 2月10日(火) ものづくり体験講座発表会(大島中)、生徒指導主事会
- 2月12日(木) 第3回地元代表者協議会(玉川地区)
- 2月13日(金) ふるさとキャリア教育発表大会、第3回地元代表者協議会(菊間地区)
- 2月17日(火) 加根又育英会理事会、学校給食運営審議会
- 2月18日(水) 檜垣育英会理事会、河野育英会理事会
- 2月20日(金) 臨時議会
- 2月25日(水) 今治市児童生徒顕彰表彰式
- 2月27日(金) 2月定例教育委員会

## 2 予定

- 3月 1日(日) 「俳句キッズわくわくコンテスト」表彰式、県立高等学校卒業式  
地区文化祭(日高、近見、富田)
- 3月 2日(月) 今治市議会定例会(初日)
- 3月 5日(木) 県立高等学校一般入試(～3月6日)
- 3月 6日(金) 今治市議会(代表質問)
- 3月 9日(月) 今治市議会質疑・一般質問(～3月10日)
- 3月11日(水) 臨時教育委員会
- 3月14日(土) 発明クラブ表彰式
- 3月15日(日) 今治中央公民館文化祭
- 3月17日(火) 今治市公立中学校卒業式、JFAアカデミー今治9期生卒校式
- 3月18日(水) 今治市議会(教育厚生委員会)
- 3月23日(月) 3月定例教育委員会
- 3月24日(火) 今治市公立小学校卒業式
- 3月25日(水) 今治市公立小・中学校修了式、今治市議会(最終日)

資料 1

第2回教育委員会議案第2号

令和7年度教育費補正予算に係る意見聴取について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第29条の規定により、今治市長より意見を求められたため、令和7年度教育費補正予算について、意見を聴取する。

令和8年2月27日 提出

今治市教育委員会  
教育長 小澤 和樹

令和7年度今治市一般会計補正予算（第8号）

令和7年度今治市の一般会計補正予算（第8号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3,991,517千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ89,332,974千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

（繰越明許費の補正）

第2条 繰越明許費の追加は、「第2表 繰越明許費補正」による。

（地方債の補正）

第3条 地方債の変更は、「第3表 地方債補正」による。

令和8年3月2日提出

今治市長 徳永繁樹

令和7年度 教育費（総括）

（単位 千円）

教育費現計予算	9,943,673
今回補正額	151,925
計	10,095,598

歳 入

款 項 目	補 正 前	補 正 額	計
15 国庫支出金	13,361,956	692,778	14,054,734
2 国庫補助金	3,561,838	190,446	3,752,284
9 教育費国庫補助金	262,538	15,365	277,903
18 寄附金	4,140,791	1,034,460	5,175,251
1 寄附金	4,140,791	1,034,460	5,175,251
1 一般寄附金	3,088,831	934,460	4,023,291
22 市 債	5,059,100	200,800	5,259,900
1 市 債	5,059,100	200,800	5,259,900
8 教育債	2,053,900	20,900	2,074,800

(単位 千円)

節		説明
区分	金額	
6 文化振興費	2,500	地域未来交付金(1/2)
9 体育施設費	7,677	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
10 図書館費	5,188	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
1 一般寄附	934,460	一般寄附金(ふるさと納税) 800,000 一般寄附金(ふるさと納税・スポーツ版) 9,460 一般寄附金(企業版ふるさと納税版) 125,000
2 小学校管理債	13,100	小学校施設整備債 △ 58,500 小学校施設整備債(緊急防災・減災事業債) 5,000 小学校施設整備債(防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債) 66,600
3 中学校管理債	7,300	中学校施設整備債 △ 32,900 中学校施設整備債(緊急防災・減災事業債) 4,000 中学校施設整備債(防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債) 36,200
6 公民館債	200	公民館施設債(緊急防災・減災事業債)
7 体育施設債	300	体育施設整備債(過疎対策事業債)

歳 出

款 項 目	補 正 前	補 正 額	計	補正予算額の財源内訳	
				特定財源	一般財源
10 教育費	9,943,673	151,925	10,095,598	149,425	2,500
4 社会教育費	2,608,071	10,188	2,618,259	7,688	2,500
6 図書館費	291,212	5,188	296,400	5,188	0
				(内訳) 国庫支出金 5,188	
7 文化振興費	92,183	5,000	97,183	2,500	2,500
				(内訳) 国庫支出金 2,500	
5 保健体育費	2,772,329	141,737	2,914,066	141,737	0
1 保健体育総務費	476,318	134,060	610,378	134,060	0
				(内訳) 寄附金 134,060	
2 体育施設費	929,829	7,677	937,506	7,677	0
				(内訳) 国庫支出金 7,677	

(単位 千円)

節		説明	目の説明
区分	金額		
18 負担金補助 及び交付金	5,188	補助金 指定管理施設燃料費等高騰対応事業費	図書館管理運営費 5,188
12 委託料	5,000	その他委託料 えひめアートプロジェクト事業委託料	文化振興事業費 5,000
24 積立金	134,060	スポーツ振興基金積立金	スポーツ振興基金費 134,060
18 負担金補助 及び交付金	7,677	補助金 指定管理施設燃料費等高騰対応事業費	体育施設管理運営費 7,677

第2表 繰越明許費補正  
1 追加

(単位 千円)

款	項	事業名	金額
10 教育費	2 小学校費	施設管理費	8,098
	3 中学校費	施設管理費	251
	4 社会教育費	埋蔵文化財調査事業	44,167
		文化振興事業	5,000
	5 保健体育費	体育施設管理運営費	10,010



「参考」

令和7年度一般会計繰越明許費に関する説明

1 追加

款 項 目	事 業 名	現 計 予 算 額	支 出 済 及 び 支 出 見 込 額	残 額	左 の うち 翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
10 教 育 費						
2 小学校費						
1 小学校管理費	施設管理費	932,144	865,140	67,004	8,098	58,906
3 中学校費						
1 中学校管理費	施設管理費	504,448	468,147	36,301	251	36,050
4 社会教育費						
4 文化財保護費	埋蔵文化財調査 事業	118,898	70,668	48,230	43,230	5,000
7 文化振興費	文化振興事業	88,729	83,729	5,000	5,000	0
5 保健体育費						
2 体育施設費	体育施設管理運 営費	950,776	940,766	10,010	10,010	0

(単位 千円)

翌年度繰越額明細			繰越額の財源内訳
節	金額	説明	
14 工事請負費	8,098	変圧器等取替工事	○未収入特定財源 市債 6,000 ○一般財源 2,098
14 工事請負費	251	変圧器等取替工事	○未収入特定財源 市債 100 ○一般財源 151
14 工事請負費	43,230	能島城跡保存整備工事	○未収入特定財源 国庫支出金 21,615 市債 21,615
12 委託料	5,000	その他委託料 えひめアートプロジェクト事業委託料	○未収入特定財源 国庫支出金 2,500 ○一般財源 2,500
14 工事請負費	10,010	体育施設整備工事	○一般財源 10,010

第 2 回教育委員会議案第 3 号

令和 8 年度教育費予算に係る意見聴取について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第29条の規定により、今治市長より意見を求められたため、令和8年度教育費予算について、意見を聴取する。

令和 8 年 2 月 27 日 提出

今治市教育委員会

教育長 小澤 和樹

令和8年度今治市一般会計予算

令和8年度今治市の一般会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ85,300,000千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

(債務負担行為)

第2条 地方自治法（昭和22年法律第67号）第214条の規定により債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額は、「第2表 債務負担行為」による。

(地方債)

第3条 地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第3表 地方債」による。

(一時借入金)

第4条 地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は、12,000,000千円と定める。

(歳出予算の流用)

第5条 地方自治法第220条第2項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 各項に計上した給料、職員手当等及び共済費に係る予算額に過不足が生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用

令和8年3月2日 提出

今治市長 徳永繁樹

## 令和8年度歳出予算総括表

(単位 千円)

項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
一般会計	85,300,000	81,300,000	4,000,000
教育費	9,511,123	9,487,025	24,098
構成比	11.2 <sup>(%)</sup>	11.7 <sup>(%)</sup>	△ 0.5 <sup>(%)</sup>
教育総務費	1,302,133	1,126,462	175,671
小学校費	1,503,000	2,283,491	△ 780,491
中学校費	1,256,711	1,091,346	165,365
社会教育費	2,154,813	2,592,654	△ 437,841
保健体育費	3,294,466	2,393,072	901,394

歳 入

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
13 分担金及び負担金			
2 負 担 金			
3 教育費負担金	3,925	4,018	△ 93
14 使用料及び手数料			
1 使 用 料			
8 教育使用料	68,032	62,391	5,641

(単位 千円)

節		説明	
区分	金額		
1 小学校管理費	2,534	日本スポーツ振興センター共済掛金保護者負担金	
2 中学校管理費	1,391	日本スポーツ振興センター共済掛金保護者負担金	
1 教育諸費	314	教職員住宅目的外使用料	
2 小学校管理	1,956	小学校屋内運動場使用料	1,573
		学校施設目的外使用料	383
3 中学校管理	1,224	中学校屋内運動場使用料	1,218
		学校施設目的外使用料	6
4 文化財保護	430	牛神古墳公園目的外使用料	
5 公民館	5,669	公民館使用料	4,418
		美須賀コミュニティプラザ使用料	10
		開発総合センター使用料	428
		吉海学習交流館使用料	400
		公民館目的外使用料	343
		開発総合センター目的外使用料	10
		吉海学習交流館目的外使用料	60
6 社会教育施設	32,537	朝倉ふるさと美術古墳館使用料	180
		大西藤山歴史資料館使用料	10
		大西藤山歴史資料館観覧料	150
		吉海郷土文化センター使用料	5
		吉海郷土文化センター観覧料	450
		村上海賊ミュージアム使用料	400
		村上海賊ミュージアム観覧料	15,000
		上浦歴史民俗資料館使用料	300
		上浦歴史民俗資料館観覧料	528
		大三島少年自然の家使用料	8,500
		大三島美術館観覧料	4,000
		大三島美術館目的外使用料	1
		伊東豊雄建築ミュージアム観覧料	3,000
		伊東豊雄建築ミュージアム目的外使用料	1
		上浦歴史民俗資料館目的外使用料	12

歳 入

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
15 国庫支出金			
2 国庫補助金			
8 教育費国庫補助金	217,756	239,233	△ 21,477
16 県支出金			
2 県補助金			
8 教育費県補助金	359,260	378,267	△ 19,007

(単位 千円)

節		説明	
区分	金額		
7 体育施設	25,902	運動場使用料	19,303
		学校運動場夜間照明施設使用料	39
		市営体育館使用料	2,033
		B&G海洋センター使用料	395
		体育施設目的外使用料	1,292
		みやくぼ石文化交流館使用料	1,371
		艇庫使用料	1,469
1 小学校管理費	22,359	学校施設環境改善交付金(1/2・1/3)	22,340
		へき地児童生徒援助費(1/2)	19
2 小学校教育振興費	2,656	要保護児童扶助費(1/2)	145
		特別支援教育児童扶助費(1/2)	2,511
3 中学校管理費	45,784	学校施設環境改善交付金(1/2・1/3)	45,765
		へき地児童生徒援助費(1/2)	19
4 中学校教育振興費	4,842	要保護生徒扶助費(1/2)	372
		特別支援教育生徒扶助費(1/2)	3,920
		理科教育設備整備費(1/2)	550
5 文化財保護費	38,954	埋蔵文化財発掘調査費(1/2)	36,481
		文化財保存活用地域計画作成事業費(10/10)	2,473
6 文化振興費	6,814	地域未来交付金(1/2)	
7 社会教育施設費	31,451	地域未来交付金(1/2)	
8 学校給食費	64,896	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	
1 事務局費	7,267	スクール・サポート・スタッフ配置事業費(3/5) 国	
2 小学校管理費	2,008	ハートなんでも相談員設置事業費(1/3)	1,488
		スクールソーシャルワーカー活用事業費(3/5) 国	220
		研究指定事業費(10/10)	300

歳 入

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
3 委 託 金			
5 教育費委託金	37,686	42,061	△ 4,375
17 財産収入			
1 財産運用収入			
2 利子及び配当金	3,172	1,562	1,610
2 財産売払収入			
1 不動産売払収入	6,585	0	6,585
18 寄 附 金			
1 寄 附 金			
1 一般寄附金	301,010	23,010	278,000
6 教育費寄附金	220	23,500	△ 23,280

(単位 千円)

節		説明	
区分	金額		
3 中学校管理費	4,500	ハートなんでも相談員設置事業費(1/3)	186
		スクールソーシャルワーカー活用事業費(3/5) 国	660
		部活動指導員配置促進事業費(2/3) 国	702
		部活動の地域展開・地域クラブ活動推進事業(2/3) 国	2,952
4 社会教育総務費	1,504	学校・家庭・地域連携推進事業費(2/3) 国	
5 学校給食費	343,981	給食費負担軽減交付金(10/10) 国	
1 教育諸費	70	校内サポートルーム設置事業費 国	
2 小学校管理費	200	研究指定事業費 国	
3 社会教育総務費	176	地域改善対策高等学校等奨学金事務費	
4 学校給食費	37,240	給食施設運営費	
1 利子	3,172	文化施設基金預金利子	1,281
		文化振興基金預金利子	30
		河野美術館運営基金預金利子	120
		郷土文化保存基金預金利子	160
		教育施設整備基金預金利子	59
		大三島美術館基金預金利子	13
		奨学金貸付基金預金利子	608
		教育応援基金預金利子	1
		スポーツ振興基金預金利子	900
1 土地建物	6,585	鴨部小学校用地売払代金	
1 一般寄附	301,010	一般寄附金(企業版ふるさと納税)	301,000
		一般寄附金(ふるさと納税・教育応援事業)	10
1 体育施設費	220	日本遺産魅力発信推進事業費	

歳 入

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
21 諸 収 入			
4 受託事業収入			
○ 教育費受託事業収入	0	38,937	△ 38,937
5 雑 入			
3 雑 入	82,695	82,695	0

(単位 千円)

節		説明	
区分	金額		
47 事務局費	3,020	職員健康診断共済組合助成金	600
		語学指導助手住宅賃借料	2,320
		職員検診負担金	100
48 教育諸費	3,982	市民総合災害補償金	890
		賠償責任保険金	10
		教職員住宅入居料	2,772
		スクールバス利用料	28
		自動車重量税返戻金	1
		自動車賠償責任保険解約返戻金	1
		建物損害共済解約返戻金	1
		自動車損害共済保険金	1
		自動車損害共済解約返戻金	1
		建物損害共済保険金	1
		ワークショップ参加料	276
49 小学校管理費	6,001	日本スポーツ振興センター共済給付金	5,500
		小学校夜間照明電気利用料	41
		日本スポーツ振興センター共済掛金返還金	141
		旧城東小学校電気料金	1
		子ども舞台芸術体験サポートシステム助成金	318
50 中学校管理費	7,591	日本スポーツ振興センター共済給付金	7,000
		委託公衆電話度数料	92
		私用電話料	125
		中学校夜間照明電気利用料	462
		日本スポーツ振興センター共済掛金返還金	89

歳 入

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較
22 市 債			
1 市 債			
8 教育債	1,284,500	2,043,900	△ 759,400

(単位 千円)

節		説明	
区分	金額		
51 文化財保護費	91	施設電気料金等	91
52 公民館費	5,342	生涯学習講座受講料	1,365
		資料複写料	72
		委託公衆電話度数料	1
		公民館電気料金等	3,901
		私用電話料	2
		コインロッカー利用料	1
53 文化振興費	2,080	県展移動展補助金	30
		村上海賊キャラクター使用許諾料	50
		自治総合センター助成金	2,000
54 社会教育施設費	12,861	少年自然の家給食費	9,000
		歴史探検隊参加料	30
		バーベキュー燃料販売代金	700
		講座等受講料	1
		施設電気料金等	1,887
		イベント参加料	1
		VR体験料	240
		委託公衆電話度数料	2
		芸術文化振興基金助成金	1,000
55 保健体育総務費	60	地域密着型プロスポーツ応援イベント助成金	50
		地域応援促進事業助成金	10
56 体育施設費	6,942	しまなみドーム物品販売代金	594
		B&G海洋センター助成金	1,063
		みやくぼ石文化交流館設備利用料	8
		生涯学習講座受講料	21
		スポーツ振興くじ助成金	2,015
		JFAアカデミー電気料金等	3,241
1 教育諸債	16,300	過疎地域持続的発展事業債(過疎対策事業債)	

歲 入

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較

(単位 千円)

節		説明
区分	金額	
2 小学校管理債	531,400	小学校施設整備債 305,400
		小学校施設管理債 57,900
		小学校施設管理債(緊急防災・減災事業債) 17,000
		小学校施設整備債(過疎対策事業債) 104,500
		小学校施設管理債(デジタル活用推進事業債) 10,200
		小学校施設管理債(公共施設等適正管理推進事業債) 36,400
3 中学校管理債	533,700	中学校施設整備債 410,200
		中学校施設整備債(緊急防災・減災事業債) 11,700
		中学校施設管理債(緊急防災・減災事業債) 6,500
		中学校施設整備債(過疎対策事業債) 100,000
		中学校施設管理債(デジタル活用推進事業債) 5,300
4 文化財保護債	36,000	史跡能島城跡保存整備事業債(過疎対策事業債) 30,900
		過疎地域持続的発展事業債(過疎対策事業債) 5,100
5 公民館債	119,800	公民館施設債(過疎対策事業債)
6 社会教育施設債	25,200	村上海賊ミュージアム管理運営債(過疎対策事業債) 20,200
		大三島美術館管理運営債(過疎対策事業債) 5,000
7 体育施設債	13,000	体育施設整備債(過疎対策事業債)
8 学校給食債	9,100	給食施設債(過疎対策事業債)

歳 出

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	補正予算額の財源内訳	
				特定財源	一般財源
10 教育費	9,511,123	9,487,025	24,098	2,841,990	6,669,133
1 教育総務費	1,302,133	1,126,462	175,671	41,098	1,261,035
1 教育委員会費	5,695	5,640	55	0	5,695
2 事務局費	1,058,684	892,226	166,458	16,287	1,042,397
				(内訳)	
				県支出金	
				7,267	
				繰入金	
				6,000	
				諸収入	
				3,020	

一般会計 歳出 (教育費)

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
1 報 酬	4,920	教育委員会委員(4人)	委員会運営費 5,695
8 旅 費	227	費用弁償	
9 交際費	40	委員会交際費	
10 需用費	10	食糧費	
13 使用料及び 賃借料	396	ソフトウェア使用料	
18 負担金補助 及び交付金	102	負担金 県市町教育委員会連合会	
1 報 酬	330,480	公務災害補償等認定委員会委員(3人) 21 小中学校空調設備整備検討審議会(5人) 67 いじめ防止対策委員会委員(5人) 168 パートタイム会計年度任用職員給(194人) 330,224	職員給与費 355,230 事務局運営費 14,255
2 給 料	189,227	教育長給 1人 8,256 一般職給 41人 180,971	教育研究所運営費 7,995
3 職員手当等	193,355	扶養手当 6,630 住居手当 2,199	職員厚生費 7,957 語学指導外国青年招致費 129,207

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源

一般会計 歳出（教育費）

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
		通勤手当	2,594
		特別職通勤手当	24
		時間外勤務手当	6,900
		管理職員特別勤務手当	200
		管理職手当	11,178
		一般職期末手当	84,046
		特別職期末手当	2,890
		勤勉手当	70,460
		児童手当	5,490
		教員特別手当	744
4 共 済 費	142,664	一般職共済組合負担金	60,620
		特別職共済組合負担金	2,302
		災害補償基金負担金	798
		社会保険料	49,519
		一般職共済組合負担金(会計年度任用職員)	29,425
5 災害補償費	500	療養休業補償費	
7 報 償 費	7,160	講師等謝礼金	1,709
		学生ボランティア謝礼金	2,103
		学校司書謝礼金	3,348
8 旅 費	19,716	費用弁償	18,796
		普通旅費	920
10 需 用 費	4,467	消耗品費	3,814
		燃料費	100
		食糧費	25
		印刷製本費	278
		備品修繕料	250
11 役 務 費	1,422	通信運搬費	188
		手数料	855
		その他保険料	379
12 委 託 料	144,401	その他委託料	142,729
		配信業務委託料	100
		駐車場整理委託料	259
		職員健康診断委託料	7,400
		国際交流推進業務委託料	119,570
		子ども体力向上対策事業委託料	3,500
		子ども体力向上推進分析等委託料	2,500
		スコア型英語技能テスト実施業務委託料	9,400
		電子計算業務委託料	1,672
		教育システム委託料	

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
3 教育諸費	237,754	228,596	9,158	24,811	212,943
				(内訳)	
				県支出金	70
				地方債	16,300
				寄附金	1,010
				繰入金	2,467
				財産収入	668

一般会計 歳出 ( 教 育 費 )

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
13 使用料及び 賃借料	7,941	自動車賃借料 280 複写機使用料 1,362 有料道路通行料 277 乗船料 2 システム使用料 752 テレビ受信料 22 住宅賃借料 5,246	
17 備品購入費	674	戸棚・箱 80 電気器具 500 車両 94	
18 負担金補助 及び交付金	16,673	負担金 1,895 四国都市教育長連絡協議会 12 全国都市教育長協議会 144 諸会出席 147 県へき地教育振興会 81 県公立学校施設整備期成会 30 県特別支援学級設置学校長協会 120 職員健康診断共済組合 557 自治体国際化協会 804 補助金 6,758 育英会事業費 1,758 英語検定受検料支援事業費 5,000 交付金 7,995 教育研究所 石綿健康被害一般拋出金 25	
21 補償補填及 び賠償金	4	損害賠償金	
1 報 酬	4,433	市奨学生選考委員(4人) 54 パートタイム会計年度任用職員給(2人) 4,379	教育財産等管理費 11,982
3 職員手当等	1,720	一般職期末手当 922 勤勉手当 798	児童生徒健全育成地域活動 費
4 共 済 費	1,025	社会保険料 630 一般職共済組合負担金(会計年度任用職員) 395	4,860 高校・大学振興費
7 報 償 費	40,087	謝礼金 96 講師等謝礼金 3,019 不登校対策支援員謝礼金 36,754 賞品・記念品 218	18,018 愛と心をつなぐ不登校対策 事業費 50,720
8 旅 費	839	費用弁償 786 普通旅費 53	遠距離通学費 118,377

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
				使用料 314	
				諸収入 3,982	

一般会計 歳出 ( 教 育 費 )

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明	
区 分	金 額			
10 需用費	7,412	消耗品費	1,916	児童生徒理科教育推進費
		燃料費	105	500
		食糧費	52	教職員住宅管理費
		印刷製本費	491	4,903
		光熱水費	898	教育施設整備基金費
		備品修繕料	50	443
		維持修繕料	3,900	奨学金貸付事業費
11 役務費	11,848	通信運搬費	203	1,239
		手数料	1,034	普通財産管理費
		火災保険料	6,563	1,893
		自動車損害保険料	3,976	島しょ部高校魅力創造支援
		その他保険料	72	事業費
12 委託料	127,843	管理運営委託料	70	8,000
		浄化槽維持管理委託料		子どもの学び支援のための
		保守点検委託料	1,798	教育連携事業費
		消防設備保守点検委託料	156	6,049
		定期点検調査委託料	1,602	今治市越智郡小中学校書道
		電気設備保安委託料	40	展事業費
		その他委託料	125,502	649
		警備委託料	132	教育応援基金費
		不登校児童生徒等支援業務委託料	1,364	2,829
		スクールバス運行委託料	118,000	会計年度任用職員給与費
		自然科学教室開催委託料	500	7,292
		清掃等委託料	650	
		アスベスト等含有調査委託料	70	
		イベント運営委託料	4,786	
		電子計算業務委託料	473	
奨学金管理システム委託料				
13 使用料及び 賃借料	2,407	会場賃借料	150	
		テレビ受信料	47	
		空調設備賃借料	1,571	
		複写機使用料	125	
		有料道路通行料	105	
		自動車賃借料	240	
		用地賃借料	169	
17 備品購入費	50	電気器具		
18 負担金補助 及び交付金	36,585	補助金	36,385	
		児童生徒健全育成地域活動費	4,860	
		明德短期大学教育振興費	2,000	
		島しょ部高校教育振興費	15,530	

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
2 小学校費	1,503,000	2,283,491	△780,491	569,114	933,886
1 小学校管理費	1,475,585	2,215,932	△740,347	566,458	909,127
				(内訳)	
				国庫支出金	
				22,359	
				県支出金	
				2,208	
				地方債	
				531,400	
				負担金	
				2,534	
				使用料	
				1,956	
				諸収入	
				6,001	

一般会計 歳出 (教育費)

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
		フリースクール事業費 200	
		フリースクール利用児童生徒支援事業費 3,600	
		遠距離通学費 377	
		島しょ部高校魅力創造事業費 8,000	
		教育応援事業費 1,818	
		交付金 200	
		定時制教育振興費	
21 補償補填及 び賠償金	900	市民総合災害補償金 890	
		損害賠償金 10	
24 積立金	1,454	教育施設整備基金積立金 443	
		教育応援基金積立金 1,011	
26 公課費	543	自動車重量税	
27 繰出金	608	奨学金貸付基金繰出金	
1 報 酬	27,081	教育支援専門委員(4人) 80	学校運営費
		学校薬剤師(26人) 1,820	197,656
		学校医(81人) 14,106	施設管理費
		学校歯科医(26人) 4,783	645,763
		パートタイム会計年度任用職員給(24人) 6,292	施設整備費
2 給 料	18,896	パートタイム会計年度任用職員給 33人	546,510
3 職員手当等	1,647	通勤手当	健康管理費
7 報 償 費	883	賞品・記念品 77	52,273
		講師等謝礼金 806	研究指定事業費
8 旅 費	703	費用弁償 653	500
		普通旅費 50	豊かな心を育む文化芸術体
10 需 用 費	345,311	消耗品費 78,383	験事業費
		燃料費 805	5,395
		食糧費 78	会計年度任用職員給与費
		印刷製本費 995	27,488
		光熱水費 161,000	
		備品修繕料 4,050	
		維持修繕料 100,000	
11 役 務 費	31,410	通信運搬費 16,996	
		手数料 14,414	
12 委 託 料	215,854	管理運営委託料 11,559	
		浄化槽維持管理委託料 3,059	
		樹木等管理委託料 8,500	
		保守点検委託料 42,566	
		情報基盤システム保守委託料 4,876	

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源

一般会計 歳出（教育費）

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
		消防設備保守点検委託料	9,509
		電気設備保安委託料	5,400
		プールろ過機保守点検委託料	1,370
		昇降機保守委託料	3,406
		定期点検調査委託料	6,052
		空調設備保守委託料	6,615
		学校遊具等定期点検委託料	3,811
		舞台吊物設備点検委託料	1,527
		その他委託料	129,036
		児童送迎委託料	2,250
		ポータルサイト管理委託料	236
		学校用務委託料	46,212
		警備委託料	10,390
		ごみ収集委託料	4,900
		廃棄薬品収集処理委託料	397
		測量設計等委託料	300
		産業廃棄物収集処理委託料	2,382
		清掃等委託料	1,500
		漏水調査業務委託料	50
		アスベスト等含有調査委託料	367
		I C T支援員配置業務委託料	22,559
		タブレット端末運用管理委託料	419
		アカウント管理システム構築・管理委託料	2,791
		剪定・伐採屑運搬処分委託料	1,777
		危険遊具撤去処分委託料	3,500
		低濃度P C B廃棄物処分委託料	1,249
		小中学校一括L E D化事業委託料	3,010
		空調設備整備事業アドバイザー業務委託料	6,900
		児童生徒・職員健康診断委託料	12,577
		小児生活習慣病検診委託料	4,561
		会場設営等委託料	709
		電子計算業務委託料	32,693
		校務支援システム委託料	8,069
		学校図書情報管理システム委託料	18,946
		学校用グループウェア委託料	266
		通信機器更新委託料	5,236
		通信ネットワーク保守委託料	176
13 使用料及び 賃借料	115,329	テレビ受信料	942
		複写機使用料	7,163
		システム使用料	56,234

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
2 小学校教育振興費	27,415	67,559	△40,144	2,656	24,759
				(内訳) 国庫支出金 2,656	
3 中学校費	1,256,711	1,091,346	165,365	599,209	657,502
1 中学校管理費	1,189,969	1,027,465	162,504	594,367	595,602
				(内訳) 国庫支出金 45,784	

一般会計 歳出 ( 教 育 費 )

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
		会場賃借料 953	
		自動車賃借料 13,820	
		施設使用料 1,391	
		著作権使用料 798	
		機械器具賃借料 598	
		校地賃借料 8,750	
		空調設備賃借料 17,531	
		校内連絡設備賃借料 5,377	
		有料道路通行料 73	
		入場料 1,699	
14 工事請負費	671,600	屋外環境整備工事 135,000	
		バリアフリー化改修工事 51,600	
		特別教室空調設備整備工事 485,000	
15 原材料費	30	維持補修用原材料	
17 備品購入費	31,258	机・椅子 2,900	
		事務用器具 6,192	
		電気器具 2,900	
		医療器具 396	
		教育用具 18,870	
18 負担金補助 及び交付金	13,583	負担金 1,497	
		えひめICT学習支援システム 1,393	
		市学校保健会 104	
		旅費負担金 350	
		学芸選手出場	
		施設賠償責任保険料 552	
		日本スポーツ振興センター共済掛金 5,684	
		日本スポーツ振興センター共済給付金 5,500	
21 補償補填及 び賠償金	2,000	移設補償金	
		電柱等	
17 備品購入費	1,134	教育用具	児童扶助費
19 扶 助 費	26,281	特別支援教育児童扶助 5,022	26,281
		要保護・準要保護児童扶助 21,259	障害児教育推進費
			1,134
1 報 酬	14,100	学校薬剤師(15人) 1,050	学校運営費
		学校医(46人) 7,533	140,088
		学校歯科医(15人) 2,282	施設管理費
		パートタイム会計年度任用職員給(8人) 3,235	286,775

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
				県支出金	
				4,500	
				地方債	
				533,700	
				負担金	
				1,391	
				使用料	
				1,224	
				諸収入	
				7,768	

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
2 給 料	10,146	パートタイム会計年度任用職員給 14人	施設整備費 713,154
3 職員手当等	983	通勤手当	
7 報 償 費	4,420	賞品・記念品 177 講師等謝礼金 4,243	健康管理費 35,124
8 旅 費	464	費用弁償	会計年度任用職員給与費
10 需 用 費	194,797	消耗品費 52,930 燃料費 981 食糧費 45 印刷製本費 610 光熱水費 79,464 備品修繕料 3,267 維持修繕料 57,500	14,828
11 役 務 費	17,345	通信運搬費 9,689 手数料 7,626 その他保険料 30	
12 委 託 料	134,443	管理運営委託料 6,313 浄化槽維持管理委託料 1,658 樹木等管理委託料 4,655 保守点検委託料 23,325 情報基盤システム保守委託料 2,814 消防設備保守点検委託料 6,524 電気設備保安委託料 3,249 プールろ過機保守点検委託料 600 昇降機保守委託料 3,386 定期点検調査委託料 1,480 空調設備保守委託料 3,139 学校遊具等定期点検委託料 1,239 舞台吊物設備点検委託料 894 その他委託料 86,345 ポータルサイト管理委託料 127 ふるさとキャリア教育動画撮影等業務委託料 358 プログラミング教育推進業務委託料 1,000 学校用務委託料 25,923 警備委託料 5,980 ごみ収集委託料 3,265 清掃等委託料 500 廃棄薬品収集処理委託料 233 産業廃棄物収集処理委託料 2,056 漏水調査業務委託料 50 アスベスト等含有調査委託料 250	

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源

一般会計 歳出 ( 教 育 費 )

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
		ICT支援員配置業務委託料	13,015
		タブレット端末運用管理委託料	242
		アカウント管理システム構築・管理委託料	1,610
		剪定・伐採屑運搬処分委託料	1,066
		危険遊具撤去処分委託料	33
		低濃度PCB廃棄物処分委託料	88
		校舎改修設計等委託料	11,600
		小中学校一括LED化事業委託料	1,554
		空調設備整備事業アドバイザー業務委託料	5,100
		児童生徒・職員健康診断委託料	7,670
		小児生活習慣病検診委託料	4,625
		電子計算業務委託料	18,460
		校務支援システム委託料	4,656
		学校図書情報管理システム委託料	10,931
		学校用グループウェア委託料	153
		通信機器更新委託料	2,618
		通信ネットワーク保守委託料	102
13 使用料及び 賃借料	74,781	テレビ受信料	555
		複写機使用料	5,589
		システム使用料	38,274
		自動車賃借料	4,125
		会場賃借料	200
		著作権使用料	656
		校地賃借料	6,259
		空調設備賃借料	16,809
		有料道路通行料	52
		校内連絡設備賃借料	2,262
14 工事請負費	701,400	屋内環境整備工事	6,500
		バリアフリー化改修工事	90,300
		近見中学校校舎改修工事	61,200
		立花中学校校舎改修工事	57,000
		桜井中学校校舎改修工事	60,000
		特別教室空調設備整備工事	426,400
15 原材料費	20	維持補修用原材料	
17 備品購入費	24,814	机・椅子	4,624
		事務用器具	3,335
		電気器具	1,900
		医療器具	545
		教育用具	14,410

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
2 中学校教育振興費	66,742	63,881	2,861	4,842 (内訳) 国庫支出金 4,842	61,900
4 社会教育費	2,154,813	2,592,654	△437,841	324,068	1,830,745
1 社会教育総務費	331,172	317,117	14,055	1,840 (内訳) 県支出金 1,680 財産収入 160	329,332

一般会計 歳出 ( 教 育 費 )

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
18 負担金補助 及び交付金	12,256	負担金	775
		えひめICT学習支援システム	717
		市学校保健会	58
		旅費負担金	1,030
		学芸選手出場	
		施設賠償責任保険料	286
		日本スポーツ振興センター共済掛金	3,165
		日本スポーツ振興センター共済給付金	7,000
17 備品購入費	1,100	教育用具	理科教育設備整備費
19 扶 助 費	65,642	特別教育生徒扶助	7,701
		要保護・準要保護生徒扶助	57,941
			1,100
			生徒扶助費
			41,642
			給食扶助費
			24,000
1 報 酬	17,040	視聴覚ライブラリー運営委員会委員(3人)	21
		パートタイム会計年度任用職員給(8人)	17,019
			社会教育推進費
			16,409
2 給 料	124,589	一般職給 32人	社会教育推進事務費
3 職員手当等	89,700	扶養手当	2,958
		住居手当	3,513
		通勤手当	3,565
		時間外勤務手当	15,500
		管理職手当	3,572
		一般職期末手当	32,009
		勤勉手当	26,483
		児童手当	2,100
			2,844
			人権教育費
			32,514
			郷土文化保存基金費
			160
			視聴覚ライブラリー運営費
			463
			職員給与費
4 共 済 費	46,113	一般職共済組合負担金	41,891
		社会保険料	2,560
		一般職共済組合負担金(会計年度任用職員)	1,662
			249,807
			会計年度任用職員給与費
			28,975
7 報 償 費	4,420	講師等謝礼金	2,686
		賞品・記念品	1,734
8 旅 費	1,714	費用弁償	1,407
		普通旅費	307
10 需 用 費	3,602	消耗品費	1,466
		燃料費	61
		食糧費	2
		印刷製本費	1,028
		光熱水費	275

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
2 生涯学習推進費	115	1,148	△1,033	0	115
3 青少年対策費	28,810	29,917	△1,107	0	28,810

一般会計 歳出 ( 教 育 費 )

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
		備品修繕料 250	
		維持修繕料 520	
11 役 務 費	802	通信運搬費 130	
		手数料 672	
12 委 託 料	5,260	管理運営委託料 61	
		駐車場管理委託料	
		保守点検委託料 35	
		消防設備保守点検委託料	
		その他委託料 5,134	
		地域ふれあい推進事業委託料 1,312	
		放課後子ども教室委託料 1,515	
		配信業務委託料 806	
		道路通行管理業務委託料 86	
		出演業務委託料 358	
		清掃等委託料 1,057	
		電子計算業務委託料 30	
		成人式システム処理業務委託料	
13 使用料及び 賃借料	5,091	会場賃借料 2,672	
		自動車賃借料 1,421	
		駐車場使用料 116	
		施設使用料 100	
		複写機使用料 653	
		有料道路通行料 116	
		テレビ受信料 13	
18 負担金補助 及び交付金	32,681	負担金 138	
		愛護班連絡協議会 40	
		県壮年会連絡協議会 5	
		県社会教育委員連絡協議会 63	
		県メディア教育協会 30	
		旅費負担金 1,043	
		えひめ母親大会 29	
		P T A活動推進事業費 410	
		婦人教育推進事業費 604	
		交付金 31,500	
		人権教育協議会	
24 積 立 金	160	郷土文化保存基金積立金	
18 負担金補助 及び交付金	115	補助金	生涯学習振興費
		市レクリエーション協会	115

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
4 文化財保護費	165,743	163,192	2,551	75,618	90,125
				(内訳)	
				国庫支出金	
				38,954	
				地方債	
				36,000	

一般会計 歳出 ( 教 育 費 )

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明	
区 分	金 額			
1 報 酬	12,823	青少年センター運営協議会委員 (10人) 67	青少年補導事業費 5,483	
		青少年問題協議会委員 (8人) 54		
		パートタイム会計年度任用職員給 (6人) 12,702		青少年健全育成推進事業費
3 職員手当等	4,707	一般職期末手当 2,523	2,251	
		勤勉手当 2,184		会計年度任用職員給与費
4 共 済 費	3,117	社会保険料 1,885	21,076	
		一般職共済組合負担金 (会計年度任用職員) 1,232		
7 報 償 費	4,547	街頭補導謝礼金 3,700		
		講師等謝礼金 20		
		賞品・記念品 717		
		謝礼金 110		
8 旅 費	602	費用弁償 560		
		普通旅費 42		
10 需 用 費	1,087	消耗品費 300		
		燃料費 87		
		食糧費 10		
		印刷製本費 590		
		備品修繕料 100		
11 役 務 費	52	通信運搬費		
13 使用料及び 賃借料	654	自動車賃借料 510		
		複写機使用料 144		
17 備品購入費	310	車両		
18 負担金補助 及び交付金	911	負担金 35		
		県少年補導委員連絡協議会 25		
		県少年補導センター連絡協議会 10		
		補助金 778		
		ガールスカウト 72		
		海洋少年団 113		
		青少年社会活動費 (市青少年団体連絡協議会) ) 405		
		青年社会事業費 (市VYS連絡協議会) 75		
		ボーイスカウト 113		
		青少年補導委員傷害保険料 98		
1 報 酬	134	文化財保護審議会委員 (10人)	文化財保護事業費	
2 給 料	34,851	フルタイム会計年度任用職員給 3人 9,809	27,773	
		パートタイム会計年度任用職員給 26人 25,042		埋蔵文化財調査事業費
3 職員手当等	13,415	通勤手当 611	79,579	
		時間外勤務手当 300		埋蔵文化財保存管理費
		一般職期末手当 6,639		

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
				財産収入	
				143	
				使用料	
				430	
				諸収入	
				91	

一般会計 歳出 ( 教 育 費 )

(単位 千円)

節		説明	目 的 説 明
区 分	金 額		
		勤勉手当 5,745	会計年度任用職員給与費 56,498
		児童手当 120	
4 共 済 費	8,232	社会保険料 3,026	
		一般職共済組合負担金(会計年度任用職員) 5,206	
7 報 償 費	688	講師等謝礼金 618	
		謝礼金 70	
8 旅 費	1,179	費用弁償 147	
		普通旅費 1,032	
10 需 用 費	8,669	消耗品費 1,524	
		燃料費 361	
		印刷製本費 3,485	
		光熱水費 2,043	
		備品修繕料 555	
		維持修繕料 701	
11 役 務 費	1,727	通信運搬費 74	
		手数料 1,607	
		その他保険料 46	
12 委 託 料	17,007	管理運営委託料 41	
		浄化槽維持管理委託料	
		保守点検委託料 361	
		消防設備保守点検委託料 174	
		電気設備保安委託料 156	
		浄化槽保守点検委託料 31	
		その他委託料 16,038	
		清掃等委託料 5,000	
		文化財調査委託料 3,894	
		遺物保存処理委託料 1,847	
		測量委託料 4,339	
		雑木伐採等委託料 770	
		写真撮影委託料 100	
		産業廃棄物処理委託料 88	
		電子計算業務委託料 567	
		文化財システム委託料	
13 使用料及び 賃借料	5,244	船舶賃借料 288	
		有料道路通行料 300	
		機械器具賃借料 1,682	
		用地賃借料 66	
		システム使用料 2,417	
		複写機使用料 200	
		空調設備賃借料 291	

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
5 公民館費	754,794	1,261,015	△506,221	130,811	623,983
				(内訳)	
				地方債	
				119,800	
				使用料	
				5,669	
				諸収入	
				5,342	

一般会計 歳出 (教育費)

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
14 工事請負費	61,946	能島城跡保存活用整備工事	
17 備品購入費	3,103	車両 2,500 雑器具 603	
18 負担金補助 及び交付金	9,548	負担金 103 全国史跡整備市町村協議会 65 諸会出席 38 補助金 9,444 指定文化財保護費 石綿健康被害一般拠出金 1	
1 報 酬	113,177	公民館運営審議会委員(275人) 3,500 パートタイム会計年度任用職員給(55人) 109,677	公民館活動費 36,826
2 給 料	103,700	一般職給 12人 36,696 フルタイム会計年度任用職員給 19人 58,881 パートタイム会計年度任用職員給 7人 8,123	公民館管理費 349,394 公民館整備費
3 職員手当等	85,157	扶養手当 528 住居手当 324 通勤手当 2,735 時間外勤務手当 4,900 管理職手当 503 一般職期末手当 40,677 勤勉手当 34,650 児童手当 840	職員給与費 9,800 60,481 会計年度任用職員給与費 298,293
4 共 済 費	56,708	一般職共済組合負担金 10,234 社会保険料 16,470 一般職共済組合負担金(会計年度任用職員) 30,004	
7 報 償 費	8,214	講師等謝礼金 6,200 賞品・記念品 300 託児謝礼金 1,714	
8 旅 費	3,542	費用弁償 3,532 普通旅費 10	
10 需 用 費	123,648	消耗品費 13,621 燃料費 4,529 食糧費 84 印刷製本費 1,064 光熱水費 74,000 備品修繕料 3,500 維持修繕料 26,850	
11 役 務 費	10,799	通信運搬費 4,754 手数料 6,045	

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源

一般会計 歳出（教育費）

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
12 委 託 料	99,360	管理運営委託料	28,446
		環境衛生管理委託料	3,178
		駐車場管理委託料	10,182
		中央公民館施設窓口管理委託料	3,644
		浄化槽維持管理委託料	2,835
		施設夜間管理委託料	8,007
		樹木等管理委託料	600
		保守点検委託料	31,654
		空調設備保守委託料	5,151
		自動扉開閉装置保守委託料	257
		昇降機保守委託料	6,656
		消防設備保守点検委託料	3,611
		電気設備保安委託料	3,376
		ピアノ保守点検委託料	391
		舞台設備保守委託料	2,311
		防火対象物点検委託料	2,206
		電動移動椅子保守点検委託料	1,009
		定期点検調査委託料	6,686
		その他委託料	39,260
		事業推進委託料	9,000
		照明音響操作等委託料	10,864
		交通誘導警備委託料	288
		イベント運営委託料	166
		警備委託料	682
		ごみ収集委託料	994
		清掃等委託料	12,096
		図書整理等委託料	3,795
廃棄物運搬処理委託料	1,100		
イルミネーション設置・撤去委託料	275		
13 使用料及び 賃借料	20,387	会場賃借料	371
		船舶賃借料	10
		著作権使用料	8
		テレビ受信料	1,217
		空調設備賃借料	12,668
		駐車場使用料	1,204
		複写機使用料	4,000
		機械器具賃借料	313
		有料道路通行料	75
		システム使用料	521
14 工事請負費	119,800	公民館等改修工事	110,000

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
6 図書館費	304,811	291,435	13,376	0	304,811

一般会計 歳出 ( 教 育 費 )

(単位 千円)

節		説明	目の説明
区分	金額		
		伯方支所跡整備工事 (公民館分)	9,800
17 備品購入費	6,736	事務用器具	910
		電気器具	4,500
		厨房器具	100
		医療器具	1,226
18 負担金補助 及び交付金	3,566	負担金	566
		県公民館連合会	476
		昇降機管理費	90
		補助金	3,000
		盆踊り実行委員会	
1 報酬	148	図書館運営審議会委員 (11人)	
2 給料	4,602	一般職給 1人	
3 職員手当等	2,206	扶養手当	156
		通勤手当	24
		一般職期末手当	1,050
		勤勉手当	856
		児童手当	120
4 共済費	1,703	一般職共済組合負担金	
7 報償費	408	講師等謝礼金	30
		託児謝礼金	378
8 旅費	164	費用弁償	16
		普通旅費	148
10 需用費	6,391	消耗品費	1,554
		食糧費	30
		印刷製本費	100
		光熱水費	7
		備品修繕料	200
		維持修繕料	4,500
11 役務費	1,336	通信運搬費	733
		手数料	603
12 委託料	231,665	管理運営委託料	212,529
		図書館指定管理料	212,200
		樹木等管理委託料	329
		保守点検委託料	2,479
		定期点検調査委託料	2,000
		防火設備定期点検委託料	479
		その他委託料	6,880
		イルミネーション設置・撤去委託料	62
		産業廃棄物収集処理委託料	26

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
7 文化振興費	56,947	95,091	△38,144	10,144	46,803
				(内訳)	
				国庫支出金	
				6,814	
				寄附金	
				220	
				財産収入	
				1,030	
				諸収入	
				2,080	

一般会計 歳出 ( 教 育 費 )

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
		イベント運営委託料 6,000 アスベスト等含有調査委託料 176 図書館システム回線移設委託料 616 電子計算業務委託料 9,777 図書館システム委託料 3,624 図書館システム更新委託料 6,153	
13 使用料及び 賃借料	17,353	機械器具賃借料 5,043 複写機使用料 100 システム使用料 12,210	
14 工事請負費	4,829	図書館改修工事	
17 備品購入費	34,000	事務用器具	
18 負担金補助 及び交付金	6	負担金 諸会出席	
1 報 酬	9,580	パートタイム会計年度任用職員給(10人)	文化振興事業費
3 職員手当等	3,040	一般職期末手当 1,634 勤勉手当 1,406	32,038 日本遺産魅力発信推進事業
4 共 済 費	2,058	社会保険料 1,265 一般職共済組合負担金(会計年度任用職員) 793	費 10,123
7 報 償 費	5,367	講師等謝礼金 5,147 賞品・記念品 220	会計年度任用職員給与費 14,786
8 旅 費	1,906	費用弁償 108 普通旅費 1,798	
10 需 用 費	4,729	消耗品費 1,373 燃料費 230 食糧費 41 印刷製本費 2,867 備品修繕料 218	
11 役 務 費	1,078	通信運搬費 477 手数料 512 自動車損害保険料 24 その他保険料 65	
12 委 託 料	11,894	管理運営委託料 55 顕彰碑敷地管理委託料 保守点検委託料 264 オンラインツアーシステム運用保守委託料 その他委託料 11,575 駐車場整理委託料 585 世界のTANGE魅力創生事業委託料 1,473 文化芸術未来プロジェクト事業委託料 4,998	

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
8 社会教育施設費	512,421	433,739	78,682	105,655	406,766
				(内訳)	
				国庫支出金	
				31,451	
				地方債	
				25,200	
				繰入金	
				1,380	
				財産収入	
				2,226	
				使用料	
				32,537	
				諸収入	
				12,861	

一般会計 歳出 (教育費)

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
		日本遺産構成文化財体験ツアー運営委託料 519	
		日本海賊フェスティバル運営業務委託料 4,000	
13 使用料及び 賃借料	4,645	会場賃借料 1,820	
		自動車賃借料 660	
		複写機使用料 440	
		機械器具賃借料 525	
		作品使用料 500	
		有料道路通行料 240	
		システム使用料 80	
		出展料 300	
		駐車場使用料 20	
		乗船料 60	
17 備品購入費	2,286	電気器具 19	
		雑器具 401	
		展示用具 1,866	
18 負担金補助 及び交付金	10,364	負担金 2,009	
		諸会出席 9	
		村上海賊魅力発信推進協議会 2,000	
		補助金 8,355	
		史談会 113	
		少年少女合唱団 57	
		文化協会 5,153	
		文化合宿等開催費 300	
		コミュニティ事業費 2,000	
		地域おこし協力隊地域定着事業費 732	
1 報 酬	39,164	村上海賊ミュージアム協議会委員(4人) 54	大三島少年自然の家管理費
		パートタイム会計年度任用職員給(18人) 39,110	24,439
2 給 料	58,151	一般職給 7人 25,862	玉川近代美術館管理運営費
		フルタイム会計年度任用職員給 3人 9,034	61,210
		パートタイム会計年度任用職員給 20人 23,255	大三島美術館管理運営費
3 職員手当等	47,687	扶養手当 624	22,677
		住居手当 954	上浦歴史民俗資料館管理運
		通勤手当 4,300	営費
		特殊勤務手当 21	17,054
		時間外勤務手当 3,500	河野美術館管理運営費
		宿日直手当 140	45,681
		管理職手当 503	今治城管理運営費
		一般職期末手当 20,041	73,801
		勤勉手当 17,064	

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源

一般会計 歳出（教育費）

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明	
区 分	金 額			
		児童手当	540	阿方貝塚史跡公園管理運営
4 共 済 費	26,564	一般職共済組合負担金	9,470	費
		社会保険料	8,488	2,547
		一般職共済組合負担金(会計年度任用職員)	8,606	吉海郷土文化センター管理
7 報 償 費	4,676	講師等謝礼金		運営費
8 旅 費	2,931	費用弁償	1,567	8,882
		普通旅費	1,364	朝倉ふるさと美術古墳館管
10 需 用 費	74,634	消耗品費	7,614	理運営費
		燃料費	1,543	5,676
		印刷製本費	2,743	大西藤山歴史資料館管理運
		光熱水費	31,615	営費
		備品修繕料	1,956	5,199
		維持修繕料	20,163	村上海賊ミュージアム管理
		賄材料費	9,000	運営費
11 役 務 費	6,541	通信運搬費	2,817	49,946
		手数料	3,703	正月鼻古墳公園管理運営費
		その他保険料	21	739
12 委 託 料	129,382	管理運営委託料	89,506	文化施設基金費
		玉川近代美術館指定管理料	27,210	1,281
		浄化槽維持管理委託料	705	大三島美術館基金費
		樹木等管理委託料	6,645	13
		環境衛生管理委託料	1,026	伊東豊雄建築ミュージアム
		河野美術館指定管理料	44,626	管理運営費
		今治城指定管理料	8,865	20,235
		正月鼻古墳公園管理運営委託料	429	職員給与費
		保守点検委託料	7,209	52,769
		電気設備保安委託料	1,393	会計年度任用職員給与費
		消防設備保守点検委託料	1,319	120,272
		空調設備保守委託料	2,590	
		オーバースライダー保守点検委託料	42	
		舞台設備保守委託料	154	
		電動移動椅子保守点検委託料	478	
		放送設備保守委託料	99	
		防火対象物点検委託料	86	
		マンホールポンプ点検委託料	97	
		昇降機保守委託料	819	
		VR運用保守委託料	132	
		その他委託料	32,667	
		警備委託料	3,385	
		清掃等委託料	9,218	

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
5 保健体育費	3,294,466	2,393,072	901,394	1,308,501	1,985,965
1 保健体育総務費	944,024	135,589	808,435	804,732	139,292

一般会計 歳出（教育費）

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
		作品搬入等委託料	2,500
		写真撮影委託料	33
		くん蒸作業委託料	587
		定期点検調査委託料	671
		収蔵作品修復委託料	3,622
		受水槽清掃委託料	29
		古墳案内等委託料	984
		害虫駆除委託料	20
		ごみ収集委託料	231
		収蔵品データ化・情報通信技術（ICT）活用業務委託料	389
		展示・活動業務委託料	10,998
13 使用料及び 賃借料	5,770	会場賃借料	50
		テレビ受信料	74
		複写機使用料	1,010
		有料道路通行料	293
		空調設備賃借料	2,670
		システム使用料	304
		自動車賃借料	547
		機械器具賃借料	822
14 工事請負費	88,700	社会教育施設改修工事	
15 原材料費	50	支給原材料	
17 備品購入費	26,743	戸棚・箱	20,350
		事務用器具	90
		電気器具	2,145
		雑器具	3,190
		雑品	500
		展示用具	468
18 負担金補助 及び交付金	134	負担金	
		食品衛生協会	10
		伐木等業務特別講習受講料	16
		刈払機取扱者業者安全衛生教育講習受講料	10
		日本博物館協会	70
		県博物館協会	12
		諸会出席	16
24 積立金	1,294	文化施設基金積立金	1,281
		大三島美術館基金積立金	13
1 報 酬	16,140	スポーツ推進審議会委員（12人）	81

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
				(内訳)	
				寄附金	
				300,000	
				繰入金	
				503,772	
				財産収入	
				900	
				諸収入	
				60	

一般会計 歳出 (教育費)

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
		スポーツ推進委員 (122人) 1,600	社会体育費
		パートタイム会計年度任用職員給 (7人) 14,459	555,571
2 給 料	3,064	一般職給 1人	学校体育費
3 職員手当等	13,830	扶養手当 156	13,637
		通勤手当 24	地域スポーツ振興費
		時間外勤務手当 7,200	27,166
		一般職期末手当 3,481	少年スポーツ振興費
		勤勉手当 2,969	7,470
4 共 済 費	4,414	一般職共済組合負担金 956	職員給与費
		社会保険料 2,133	12,621
		一般職共済組合負担金 (会計年度任用職員) 1,325	スポーツ振興基金費
7 報 償 費	4,897	賞品・記念品	300,900
8 旅 費	2,797	費用弁償 1,302	e スポーツ普及促進事業費
		普通旅費 1,495	2,517
10 需 用 費	2,060	消耗品費 1,860	会計年度任用職員給与費
		印刷製本費 200	24,142
11 役 務 費	110	通信運搬費 50	
		広告料 50	
		手数料 10	
12 委 託 料	28,575	その他委託料	
		社会体育事業委託料 23,000	
		愛媛FCマッチシティ事業委託料 160	
		ジュニアアスリート競技能力向上事業委託料 3,700	
		イベント運営委託料 1,715	
13 使用料及び 賃借料	1,055	会場賃借料 955	
		有料道路通行料 100	
17 備品購入費	1,772	電気器具 147	
		体育用具 1,625	
18 負担金補助 及び交付金	564,410	負担金 45,450	
		県スポーツ推進委員協議会 263	
		諸会出席 55	
		県スポーツ振興会 228	
		県プロスポーツ地域振興協議会 386	
		今治里山マラソン実行委員会 3,000	
		モルック普及委員会 5,000	
		せとうちリーグ開催事業費 300	
		学校体育連盟 11,418	
		里山スタジアムを核としたにぎわい創出事業 費 23,000	
		姉妹都市交流事業費 1,800	

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
2 体育施設費	575,950	921,603	△345,653	48,552	527,398
				(内訳)	
				地方債	13,000
				繰入金	2,708
				使用料	25,902
				諸収入	6,942

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
		旅費負担金 2,000 大会選手派遣	
		補助金 516,960 市スポーツ協会 2,700 スポーツ大会開催費 1,500 スポーツ合宿開催費 2,800 スポーツ備品等購入費 1,500 スポーツ指導者育成費 500 スポーツ大会等出場支援費 6,000 FC今治サッカー専用スタジアム整備等事業費 500,000 少年スポーツ振興費 1,260 ジュニアスポーツ育成費 700	
24 積立金	300,900	スポーツ振興基金積立金	
1 報酬	9,966	指定管理者選定審議会委員(5人) 268 パートタイム会計年度任用職員給(4人) 9,698	体育施設管理運営費 501,301
2 給料	40,054	パートタイム会計年度任用職員給 29人	会計年度任用職員給与費
3 職員手当等	16,526	通勤手当 842 時間外勤務手当 600 一般職期末手当 8,092 勤勉手当 6,992	74,649
4 共済費	8,167	社会保険料 4,777 一般職共済組合負担金(会計年度任用職員) 3,390	
8 旅費	2,361	費用弁償 661 普通旅費 1,700	
10 需用費	94,112	消耗品費 5,022 燃料費 15,020 食糧費 7 印刷製本費 163 光熱水費 40,900 備品修繕料 1,000 維持修繕料 32,000	
11 役務費	5,188	通信運搬費 588 手数料 4,600	
12 委託料	240,779	管理運営委託料 209,863 体育施設等指定管理料 201,900 浄化槽維持管理委託料 1,563 プール管理委託料 4,277 専用水道管理委託料 1,923	

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源

一般会計 歳出（教育費）

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
		玉川艇庫管理委託料	200
		保守点検委託料	11,246
		電気設備保安委託料	1,385
		ポンプ保守点検委託料	275
		昇降機保守委託料	1,030
		空調設備保守委託料	793
		消防設備保守点検委託料	871
		舞台設備保守委託料	146
		機械設備保守点検委託料	1,628
		受水槽保守点検委託料	742
		ろ過装置保守点検委託料	792
		定期点検調査委託料	3,584
		その他委託料	19,670
		清掃等委託料	2,070
		ごみ収集委託料	1,103
		夜間警備委託料	766
		施設調査委託料	4,000
		グラウンド整備委託料	2,440
		社会体育事業委託料	451
		低濃度PCB廃棄物処分委託料	220
		空調設備整備事業アドバイザー業務委託料	1,800
		発注者支援業務委託料	6,820
13 使用料及び 賃借料	30,693	機械器具賃借料	4,617
		用地賃借料	6,185
		テレビ受信料	118
		システム使用料	2,216
		有料道路通行料	281
		会場賃借料	55
		乗船料	20
		自動車賃借料	97
		駐車場使用料	10
		サッカー場人工芝賃借料	17,089
		複写機使用料	5
14 工事請負費	107,000	体育施設整備工事	
15 原材料費	1,100	維持補修用原材料	
17 備品購入費	18,000	事務用器具	89
		電気器具	10,020
		医療器具	1,839
		機械工具	367
		雑器具	458

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源
3 学校給食費	1,774,492	1,335,880	438,612	455,217	1,319,275
				(内訳)	
				国庫支出金	
				64,896	
				県支出金	
				381,221	
				地方債	
				9,100	

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
		体育用具	5,227
18 負担金補助 及び交付金	2,004	負担金	1,005
		県スポーツ施設協会	2
		B & G連絡協議会	130
		諸会出席	873
		補助金	999
		B & G海洋クラブ育成事業費	315
		地域おこし協力隊地域定着事業費	684
1 報 酬	31,524	学校給食運営審議会委員 (6人)	242
		パートタイム会計年度任用職員給 (14人)	31,282
2 給 料	485,189	一般職給 16人	58,841
		フルタイム会計年度任用職員給 6人	16,648
		パートタイム会計年度任用職員給 155人	409,700
3 職員手当等	191,886	扶養手当	666
		住居手当	1,482
		通勤手当	11,453
		時間外勤務手当	4,300
		管理職手当	1,786
		一般職期末手当	88,794
		勤勉手当	83,165
		児童手当	240
4 共 済 費	125,120	一般職共済組合負担金	18,380
		社会保険料	61,419
		一般職共済組合負担金 (会計年度任用職員)	45,321
7 報 償 費	384	謝礼金	200
		賞品・記念品	184
8 旅 費	1,948	費用弁償	1,249
		普通旅費	699
10 需 用 費	254,495	消耗品費	55,885
		燃料費	17,000
		食糧費	13
		印刷製本費	597
		光熱水費	149,000
		備品修繕料	15,000
		維持修繕料	17,000
11 役 務 費	16,351	通信運搬費	1,833
		手数料	14,516
		その他保険料	2
12 委 託 料	160,180	管理運営委託料	1,172

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	本年度の財源内訳	
				特定財源	一般財源

一般会計 歳出 ( 教 育 費 )

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
		樹木等管理委託料 400	
		衛生管理委託料 642	
		浄化槽維持管理委託料 53	
		排水処理施設管理委託料 77	
		保守点検委託料 7,984	
		調理場設備保守点検委託料 2,534	
		消防設備保守点検委託料 282	
		電気設備保安委託料 1,638	
		ボイラー保守点検委託料 2,055	
		厨房機器保守点検委託料 435	
		冷凍・冷蔵庫等保守点検委託料 1,040	
		その他委託料 147,952	
		給食運搬委託料 38,560	
		ごみ収集委託料 8,300	
		調理洗浄業務等委託料 85,777	
		学校給食施設再編整備基本計画策定支援業務委託料 5,000	
		警備委託料 3,421	
		環境保全検査委託料 496	
		油脂槽清掃委託料 5,010	
		物品処分委託料 788	
		動画制作業務委託料 490	
		給食センター親子体験事業委託料 110	
		電子計算業務委託料 3,072	
		学校給食管理システム委託料	
13 使用料及び 賃借料	35,573	作業衣賃借料 10,543	
		複写機使用料 1,100	
		テレビ受信料 184	
		機械器具賃借料 119	
		空調設備賃借料 23,400	
		有料道路通行料 85	
		駐車場使用料 10	
		会場賃借料 132	
17 備品購入費	55,185	事務用器具 100	
		電気器具 1,000	
		厨房器具 44,700	
		車両 9,185	
		計量器 100	
		雑器具 50	
		雑品 50	

款 項 目	本 年 度	前 年 度	比 較	補正予算額の財源内訳	
				特定財源	一般財源

一般会計 歳出 (教育費)

(単位 千円)

節		説 明	目 の 説 明
区 分	金 額		
18 負担金補助 及び交付金	416,657	負担金 81 諸会出席 補助金 416,576 学校給食運営委員会 7,699 学校給食子育て応援事業費 12,870 学校給食材料費高騰対応事業費 52,026 学校給食費無償化支援事業費 341,974 学校給食費喫食者等支援事業費 2,007	



第3表 債務負担行為

(単位 千円)

事 項	期 間	限 度 額
特別教室空調設備整備事業 (小 学 校 分)	令和8年度から令和9年度まで	739,000 〔(参考) 令和8年度予算計上済額 485,000〕
空調設備整備事業 アドバイザー業務委託	令和8年度から令和9年度まで	35,000 〔(参考) 令和8年度予算計上済額 15,000〕
立花中学校校舎改修事業	令和8年度から令和9年度まで	85,500 〔(参考) 令和8年度予算計上済額 57,000〕
桜井中学校校舎改修事業	令和8年度から令和9年度まで	90,000 〔(参考) 令和8年度予算計上済額 60,000〕
特別教室空調設備整備事業 (中 学 校 分)	令和8年度から令和9年度まで	649,600 〔(参考) 令和8年度予算計上済額 426,400〕

〔参考〕 限度額には、〔 〕書の予算計上済額を含まない。

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額  
又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

事 項	限 度 額	前 年 度 末 ま で の 支 出 ( 見 込 ) 額	
		期 間	金 額
		令和 年度 令和 年度	
バリアフリー化改修事業 ( 小 学 校 分 そ の 3 )	51,600	7	—
特別教室空調設備整備事業 ( 小 学 校 分 )	739,000	—	—
空調設備整備事業 アドバイザー業務委託	35,000	—	—
立花中学校校舎改修事業	85,500	—	—
桜井中学校校舎改修事業	90,000	—	—
近見中学校校舎改修事業	61,200	7	—
バリアフリー化改修事業 ( 中 学 校 分 そ の 3 )	90,300	7	—
特別教室空調設備整備事業 ( 中 学 校 分 )	649,600	—	—
小 中 学 校 一 括 L E D 化 事 業	648,800	7	601,800
文化財保存活用地域計画 策定支援業務委託	10,000	6 ~ 7	5,731
図書館指定管理料 ( 令 和 5 年 度 )	848,600	5 ~ 7	426,800
図書館システム更新事業	17,380	7	4,400
河野美術館・今治城 及び玉川近代美術館料 指 定 管 理 ( 令 和 7 年 度 )	320,908	7	—

一般会計 (債務負担行為調書)

(単位 千円)

当該年度以降の 支出予定額		左の財源内訳			
		特定財源			一般財源
期間	金額	国(県)支出金	地方債	その他	
令和 年度 令和 年度 8	51,600	22,340	20,100		9,160
8 ~ 9	739,000		593,600		145,400
8 ~ 10	35,000				35,000
8 ~ 9	85,500	15,267	54,700		15,533
8 ~ 9	90,000	8,000	62,400		19,600
8	61,200	5,170	43,800		12,230
8	90,300	25,084	46,600		18,616
8 ~ 9	649,600		525,000		124,600
8 ~ 17	47,000				47,000
8	4,269	4,269			0
8 ~ 9	421,800				421,800
8	6,153				6,153
8 ~ 11	320,908				320,908

事 項	限 度 額	前 年 度 末 ま で の 支 出 ( 見 込 ) 額	
		期 間	金 額
体 育 施 設 等 指 定 管 理 料 ( 令 和 4 年 度 )	743,600	令和 年度 令和 年度 4 ~ 7	557,700
夢 づ く り 調 理 場 調 理 洗 浄 業 務 委 託 ( 令 和 6 年 度 )	260,000	6 ~ 7	82,244
桜 井 海 浜 ふ れ あ い 広 場 サ ッ カ ー 場 人 工 芝 改 修 事 業	131,103	7	—
富 田 海 浜 プ ー ル 斜 流 ポ ン プ 改 修 事 業	36,000	7	—

一般会計（債務負担行為調書）

(単位 千円)

当該年度以降の 支出予定額		左の財源内訳			一般財源
		特定財源			
期間	金額	国(県)支出金	地方債	その他	
令和 年度 令和 年度 8	185,900				185,900
8 ~ 9	177,756				177,756
8 ~ 14	131,103				131,103
8	36,000				36,000

# 令和 8 年 3 月 今治市議会定例会（第 2 回）

## 記者発表



STAGE CHANGE  
～ つながる未来へ 新しい風を確かなものに ～

# 令和8年3月定例市議会提出予定案件(令和8年度当初分)

## ■予算 14件

(単位：千円)

	予算額	前年度	対前年比
1 令和8年度 今治市一般会計予算	85,300,000	81,300,000	4.9%
2 令和8年度 今治市用地取得特別会計予算	1,000	1,000	0.0%
3 令和8年度 今治市墓園事業特別会計予算	47,200	51,700	△8.7%
4 令和8年度 今治市船舶交通特別会計予算	293,700	272,500	7.8%
5 令和8年度 今治市港湾事業特別会計予算	417,000	444,000	△6.1%
6 令和8年度 今治市鉱泉供給事業特別会計予算	11,900	11,800	0.8%
7 令和8年度 今治市駐車場特別会計予算	11,100	11,500	△3.5%
8 令和8年度 今治市国民健康保険特別会計予算	16,064,000	17,059,000	△5.8%
9 令和8年度 今治市後期高齢者医療特別会計予算	3,818,000	3,224,000	18.4%
10 令和8年度 今治市介護保険特別会計予算	19,495,000	19,100,000	2.1%
11 令和8年度 今治市水道事業会計予算	6,346,000	6,832,000	△7.1%
12 令和8年度 今治市簡易水道会計予算	152,600	153,600	△0.7%
13 令和8年度 今治市工業用水道事業会計予算	780,400	377,400	106.8%
14 令和8年度 今治市下水道事業会計予算	11,457,000	10,356,000	10.6%
合 計	144,194,900	139,194,500	3.6%

# 令和8年3月定例市議会提出予定案件(令和8年度当初分)

## ■条例 11件

- 1 今治市執行機関の附属機関設置条例の一部を改正する条例制定について
- 2 今治市議会議員に対する議員報酬、費用弁償及び期末手当支給条例の一部を改正する条例制定について
- 3 今治市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 4 今治市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 5 今治市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 6 今治市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について
- 7 今治市認定こども園条例の一部を改正する条例制定について
- 8 今治市保育所条例の一部を改正する条例制定について
- 9 今治市サイクリングターミナル条例の一部を改正する条例制定について
- 10 今治市火災予防条例の一部を改正する条例制定について
- 11 今治市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について

## ■その他の議案 7件

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| 1 財産の無償貸付について(今治市公設地方卸売市場) | 5 今治市過疎地域持続的発展計画の策定について    |
| 2 今治市定住自立圏形成方針の変更について      | 6 船舶交通特別会計への繰入れについて(令和8年度) |
| 3 市営土地改良事業の施行について(紺原地区)    | 7 港湾事業特別会計への繰入れについて(令和8年度) |
| 4 市営土地改良事業の施行について(古戸地区)    |                            |

## ■報告 1件

- 1 今治市新型インフルエンザ等対策行動計画の変更について



瀬戸内しまなみから世界へ  
夢が行き交うまちIMABARI  
～みんなのふるさと、つむぐ未来～

## 今治市の「ふるさと納税」

今治市のふるさと納税は、令和5年の今治あきない商社設立以降、飛躍的に伸びし、皆さまから予想を大きく上回る温かいご寄附を賜りました。寄附額の約3割は返礼品を通じて地場産業を力強く支え、地域経済循環の担い手となっております。また、残る寄附金は本市の独自施策を推進するための重要な財源として、大きな力を与えていただいております。ふるさと今治を思う皆さまのお志に、深く感謝を申し上げます。

今治市長 徳永兼典

令和7年12月末実績  
ふるさと納税寄附受入状況 (速報値)

寄附件数 **131,730件**

寄附金額 **33億9,389万円**

## 地域経済循環額 約10億円

※寄附金額のうち約3割を返礼品代金として試算したもの

選ばれる主な返礼品



- ①タオル関連商品 約65.6%
- ②農産物(柑橘類を中心) 約29.8%
- ③加工食品(ジュース、製菓等) 約2.9%

今治市のふるさと納税寄附額推移  
令和7年度見込み: 38億円 7年連続 寄附総額増



※R7年度は12月末時点

## ふるさと納税の使い道

STAGE CHANGE  
～つなげる未来へ 新しい風を確かなものにする～

令和8年度 当初予算 853億円



- ①グローバル教育  
「瀬戸内の世界都市・今治」の実現に向け、就学前から子どもたちの発育段階に合わせた英語教育の充実を図るとともに、次世代を担う子どもたちのグローバルな感覚をより一層育みます。
- ②今治版ネウボラ  
「つどいつながり はくむ みんなの居場所～こどもが輝く未来を創る～」を基本理念に、妊産婦から出産・子育て期に至るまで、切れ目のない支援を提供します。
- ③海事人材育成  
日本最大の海事都市としての強みをさらに高め、世界から多様な人々が集い、交流と創造が生まれる拠点を形成することで、海事産業を支える人材の確保につなげます。



### 1 市民が主役のまちづくり

- ・里山スタジアムを核としたにぎわい創出
- ・文化芸術未来プロジェクト
- ・子育て世帯向け公営住宅建設
- ・日本一おいしい給食 等



### 2 住み続けたいまちづくり

- ・高齢者の生きがいと健康づくり
- ・子ども医療費無償化
- ・パパママすまいる健診
- ・今治みらい発掘プロジェクト 等



### 3 世界に誇れるまちづくり

- ・世界のTANGE魅力創生
- ・せとうちみなとマルシェ
- ・サイクリングしまなみ2026
- ・今治港クルーズ船おもてなし 等



### 4 安全・安心・快適なまちづくり

- ・防災士育成
- ・消防車両、消防指令システム更新
- ・道路橋りょうの整備
- ・市内公園の整備 等



# 〈脱・衰退〉 令和8年度当初予算の重点施策（抜粋）

R8当初予算 85,300,000千円

## 直面する課題への対応

### <物価高騰対策>

- |                        |           |
|------------------------|-----------|
| ○ 1 給食費等の負担軽減等による子育て支援 | 89,789千円  |
| ◎ 2 省エネ家電等普及促進等による家庭支援 | 204,524千円 |
| ◎ 3 設備投資支援等による事業者支援    | 150,401千円 |
| 1 指定管理施設燃料費高騰対応事業費補助金  | 36,655千円  |

※ 3月補正

## I 「考動する市役所」がある『まち』に

### <考動する市役所への進化>

- |                           |          |
|---------------------------|----------|
| ☆ 4 デジタル活用の推進             | 66,381千円 |
| オンライン手続きの拡充、デジタル給付、共用車管理等 |          |

### <政策アンテナ・戦略的情報発信の強化>

- |                             |          |
|-----------------------------|----------|
| ◎ 6 市民参加型政策形成プラットフォーム構築事業   | 2,000千円  |
| ☆ 7 「Z世代」「α世代」の声の政策反映に向けた取組 | 3,433千円  |
| ☆ 8 広報戦略プロジェクトの推進           | 33,744千円 |
| 広報戦略プロジェクト、わが街ポータル等         |          |

### <スマートシティ今治（デジタル化）の推進>

- |   |          |
|---|----------|
| ☆ 9 AIを活用したデジタル化の加速                     | 86,664千円 |
| みらい行政AIラボ、ポケトークforスクール、<br>庁内AIコンシェルジュ等 |          |

## II 人が元気になる『まち』に ~ひとりひとりが輝く今治の創出~

### <子育ての理想郷の実現>

- |  |           |
|--|-----------|
| ☆ 10 安心して子どもを産み育てるための環境整備  | 285,439千円 |
| ネウボラ拠点施設整備、地域子育て支援拠点事業<br>ウッドスタート事業、子どもの遊び場サテライト整備                               |           |
| ☆ 11 切れ目のない子育て支援   | 199,691千円 |
| 婚活支援事業、妊婦・乳児健康診査、ファミサポ活動助成<br>こども誰でも通園制度、病児保育事業、早朝一時預かり事業<br>しまなみの子どもを育む交通費支援事業等 |           |

### <今治型学校教育（個別最適教育・先進グローバル教育）の推進>

- |  |           |
|--|-----------|
| ☆ 13 英語力向上対策   | 330,001千円 |
| ALTの充実、イングリッシュキャンプ、英語力向上支援事業<br>保育施設イングリッシュティーチャー派遣等 |           |
| ☆ 15 教育のデジタル化推進                                      | 58,051千円  |
| KIDSプログラミングコンテスト、プログラミングキャンプ                         |           |
| ☆ 16 部活動の地域展開支援                                      | 5,577千円   |
| 17 島しょ部高校魅力創造事業                                      | 23,818千円  |

### <教育環境の整備・充実>

- |  |             |
|--|-------------|
| ☆ 18 教育環境の整備・充実                                      | 1,332,917千円 |
| 特別教室・屋内運動場等の空調整備、校舎改修工事<br>バリアフリー化改修工事、学校給食施設整備基本計画等 |             |
| ◎ 20 学校給食費無償化支援事業等                                   | 431,877千円   |
| ☆ 21 日本一おいしい学校給食づくり                                  | 3,055千円     |
| ◎ 22 今治市立図書館開館100周年事業等                               | 12,253千円    |

### <健康・医療・福祉都市づくり>

- |                        |          |
|------------------------|----------|
| ☆ 23 看護、介護、保育の人材確保定着制度 | 31,100千円 |
| ◎ 24 がん検診の無償化          | 10,000千円 |
| ◎ 26 難聴者補聴器購入費助成       | 2,400千円  |

### <共生社会の充実>

- |                         |          |
|-------------------------|----------|
| ☆ 28 共に生きる社会づくりの推進      | 25,393千円 |
| 多文化共生の推進加速、外国人生活相談体制の充実 |          |

### <「みなさと」戦略の展開>

- |                       |          |
|-----------------------|----------|
| ☆ 29 「しまなみ・今治移住施策」の深化 | 69,644千円 |
|-----------------------|----------|

# <脱・衰退> 令和8年度当初予算の重点施策（抜粋）

R8当初予算 85,300,000千円

## Ⅲ 産業に活力を与える『まち』に

～瀬戸内クロスポイント構想のさらなる推進～

### <地域経済の「新しい成長」>

6 デジタルイノベーション加速化事業 ※3月補正 56,544千円

### <i.i.imabari!のパワーアップ>

9 i.i.imabari!ブランド推進事業 ※3月補正 34,747千円

### <産業のDX・GXの支援>

13 デジタル人材育成事業 ※3月補正 18,360千円

### <新・今治のみなとづくり・まちづくり>

☆35 中心市街地グランドデザインの推進 287,956千円

ネウボラ拠点施設整備※10再掲今治版MICE施設整備

魅力都市創生事業、今治港内港物揚場改修事業

◎36 持続可能な都市モビリティ計画（SUMP）策定 20,308千円

◎37 国道317号（松山・今治）整備促進期成同盟会 1,000千円

### <強い農・林・水産業づくりの推進>

☆40 農産物鳥獣被害対策事業 83,010千円

☆41 地域農業振興事業 31,541千円

○45 復旧・復興の森づくり事業 23,854千円

◎46 全国植樹祭えひめ2026 4,166千円

### <「住み続けられる」魅力あるまちづくり>

◎49 「汝、星のごとく」プロモーション事業 7,000千円

◎50 プレミアムインバウンドツアー造成事業 20,000千円

☆53 今治港クルーズ船おもてなし事業 1,000千円

☆54 鈍川温泉“ゆ”ノベーション推進事業 54,000千円

☆55 亀老山展望公園整備事業 78,500千円

## Ⅳ 輝く『まち』に ～「今治時間」のあるまちへ～

### <瀬戸内の世界都市づくり>

◎56 今治版MICE施設の整備 ※35再掲 36,568千円

◎57 愛媛大学今治サテライト設置等支援事業 501,231千円

☆58 英語教育の充実 ※13再掲 330,001千円

### <アート&カルチャー&スポーツで夢中になれるまちづくり>

☆60 サイクルシティIMABARIのパワーアップ 340,027千円

◎61 Velo-city2027機運醸成事業 25,200千円

◎62 里山スタジアムを核としたにぎわい創出事業 30,500千円

○65 モルックアジア大会の開催 4,000千円

☆69 世界のTANGEM魅力創生事業 5,911千円

◎72 「村上海賊」日本遺産認定10周年記念事業 9,326千円

### <公共交通ネットワークの再構築>

☆73 地域公共交通活性化事業 47,511千円

### <「ゼロカーボンシティ・今治」の推進>

☆74 脱炭素先行地域推進事業 277,780千円

◎77 公共施設LED化推進事業 59,231千円

### <「しまなみ海道通行料実質無料化」対応の加速>

◎79 島しょ部通行料金助成事業 ※2再掲 87,000千円

☆81 しまなみ海道の利用促進と通行料負担軽減 190,490千円

### <地域コミュニティの活性化>

☆82 今治みらい発掘プロジェクト事業 20,473千円

83 地域担当職員活動事業 11,500千円

## Ⅴ しなやかで強靱な『まち』に

### <安全・安心なまちづくり>

◎86 治水施設緊急整備事業 291,200千円

### <「地域ディフェンス力」の強化>

☆89 避難所環境改善事業 30,620千円

☆91 防災士育成事業 2,093千円

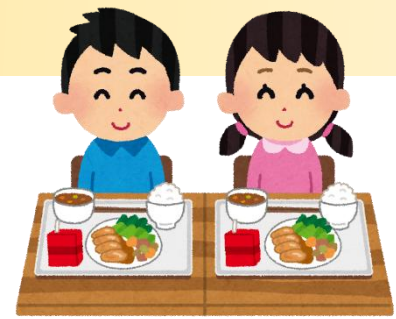
☆92 防災訓練の実施 6,558千円

### <誰も取り残さない消防・救急体制の構築>

◎94 今治市林野火災を教訓とした防災力強化 34,868千円

# 直面する課題への対応

## <物価高騰対策>



### 1 子育て世帯の負担軽減

物価高騰に伴う家計負担を軽減し、継続的な子育て環境を確保するための支援を実施



新規

#### (1) 給食費等支援

- ① 保育所給食等材料費高騰対応事業費 2,300万円
  - ア 保育所給食等子育て応援事業費
  - イ 保育所給食等材料費高騰対応事業費
- ② 学校給食材料費高騰対応事業費 6,489万6千円
  - ア 学校給食子育て応援事業費
  - イ 学校給食食材費高騰対応事業費

新規

- (2) ファミリー・サポート・センター提供会員 189万3千円  
活動助成事業

# 直面する課題への対応

## <物価高騰対策>

### 2 一般家庭の負担軽減

新規

#### (1) 島しょ部通行料金助成事業

8,700万円



日常生活におけるしまなみ海道通行料金の恒常的な負担に加え、物価高騰により更なる負担を伴う島しょ部地域の住民に対し、令和8年度に限り国の交付金を活用し、しまなみ海道利用に係るアンケートの協力世帯を対象に、島内店舗で日用品等の購入に使用可能なクーポン券を配布するもの

対象者 島しょ部地域（大島、伯方島、大三島、関前）に居住する世帯主  
助成額 クーポン券1世帯あたり1万円分



# 直面する課題への対応

## <物価高騰対策>

### 2 一般家庭の負担軽減



新規

#### (2) 省エネ家電等普及促進事業費 9,252万4千円

対象となるエアコンやLED照明器具を購入した市民に対して、購入金額に応じた電子マネーを給付し、家計の負担軽減を図る。

①対象商品：エアコン・LED照明器具（統一省エネラベル2つ星以上）

②電子マネー給付額

購入金額40,000円以上120,000円未満の場合	15,000円相当
購入金額120,000円以上の場合	30,000円相当



新規

#### (3) ゼロカーボンシティ事業費 2,500万円

太陽光発電設備を導入した市民に対し支援することで、家庭におけるエネルギー費用負担の軽減を図る

補助対象者	市内全地域の一般住宅
補助率	1/2（上限500千円）
補助対象経費	太陽光発電設備又はソーラーカーポート

# 直面する課題への対応

## <物価高騰対策>

### 3 事業者の負担軽減



#### 新規 (1) 経営力強化伴走支援事業

1,500万円

市内企業の持続的な競争力強化を図り、各業種の企業に対して伴走型の個別支援を行う。

#### 新規 (2) 物価高騰対応DX・GX緊急対策事業

1億20万1千円

DX・AIを活用した設備投資や省エネ投資を支援。

#### 拡充 (3) 地域特産物振興対策関係支援事業

1,200万円

国・県事業の対象とならない設備等の整備を支援し、農産物の生産量の拡大、製品価値の向上を図る。

#### 新規 (4) 高温化対策支援事業

① 農業高温化対策支援事業

300万円

② 水産業高温化対策支援事業

350万円

#### 新規 (5) タクシー地域アプリ導入等支援事業費補助金 1,670万円

タクシー共同配車アプリの導入支援をすることで、事業者の業務効率化や市民の利便性向上、地域の課題解決に向けた取組み等を推進。



# I 「考動する市役所」がある『まち』に

## <考動する市役所への進化>

### 4 デジタル活用の推進

デジタル技術を活用した行政運営の効率化や市民の利便性向上、地域の課題解決に向けた取組み等を推進。

#### 新規 ▶ (2) オンライン手続きの拡充 429万円

手のひら市役所などオンライン手続きの利活用拡充に向けた環境整備

#### 新規 ▶ (6) 庁内案内デジタルサイネージの導入 288万4千円

#### 拡充 ▶ (7) デジタル給付事業 2,547万3千円

補助金やボランティア活動のインセンティブ付与など、市内限定の利用可能なデジタル給付を活用し、利便性向上と地域経済循環の促進を図る。

#### 拡充 ▶ (9) DXリテラシー研修 238万4千円

業務効率化を目的としたデジタルツール及びAIの活用を促進するため、職員向けの研修を実施。

#### 新規 ▶ (10) 共用車管理システム 118万4千円

共用車管理をデジタルで一元化し、予約・鍵管理・日報作成等の手作業を廃止し業務効率化等を図る。



# I 「考動する市役所」がある『まち』に

## <スマートシティ今治（デジタル化）の推進>

### 9 AIを活用した行政・生活・産業のデジタル化の加速

**新規** ▶ (5) ポケトーク for スクールの導入 67万2千円

外国人生徒に対するきめ細かな支援を図るため、先生の発言した言語を同時通訳し、タブレット上に表示できるAIサービスを導入。

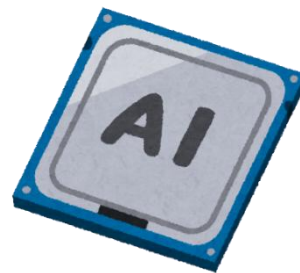
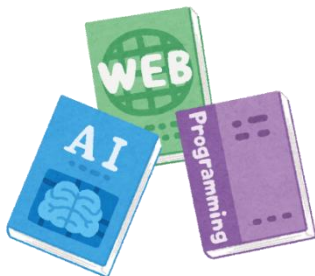
**新規** ▶ (8) みらい行政AIラボの設置 100万円

AIフル活用プロジェクトとして庁内横断AIフル活用検討チームを設置し、先進事例の導入に向けた実証・検証・運用基盤の整備に取り組む。

**新規** ▶ (10) 庁内AIコンシェルジュの構築・運用 323万円

業務をサポートするAIアシスタントツールを導入し、日々の業務の効率化と市民サービス提供の迅速化を図る。

**新規** ▶ (11) 生成AIを活用した暮らしの情報発信 ※8(4)再掲



# Ⅱ 人が元気になる『まち』に ～ひとりひとりが輝く今治の創出～

## <子育ての理想郷の実現>

### 10 誰もが安心して子どもを産み育てることのできる環境整備

新規

#### (1) ネウボラ拠点施設整備事業 505万8千円

「つどいつながりはぐくむ みんなの居場所～こどもが輝く未来を創る～」を基本理念に、妊娠期から出産・子育て期に至るまで、切れ目のない支援を提供する今治版ネウボラのランドマークとして、また、新たな中心市街地活性化のリーディングプロジェクトとして、子育て世代のみならず、中高生や多世代が利用し交流する拠点施設を整備。

**全体事業費 90億8,700万円（R 8年度～R 26年度）**

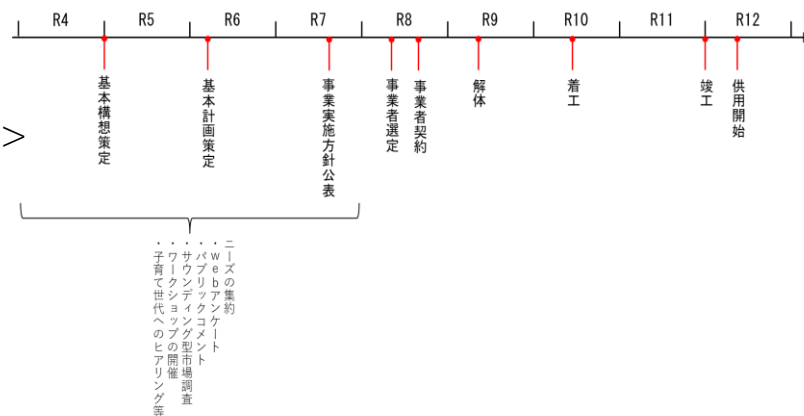
積算内訳 施設整備費 7 5億200万円

維持管理費 15億8,500万円

内訳：R 8 505万8千円

R 9～R 26 90億8,194万2千円<債務負担行為予算>

事業方式：D B O方式（設計・建設・運営一括発注）



# Ⅱ 人が元気になる『まち』に

～ひとりひとりが輝く今治の創出～

## <子育ての理想郷の実現>

### 10 誰もが安心して子どもを産み育てることのできる環境整備

#### (4) ウッドスタート事業

新規

① 木育体験事業：官民が連携して令和8年春に開設する「しまなみ木のおもちゃ美術館」の半年パスポートを1歳半健診児童に配布。 200万円

新規

#### (5) こ（子×木）育て住空間よむらプロジェクト 840万円

子育てに配慮した間取りや設備に加え、環境にも配慮した県内初となる木造3階建て構造の公営住宅を新たに整備するもの。

(四村団地7号棟)

構造：木造3階建て(18戸)

工期：R8年度～R10年度予定(R10.10月入居募集開始予定)

R8内容：設計(R8～R9) <債務負担行為予算>19,600千円(R8～R9)

新規

#### (6) 子どもの遊び場サテライト整備事業 1億100万円

今治版ネウボラの遊び場サテライトの充実のため、公園遊具等を更新。

拡充

#### (9) こども食堂支援事業 120万円

① 市内企業連携フードドライブ事業：官民連携による子育て支援の拡充

# Ⅱ 人が元気になる『まち』に

～ひとりひとりが輝く今治の創出～

## <今治型学校教育（個別最適教育・先進グローバル教育）の推進>

### 13 英語力向上対策

「瀬戸内の世界都市・今治」の実現に向け、発育段階に合わせた英語教育の充実を図り、次世代を担う子どもたちのグローバルな感覚を育むもの

新規

(1) 英語力向上今治メソッド推進事業 187万7千円

ALTを最大限に活用した英語教育改革に取り組むもの。

拡充

(2) A L T（外国語指導助手）の充実 2億7,664万4千円

小中学校における外国語指導助手（A L T）を拡充し、子どもたちが生きた英語に触れる機会を拡大する。※A L Tの配置（17人→40人）

拡充

(3) イングリッシュキャンプの開催 594万4千円

- ①デイキャンプ ②ステイキャンプ ③オールイングリッシュエクスカージョン  
④地域d e イングリッシュキャンプ ⑤自然の家d e イングリッシュキャンプ

拡充

(5) 英語力向上支援事業 1,440万円

- ①英語検定受検料補助金 ②英語対策講座の実施  
③英語コミュニケーション力調査・分析事業

拡充

新規

(6) 保育施設イングリッシュティーチャー派遣事業 91万3千円

(7) 市内高校へのA L T派遣 ゼロ予算



# Ⅱ 人が元気になる『まち』に

～ひとりひとりが輝く今治の創出～

## <教育環境の整備・充実>

### 18 教育環境の整備・充実

#### **新規** (1) 特別教室に係る空調設備整備 9億1,140万円

美術室、家庭科室等の未整備教室への空調整備及び受変電設備の改修

事業期間 令和8年6月～令和10年3月（予定）

全体事業費 23億円 <債務負担行為予算> 1,388,600千円（R8～R9年度）

整備対象校 小学校26校、中学校15校

#### **新規** (2) 屋内運動場等に係る空調設備整備アドバイザー業務委託

1,500万円

小中学校の屋内運動場や市内体育館等に空調設備を新たに導入するもの

R8実施内容 アドバイザー業務委託 <債務負担行為予算> 35,000千円（R8～R10年度）

#### **新規** (4) 中学校校舎改修工事 1億7,820万円

①近見中学校 ②立花中学校 ③桜井中学校

#### (5) バリアフリー化改修工事 1億4,190万円

小学校5校 中学校5校

#### **新規** (7) 学校給食施設再編整備基本計画の策定支援 500万円

既存施設・設備の老朽化や生徒数の推移などを踏まえ、市内にある共同調理場（11施設）と自校式調理場（10施設）の今後のあり方について検討するもの

# Ⅱ 人が元気になる『まち』に ～ひとりひとりが輝く今治の創出～

## <教育環境の整備・充実>

### 20 給食費等の負担軽減による子育て支援

**拡充** (1) 材料費物価高騰対応事業 ※1 (1) 再掲

**新規** (2) 学校給食費無償化支援事業 (小学校) 3億4,197万4千円

小学校学校給食無償化に伴い、国が定める基準額を給食運営委員会へ補助

**新規** (3) 学校給食費非喫食者等支援事業(小学校) 200万7千円

アレルギー対応等による給食非喫食者の保護者に、国が定める基準額を補助するもの

**21** 日本一おいしい学校給食づくり 305万5千円

**拡充** (2) 日本一おいしい給食フェア

市民向け試食会・給食PRブース

**新規** (3) 小学校の家庭科授業と連携した食育の実施

給食の食材について種付けから収穫、メニュー開発、家庭科の授業での調理体験、試食を行う。

**拡充** (5) 学校給食親子探検



# Ⅱ 人が元気になる『まち』に ～ひとりひとりが輝く今治の創出～

## <教育環境の整備・充実>

### 22 図書館活用促進事業

#### 新規 ▶ (1) 今治市立図書館開館100周年事業 600万円

市立図書館開館100周年を契機に、中央図書館において読書の推進や子どもたちの将来のキャリア育成に資するイベントを開催

#### 拡充 ▶ (2) 図書館システム更新 615万3千円 システム更新及び無人貸出機（10機）の導入等

#### 新規 ▶ (3) 図書館ビジョン喋り場事業 10万円

令和7年度に策定した図書館ビジョンをベースに利用者の声を聞き取り、今後の図書館が更に市民に愛され活用されるよう将来像を描くもの



# Ⅱ 人が元気になる『まち』に

～ひとりひとりが輝く今治の創出～

## <健康・医療・福祉都市づくり>



### 23 看護、介護、保育の人材確保定着制度

**継続** (1) 医療福祉人材市内定着支援事業 1,070万円

看護師、介護福祉士、保育士として市内に就職した者に就職奨励金を支給

**新規** (2) 今治看護専門学校授業料貸与制度補助事業 240万円

今治看護専門学校に入学し、卒業後今治地域の医療機関に看護師として就職しようとする者に対し、返済免除条件付きで授業料を貸与する。

**継続** (3) U I J ターン医療福祉人材支援事業 600万円

市外から市内に転入等し、看護師、介護福祉士、保育士として就職した者に対し、就労準備に係る経費の一部を支援

**新規** 24 がん検診の無償化 1,000万円

基本健診を受診した市民を対象に、がん検診のうち1項目の経費を無償化

対象者 特定健診等受診者等 対象がん検診 胃がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん、大腸がん  
無償化期間 R 8年度～R 10年度（3年間）

**新規** 26 難聴者補聴器購入費助成事業 240万円

聴力機能の低下により日常生活に支障をきたしている方であって、非課税世帯に属する満18歳以上の方を対象に補聴器購入費の一部を補助する制度を開始

# Ⅱ 人が元気になる『まち』に ～ひとりひとりが輝く今治の創出～

## <共生社会の充実>

### 28 共に生きる社会づくりの推進

#### 新規▶ (1) 多文化共生の推進加速化事業

2,242万6千円

市内の外国人住民に対して、暮らしやすさを確保するための支援を行うとともに、国際交流協会の多文化共生機能の強化を図るなど、共生社会の実現に向けた環境整備の更なる充実を図っていくもの

#### 拡充▶ (2) 外国人住民への生活相談体制の充実

272万9千円

多言語対応可能な相談窓口を設置するとともに、日常生活に必要な情報を解説した多言語リーフレットを作成

#### 新規▶ (3) 災害対応多言語コールセンターの開設

23万8千円

災害時に外国人住民が相談可能な多言語コールセンターを開設するもの



# Ⅲ 産業に活力を与える『まち』に

～瀬戸内クロスポイント構想のさらなる推進～

<新・今治のみなとづくり・まちづくり>

拡充

## 35 中心市街地グランドデザインの推進

持続可能な都市経営の実現を目指して、中心市街地グランドデザインで示したまちなかの将来像や取組の方向性を踏まえ、公共施設・公共空間の再編を一体的・総合的に推進

### (1) シビックゾーン再編整備事業

① ネウボラ拠点施設整備事業

※10(1)再掲

② 合同庁舎整備事業 5,963万円

ア 合同庁舎整備基本計画の策定

イ 合同庁舎整備検討審議会

ウ 河野美術館の解体設計

③ 今治版MICE施設整備事業 3,656万8千円

ア MICE施設整備基本計画策定業務

イ 今治市海事都市推進会議

④ シビックゾーン新設道路整備 測量設計等

6,600万円



# Ⅲ 産業に活力を与える『まち』に

～瀬戸内クロスポイント構想のさらなる推進～

<新・今治のみなとづくり・まちづくり>

拡充

## 35 中心市街地グランドデザインの推進



### (2) 魅力都市創生事業 5,120万円

#### ① 広小路（今治港線）道路空間再編整備事業

##### ア 大規模社会実験の企画・運営・効果検証

県市連携による広小路（今治港線）の道路空間再編について、社会実験を実施し、交通機能への影響、歩行者の安全確保、滞留・交流の創出等の効果を検証

##### イ 道路空間再編デザイン案の作成

地域住民・地権者・事業者との協議・合意形成を図りつつ、整備方針、管理運営方針、設計計画、配置計画、主要構造物計画等を精緻化

#### ② 中心市街地まちづくり推進に向けたその他取組

### (3) 今治港内港物揚場改修事業 6,950万円

老朽化が進む内港物揚場について、港湾機能の更新とあわせて、中心市街地と港港エリアのつながりを高め、交流や活動の広がりを生み出す空間として再構築ししようとするもの

R 8 内容：①測量調査設計 ②環境現況調査 ③公有水面埋立免許願書等作成

# Ⅲ 産業に活力を与える『まち』に

～瀬戸内クロスポイント構想のさらなる推進～

## <強い農・林・水産業づくりの推進>

拡充

### 40 農産物鳥獣被害対策事業 8,301万円

野生鳥獣による農作物被害を軽減するため、捕獲個体の買上支援、捕獲技術向上の研修、防護柵等の被害防止施設整備等を実施

- (1) 有害鳥獣買上金
- (2) 鳥獣被害防止総合支援事業
  - ①有害捕獲推進
  - ②ジビエ等の利用拡大の取組
- (3) 農業生産被害対策事業

野生鳥獣による農業生産被害を防止するための施設整備に対する助成



### 41 地域農業振興事業

拡充 (1) 地域特産物振興対策関係支援事業 ※3 (3) 再掲

新規 (2) 農業高温化対策支援事業 ※3 (4) 再掲

新規 (3) ひめの凜優良種子等供給体制強化事業 1,055万7千円

新規 (4) 緑肥等供給事業 50万円

新規 (5) 野菜広域選果施設整備支援事業 548万4千円



# Ⅲ 産業に活力を与える『まち』に

～瀬戸内クロスポイント構想のさらなる推進～

## <強い農・林・水産業づくりの推進>

拡充

### 45 復旧・復興の森づくり事業

2,385万4千円



令和7年今治市林野火災からの復旧・復興に向け、市民や企業と連携して森の再生を目指す“森づくりゾーン”におけるボランティア植樹を実施

[スケジュール]

令和7年11月～ 現地測量、地拵え 等※

令和8年3月 植樹イベント開催（発災から1年）※令和7年9月補正予算

場所 野々瀬地区

参加 朝倉小学校4～6年生、朝倉中学校1～3年生、地元自治会 等

令和8年5月～ 地拵え(6ha)

令和8年11月～ 地域小中学校、各種団体により2haのボランティア植樹  
1haあたり2,500本程度植栽を想定



新規

### 45 全国植樹祭えひめ 2026

416万6千円

愛媛県で60年ぶりに開催（令和8年5月17日）される「全国植樹祭」において、サテライト会場を開設し、令和7年今治市林野火災からの復興に向けた取組みなどを全国に向けて紹介

# Ⅲ 産業に活力を与える『まち』に

～瀬戸内クロスポイント構想のさらなる推進～

## <「住み続けられる」魅力あるまちづくり>

新規

### 49 「汝、星のごとく」プロモーション事業

700万円

R 8年度公開予定の今治しまなみエリアが舞台となる映画「汝、星のごとく」の映画公開に合わせて各種プロモーションを実施し、市内ロケ地を観光資源化し、誘客促進、市民の地域理解の深化と郷土への誇りの醸成に繋げる

《事業内容》

- ①ロケ地巡りを促す導線づくり及び認知度向上と話題性の創出に資する取組
- ②情報発信基盤整備に資する取組
- ③市内回遊性の向上及び滞在時間の延伸並びにこれらに伴う観光消費額増加に資する取組

新規

### 50 プレミアムインバウンドツアー造成事業

2,000万円

インバウンドの更なる誘客促進を目指し、新たなインバウンド向けツアーの造成及びナイトタイムエコノミーの基盤構築に取り組み、滞在型観光の推進へと繋げる

(造成ツアー展開に向けたスケジュール)

- ①サイクリングしまなみ2026において一部ツアーの実証
- ②Velo-city（自転車国際会議）2027の参加者を中心に造成ツアーの実施
- ③民間事業者によるインバウンドへのツアー展開



# IV 輝く『まち』に ～「今治時間」のあるまちへ～

## <「瀬戸内の世界都市」づくり>

新規

### 56 今治版M I C E施設の整備 ※35 (1) ③再掲



新規

### 57 愛媛大学今治サテライト設置等支援事業

今治地域地場産業振興センターに知と技術と人の交流拠点として施設整備を行い、デジタルやロボットなどの先進技術に関する産学共同研究や高度海事人材育成を進めるため、他の大学や研究機関から研究者を外部招聘、スタートアップ企業誘致など環境整備を行う

#### (1) 今治海事エコシステム構築プロジェクト推進補助金

4億9,573万1千円

対象期間 令和8年度～令和12年度（5年間）  
参画機関 今治市、愛媛県、愛媛大学、今治造船株式会社、  
株式会社新来島どっく、BEMAC株式会社 他

- ①デジタル・ロボット技術活用、次世代船開発の新技术基盤の構築（大学、海事産業）
- ②海事人材育成エコサイクルの構築（地場産施設改修設計）
- ③オープンイノベーションによる新ビジネスの創出（大学）

#### (2) 海事人材育成推進プロジェクト 550万円

海事産業に対する興味・関心を高め、将来的な海事産業の人材確保に繋げるもの

対象 ①小学生、②中高校生、③大学生・高専・民間企業  
事業内容 ア 各世代にマッチしたイベントの実施  
イ 海のロボコン開催に向けた検討

# IV 輝く『まち』に ～「今治時間」のあるまちへ～

<アート&カルチャー&スポーツで夢中になれるまちづくり>

## 60 サイクルシティIMABARIのパワーアップ

- 拡充** (1) サイクルシティ推進事業 600万円  
(4) サイクリングしまなみ2026 7,097万円
- 拡充** (5) サイクルライフ促進事業 1,340万円  
・自転車用ヘルメット利用促進事業 ・中学校就学自転車等購入支援事業
- 新規** (6) サイクルシティ(自転車都市×循環型都市)ブランド強化事業 2,000万円  
廃棄予定ヘルメットをベンチやサイクルスタンド等、アートと実用性を兼ね備えた「街の家具」として再生する新たなプロジェクトを実施する。
- (7) サイクリストに優しい道路環境整備
- ① 自転車通行空間整備事業 2億300万円  
・市道北宝来近見線道路改良工事 ・市道今治駅北浜町線道路改良工事
- ② 市単独道路舗装事業 1,900万円  
・市道大新田大浜線(舗装改良)



**新規**

## 61 Velo-city2027機運醸成事業

- (1) Velo-city2026(イタリア)での今治市のPR 20万円  
※Velo-city(自転車国際会議)2026 Rimini開催(2026年6月16日～19日)
- (2) 国際水準の受入環境整備 500万円  
トヨタ・モビリティ基金等と連携し、ピクトグラム等を用いた案内標識や路面標示を設置
- (3) プレミアムインバウンドツアー造成事業 ※50再掲

# IV 輝く『まち』に ～「今治時間」のあるまちへ～

<アート&カルチャー&スポーツで夢中になれるまちづくり>

## 62 里山スタジアムを核としたにぎわい創出事業

「今治市里山にぎわい創出協議会」を核に、里山エリアと周辺の365日のにぎわいを創出

### (1) にぎわい創出に資する環境整備 300万円

階段設置、ラウンドアバウト植栽、スポーツパーク（サッカー場）の無料開放実証（月1回、平日午前）、里山エリアマップ印刷

新規

### (2) 持続可能なにぎわいの創出に向けた取組み 2,750万円

F C今治のJ1昇格を見据えた中での交通量の増加や駐車場不足への対応やエリアの更なる活性化に向けた事業を実施

- ①シャトルバス運行支援
- ②バス乗客へのインセンティブ付与



新規

## 65 モルックアジア大会の開催 400万円

国内外から300を超えるチームの参加が見込まれるモルックアジア大会を西日本で初めて今治新都市スポーツパークで開催

開催日 令和9年1月上旬予定  
市負担金 4,000千円（大会運営費及び参加者へのおもてなし）  
参加者 300チーム1,200人  
出場国 日本・韓国・台湾・香港・インド・オーストラリアなど



# IV 輝く『まち』に ～「今治時間」のあるまちへ～

## <アート&カルチャー&スポーツで夢中になれるまちづくり>

拡充

### 69 世界のT A N G E 魅力創生事業 591万1千円

- (1) 国登録有形文化財（建造物）の登録に向けた国への意見具申  
市庁舎本館・公会堂・市民会館の国登録有形文化財の登録を目指す
- (2) 丹下健三建築サポーター養成ワークショップ&講演会
- (3) 世界のT A N G E ビジターセンター機能および情報発信の強化
- (4) 国際的な建築祭との連携に向けた取組
- (5) 建築美術のまちめぐりツアー

新規

### 72 「村上海賊」日本遺産認定10周年記念事業 932万6千円

《事業内容》

- ①せとうちみなとマルシェ×海賊フェス（稼ぐ取組み）
- ②村上海賊魅力発信推進協議会（尾道市連携）事業（基盤強化の取組み）
- ③日本遺産村上海賊わくわく大冒険
- ④村上海賊ミュージアム日本遺産10周年記念特別展
- ⑤プロジェクトマッピングin村上海賊ミュージアム

# IV 輝く『まち』に ～「今治時間」のあるまちへ～

## <公共交通ネットワークの再構築>

### 73 地域公共交通活性化事業

誰もが利用しやすく持続可能な公共交通体系の実現を目指し「市民の足を空白にしない」新たな公共交通ネットワークの構築を進める

#### (1) 地域公共交通活性化協議会 2,231万1千円

新規

- ①地域公共交通アクションプランの策定
- ②乗合タクシー運行
- ③チョイソコおおみしま運行
- ④その他（バス乗り方教室、公共交通マップの作成等）



#### (2) 第二種免許取得支援事業 50万円

新規

#### (3) タクシー地域アプリ導入等支援事業費補助金 ※3 (5) 再掲

拡充

#### (4) 伯方島公共ライドシェア実証運行事業費負担金 800万円

令和7年度に実施した公共ライドシェア実証運行の検証・分析を踏まえ、運行伯方地域の実情に合った最適な公共交通の導入に向けた実証運行の実施を支援

事業者 伯方島モビリティコンソーシアム  
実施期間 令和8年4月～令和9年1月

# IV 輝く『まち』に ～「今治時間」のあるまちへ～

## ＜「ゼロカーボンシティ・今治」の推進＞

拡充

### 74 脱炭素先行地域推進事業

(1) 脱炭素先行地域づくり事業費補助金 1億4,349万4千円

しまなみ海道ブルーラインメインルート沿線上（以下、「脱炭素先行地域」）の家庭、事業所及び今治タオル産業群に対し、再エネ等設備導入に必要な経費を支援

- ①家庭向け再エネ設備等パッケージ導入支援補助
- ②事業所向け再エネ設備等導入支援補助
- ③今治タオル産業群向け太陽光発電設備導入支援補助

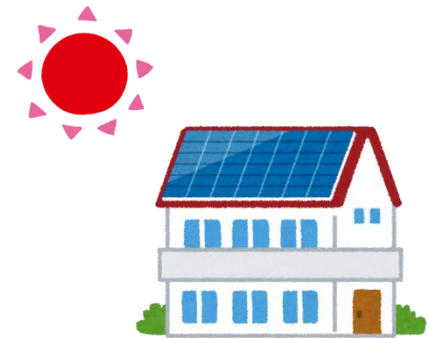
新規

(2) 公共施設への太陽光発電設備等の設置 1億860万3千円

対象施設 サンライズ糸山、今治駅前サイクリングターミナル、伯方最終処分場跡地  
＜債務負担行為予算＞ 321,894千円（R8年度～R10年度）

(3) 脱炭素化等資金利子補給金 68万3千円

(4) ゼロカーボンシティ事業費 ※2 (2) 再掲



新規

### 77 公共施設LED化推進事業 5,923万1千円

公共施設のうち、電気代の削減効果が高いと見込まれる施設への照明機器のLED化を加速化

対象施設：R8年度：サン・アビリティーズ今治 外16施設

R9年度：村上海賊ミュージアム 外12施設

＜債務負担行為予算＞ 124,313千円（R8～R9年度）

# IV 輝く『まち』に ～「今治時間」のあるまちへ～

## <地域コミュニティの活性化>

### 82 今治みらい発掘プロジェクト事業

#### (1) 地域むすぼうミーティング 358万5千円

今治みらい発掘隊や地域おこし協力隊の隊員の想いを語る座談会を開催し、参加者との対話や交流を通じて、次の担い手を発掘・育成しようとするもの

拡充

#### (2) 未来へつなG O！今治共創プロジェクト 488万8千円

市民が中心となって新たな地域の賑わいを創出することを目的とした活動を、四国地域の活性化に取り組む「四国サポーターズクラブ」と協働で支援するプロジェクト

- ①「いまここ青春祭2026」の開催
- ②市内高校生と呉未来塾（呉市）との交流事業
- ③「今治市公認探究部」伴走支援事業
- ④今治四国お宝F A Mツアー

拡充

#### (3) 今治地域みらいまちづくり事業 1,200万円

住民の創意工夫に基づき地域の自立的発展を目指すための事業に対し補助金を交付

- ①単独地域事業（地域単独で行う事業）
- ②広域連携事業（複数の地域（2地域以上）が連携して行う事業）

### 83 地域担当職員活動事業 1,150万円

担い手不足をはじめとする地域課題に対し、住民の取組を支えるため、各支所に配置された地域担当職員が住民の活動に参画し、課題解決に取り組むもの

# V しなやかで強靱な『まち』に

<安全・安心なまちづくり>

新規

## 86 治水施設緊急整備事業

2億9,120万円

激甚化・頻発化する豪雨への対策強化のため、緊急自然災害防止対策事業債の制度を活用し、市内の老朽化したポンプ場や水路の改修等を計画的かつ集中的に行う

### (1) ポンプ場等改良工事

- ①大西町新町ポンプ場      ②菊間町タカタポンプ場      ③杣田ポンプ場
- ④中土手川ポンプ場      ⑤御物川遊水地

### (2) 水路等改良工事

- ①御物川河床      ②喜田村三反地川支川      ③虹ヶ淵支線5号水路
- ④上浦町井口排水路      ⑤隅田支川5号水路

継続

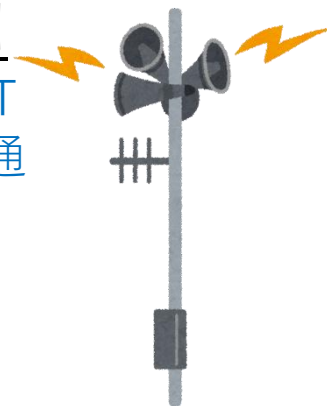
## 87 防災行政無線システム更新工事

2億7,000万円

災害など緊急時の情報伝達手段である多重系システムや、J-A R E R T 放送などを放送操作するデジタル同報系システムを更新し、将来的な新通信方式への対応を見据えた機能強化を図ろうとするもの

[概要] 全体事業費：435,600千円

工 期：R7年度～R8年度



# V しなやかで強靱な『まち』に

## <「地域ディフェンス力」の強化>

拡充

### 89 避難所環境改善事業 3,062万円

近年頻発している複合災害や林野火災の検証結果を踏まえ、避難所の更なる環境改善や物資・資機材を迅速な運搬体制の構築に取り組むとともに、外国人や高齢者、障がい者など配慮を必要とする方が安心して避難できる環境整備を進めるもの

車載トイレ、トラック（リフトゲート機能付）、災害対応車、多言語対応ピクトグラム避難所看板設置、災害用トイレテント折り畳み式簡易ベッド、車いす用可搬型スロープ 等



### 91 防災士育成事業 209万3千円

#### (1) 防災士資格取得支援

#### 新規 (2) ジュニア防災士育成事業

次世代の防災人材育成のため、ジュニア防災士を育成するとともに、地域防災の担い手として継続的に関わる仕組みを構築し、共助力の向上を目指すもの

内容	防災士資格取得のための「ジュニア防災塾」の開催 資格取得後の訓練参加など防災事業への参加意欲向上のための認証制度の創設
対象者	小学生(高学年)～高校生

# V しなやかで強靱な『まち』に

## <誰も取り残さない消防・救急体制の構築>

新規

### 94 令和7年今治市林野火災を教訓とした防災力強化

令和7年今治市林野火災の検証結果を踏まえ、消防本部と防災担当部局間の情報共有体制や、被災現場の情報収集、緊急消防援助隊等との連携の課題に対応し、地震や風水害等にも迅速な対応が可能な消防・救急・防災体制を構築しようとするもの

- (1) 災害時における情報収集・共有体制の強化 1,675万6千円
  - ①消防ドローン部隊の拡充
  - ②災害対策本部の強化
- (2) 消防団や緊急消防援助隊、自衛隊等との連携強化 1,686万2千円

広域災害等においても、消防団や緊急消防援助隊等の応援部隊と現場の状況や設備の情報等を即時に共有できる体制を整備しようとするもの
- (3) 林野火災を想定した連携強化訓練 125万円

災害対策本部及び消防本部の連携強化を図るため、導入資機材を活用した情報共有訓練と災害現場・避難所での実動訓練を一体的に実施するもの

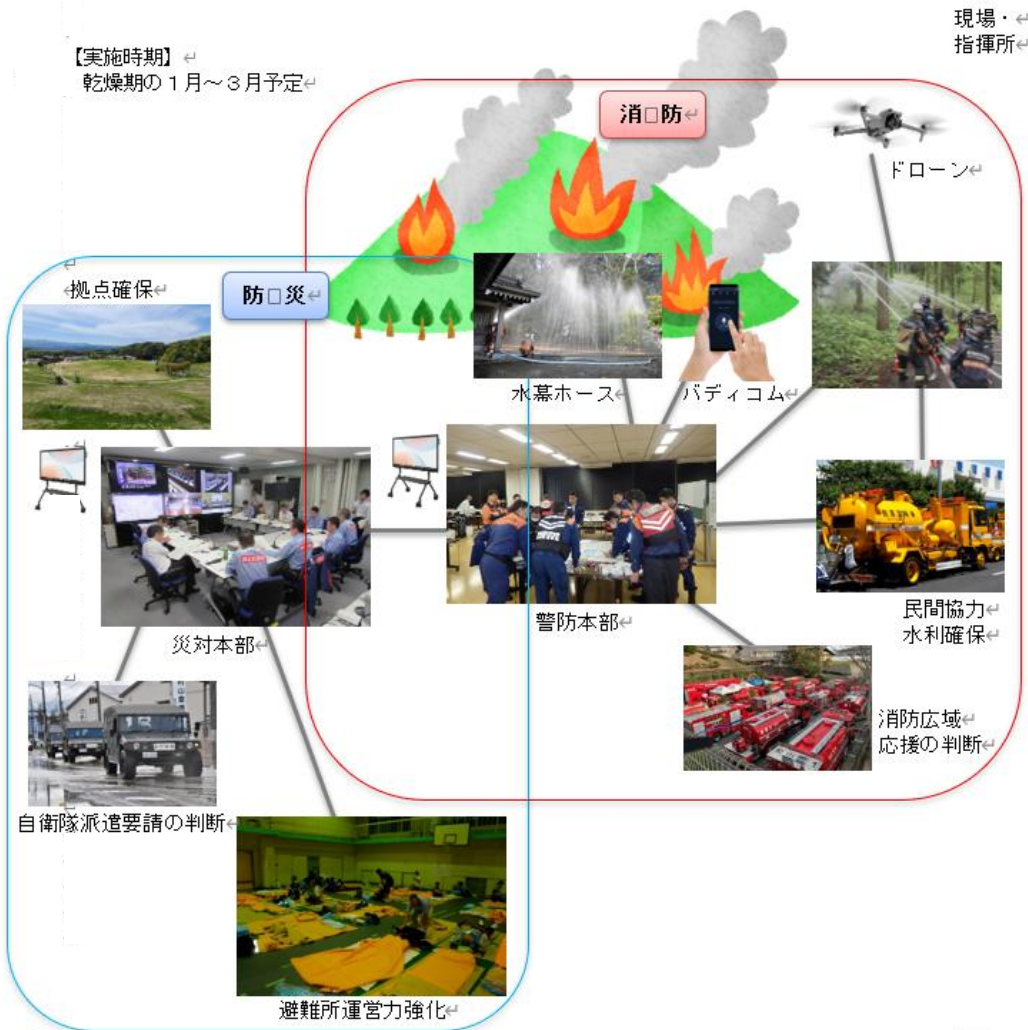


# V しなやかで強靱な『まち』に

## <誰も取り残さない消防・救急体制の構築>

新規

### 94 令和7年今治市林野火災を教訓とした防災力強化



#### 林野火災を想定した連携強化訓練

##### 【目的・ねらい】

- ・ 林野火災で課題となった「情報連携」「水利確保」「応援要請」「受援体制」の確認
- ・ 防災士が主体的に動く実践型避難所運営力強化訓練の実施

##### 【訓練項目】

- ・ 林野火災を確認し、地上からのボディコム、ドローンを活用した状況把握と本部伝送
- ・ 水利が不足した際の民間企業と連携した消火用水の搬送とホース展張・用水圧送
- ・ 消防県内広域応援、自衛隊派遣タイミングの確認
- ・ 応援隊受入拠点の確保と部隊展開の可視化

# 令和8年3月定例市議会提出予定案件(令和7年度3月補正分)

## ■補正予算 4件

(単位：千円)

	補正予算額	補正後の額	対前年比
1 令和7年度 今治市一般会計補正予算(第8号)	3,991,517	89,332,974	0.6%
2 令和7年度 今治市船舶交通特別会計補正予算(第2号)	0	274,309	4.1%
3 令和7年度 今治市港湾事業特別会計予算(第1号)	0	444,000	33.3%
4 令和7年度 今治市介護保険特別会計補正予算(第2号)	103,162	19,208,522	△5.6%
合 計	4,094,679	147,866,032	△0.6%

## ■条例 1件

- 1 今治市行政組織条例等の一部を改正する条例制定について

## ■その他の議案 1件

- 1 船舶交通特別会計への繰入額の変更について

# 令和8年3月定例市議会提案主要事業(令和7年度3月補正分)

◎は新規施策、○は拡充施策を含む

## ■一般会計補正予算(第8号) [29事業] 39億9,151万7千円(補正後の額 893億3,297万4千円)

### 1 直面する課題への対応

- |                                    |           |
|------------------------------------|-----------|
| ① 指定管理施設におけるエネルギー価格高騰対応            | 3,665万5千円 |
| ② 令和7年今治市林野火災で援助を受けた他府県の緊急消防援助隊活動費 | 6,070万9千円 |

### 3 人が元気になる『まち』に～ひとりひとりが輝く今治の創出～

- |                       |           |
|-----------------------|-----------|
| ③ 障害福祉サービス費の利用増に伴う不足額 | 7億7,000万円 |
| ④ 障害児支援事業費の利用増に伴う不足額  | 1億8,000万円 |
| ⑤ 今治時間体験事業            | 291万3千円   |

### 4 産業に活力を与える『まち』に～瀬戸内クロスポイント構想のさらなる推進～

- |                                       |             |
|---------------------------------------|-------------|
| ⑥ 地域産業デジタルイノベーション加速化事業                | 5,654万4千円   |
| ⑦ スタートアップ創業支援事業                       | 1,000万円     |
| ⑧ 若者人材ふるさと回帰支援事業                      | 660万円       |
| ⑨ i.i.imabari!ブランド推進事業                | 3,474万7千円   |
| ⑩ 魅力発信・交流拠点創出事業                       | 1,000万円     |
| ⑪ ふるさと納税の増加に伴う返礼品等(追加予算) ※歳入30億円→38億円 | 3億8,713万6千円 |
| ⑫ 物産観光プロモーション促進事業                     | 2,127万4千円   |
| ⑬ デジタル人材育成事業                          | 1,836万円     |
| ⑭ 国の補正等に伴う事業費の補正(公共道路改良事業)            | 4,640万円     |
| ⑮ 国の補正等に伴う事業費の補正(道路橋りょう補修事業)          | 6,750万円     |
| ⑯ 国の補正に伴う事業費の補正(今治港蔵敷地区改修事業)          | 5,000万円     |

# 令和8年3月定例市議会提案主要事業(令和7年度3月補正分)

◎は新規施策、○は拡充施策を含む

## 5 輝く『まち』に～「今治時間」のあるまちへ～

⑰ 「海事都市今治未来基金」への寄附に伴う積立金	1億40万円
⑱ スポーツ振興基金積立金（FC今治スタジアム建設プロジェクトへのふるさと納税寄附金）	1億3,406万円
⑲ 文化版「ウェルビーイング」	500万円
⑳ 生活交通バス路線運行事業者への経常欠損の補てん補助	2億720万4千円
㉑ 県支出金等の減額に伴う船舶交通特別会計への繰出金の増額	1,156万5千円
㉒ 脱炭素推進事業	978万8千円

## 6 しやなかで強靱な『まち』に

㉓ 国の補正等に伴う県営事業負担金の補正（県営土地改良事業費）	1,920万2千円
㉔ 国の補正に伴う事業費の補正（老朽ため池整備事業費）	2,000万円
㉕ 災害対策費	1,850万円

## 7 その他

㉖ 財政調整基金への積立金	14億23万9千円
㉗ 減債基金への積立金	1億5,781万4千円
㉘ 国庫負担金等の額の確定に伴う精算返納金（過年度分）	1億4,657万5千円
㉙ 新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害給付金	233万2千円

# 〈脱・衰退〉 令和8年度当初予算の重点施策（抜粋）

R8当初予算 85,300,000千円

## 直面する課題への対応

### <物価高騰対策>

- |                        |           |
|------------------------|-----------|
| ○ 1 給食費等の負担軽減等による子育て支援 | 89,789千円  |
| ◎ 2 省エネ家電等普及促進等による家庭支援 | 204,524千円 |
| ◎ 3 設備投資支援等による事業者支援    | 150,401千円 |
| 1 指定管理施設燃料費高騰対応事業費補助金  | 36,655千円  |

※ 3月補正

## I 「考動する市役所」がある『まち』に

### <考動する市役所への進化>

- |                           |          |
|---------------------------|----------|
| ☆ 4 デジタル活用の推進             | 66,381千円 |
| オンライン手続きの拡充、デジタル給付、共用車管理等 |          |

### <政策アンテナ・戦略的情報発信の強化>

- |                             |          |
|-----------------------------|----------|
| ◎ 6 市民参加型政策形成プラットフォーム構築事業   | 2,000千円  |
| ☆ 7 「Z世代」「α世代」の声の政策反映に向けた取組 | 3,433千円  |
| ☆ 8 広報戦略プロジェクトの推進           | 33,744千円 |
| 広報戦略プロジェクト、わが街ポータル等         |          |

### <スマートシティ今治（デジタル化）の推進>

- |   |          |
|---|----------|
| ☆ 9 AIを活用したデジタル化の加速                       | 86,664千円 |
| みらい行政AIラボ、ポケトーク for スクール、<br>庁内AIコンシェルジュ等 |          |

## II 人が元気になる『まち』に ~ひとりひとりが輝く今治の創出~

### <子育ての理想郷の実現>

- |  |           |
|--|-----------|
| ☆ 10 安心して子どもを産み育てるための環境整備  | 285,439千円 |
| ネウボラ拠点施設整備、地域子育て支援拠点事業<br>ウッドスタート事業、子どもの遊び場サテライト整備                               |           |
| ☆ 11 切れ目のない子育て支援   | 199,691千円 |
| 婚活支援事業、妊婦・乳児健康診査、ファミサポ活動助成<br>こども誰でも通園制度、病児保育事業、早朝一時預かり事業<br>しまなみの子どもを育む交通費支援事業等 |           |

### <今治型学校教育（個別最適教育・先進グローバル教育）の推進>

- |  |           |
|--|-----------|
| ☆ 13 英語力向上対策   | 330,001千円 |
| ALTの充実、イングリッシュキャンプ、英語力向上支援事業<br>保育施設イングリッシュティーチャー派遣等 |           |
| ☆ 15 教育のデジタル化推進                                      | 58,051千円  |
| KIDSプログラミングコンテスト、プログラミングキャンプ                         |           |
| ☆ 16 部活動の地域展開支援                                      | 5,577千円   |
| 17 島しょ部高校魅力創造事業                                      | 23,818千円  |

### <教育環境の整備・充実>

- |  |             |
|--|-------------|
| ☆ 18 教育環境の整備・充実                                      | 1,332,917千円 |
| 特別教室・屋内運動場等の空調整備、校舎改修工事<br>バリアフリー化改修工事、学校給食施設整備基本計画等 |             |
| ◎ 20 学校給食費無償化支援事業等                                   | 431,877千円   |
| ☆ 21 日本一おいしい学校給食づくり                                  | 3,055千円     |
| ◎ 22 今治市立図書館開館100周年事業等                               | 12,253千円    |

### <健康・医療・福祉都市づくり>

- |                        |          |
|------------------------|----------|
| ☆ 23 看護、介護、保育の人材確保定着制度 | 31,100千円 |
| ◎ 24 がん検診の無償化          | 10,000千円 |
| ◎ 26 難聴者補聴器購入費助成       | 2,400千円  |

### <共生社会の充実>

- |                         |          |
|-------------------------|----------|
| ☆ 28 共に生きる社会づくりの推進      | 25,393千円 |
| 多文化共生の推進加速、外国人生活相談体制の充実 |          |

### <「みなさと」戦略の展開>

- |                       |          |
|-----------------------|----------|
| ☆ 29 「しまなみ・今治移住施策」の深化 | 69,644千円 |
|-----------------------|----------|

# 〈脱・衰退〉 令和8年度当初予算の重点施策（抜粋）

R8当初予算 85,300,000千円

## Ⅲ 産業に活力を与える『まち』に

～瀬戸内クロスポイント構想のさらなる推進～

### <地域経済の「新しい成長」>

6 デジタルイノベーション加速化事業 ※3月補正 56,544千円

### <i.i.imabari!のパワーアップ>

9 i.i.imabari!ブランド推進事業 ※3月補正 34,747千円

### <産業のDX・GXの支援>

13 デジタル人材育成事業 ※3月補正 18,360千円

### <新・今治のみなとづくり・まちづくり>

☆35 中心市街地グランドデザインの推進 287,956千円

ネウボラ拠点施設整備※10再掲今治版MICE施設整備

魅力都市創生事業、今治港内港物揚場改修事業

◎36 持続可能な都市モビリティ計画（SUMP）策定 20,308千円

◎37 国道317号（松山・今治）整備促進期成同盟会 1,000千円

### <強い農・林・水産業づくりの推進>

☆40 農産物鳥獣被害対策事業 83,010千円

☆41 地域農業振興事業 31,541千円

○45 復旧・復興の森づくり事業 23,854千円

◎46 全国植樹祭えひめ2026 4,166千円

### <「住み続けられる」魅力あるまちづくり>

◎49 「汝、星のごとく」プロモーション事業 7,000千円

◎50 プレミアムインバウンドツアー造成事業 20,000千円

☆53 今治港クルーズ船おもてなし事業 1,000千円

☆54 鈍川温泉“ゆ”ノベーション推進事業 54,000千円

☆55 亀老山展望公園整備事業 78,500千円

## Ⅳ 輝く『まち』に ～「今治時間」のあるまちへ～

### <瀬戸内の世界都市づくり>

◎56 今治版MICE施設の整備 ※35再掲 36,568千円

◎57 愛媛大学今治サテライト設置等支援事業 501,231千円

☆58 英語教育の充実 ※13再掲 330,001千円

### <アート&カルチャー&スポーツで夢中になれるまちづくり>

☆60 サイクルシティIMABARIのパワーアップ 340,027千円

◎61 Velo-city2027機運醸成事業 25,200千円

◎62 里山スタジアムを核としたにぎわい創出事業 30,500千円

○65 モルックアジア大会の開催 4,000千円

☆69 世界のTANGEM魅力創生事業 5,911千円

◎72 「村上海賊」日本遺産認定10周年記念事業 9,326千円

### <公共交通ネットワークの再構築>

☆73 地域公共交通活性化事業 47,511千円

### <「ゼロカーボンシティ・今治」の推進>

☆74 脱炭素先行地域推進事業 277,780千円

◎77 公共施設LED化推進事業 59,231千円

### <「しまなみ海道通行料実質無料化」対応の加速>

◎79 島しょ部通行料金助成事業 ※2再掲 87,000千円

☆81 しまなみ海道の利用促進と通行料負担軽減 190,490千円

### <地域コミュニティの活性化>

☆82 今治みらい発掘プロジェクト事業 20,473千円

83 地域担当職員活動事業 11,500千円

## Ⅴ しなやかで強靱な『まち』に

### <安全・安心なまちづくり>

◎86 治水施設緊急整備事業 291,200千円

### <「地域ディフェンス力」の強化>

☆89 避難所環境改善事業 30,620千円

☆91 防災土育成事業 2,093千円

☆92 防災訓練の実施 6,558千円

### <誰も取り残さない消防・救急体制の構築>

◎94 今治市林野火災を教訓とした防災力強化 34,868千円

# 令和8年3月今治市議会定例会（第2回）

## 記者発表



STAGE CHANGE  
～ つながる未来へ 新しい風を確かなものに ～

令和8年3月定例市議会提案主要事業  
(令和8年度当初予算分)

(単位：千円)  
特定財源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

【一般会計】		85,300,000千円		
		※再掲除く		
直面する課題への対応		444,714千円		
＜物価高騰対策＞				
1 子育て世帯の負担軽減				
○	(1) 給食費等支援 材料費高騰の影響を受ける保育所等の食事や小中学校等の給食について、その提供に必要となる経費を国の交付金を活用して市が支援することで、保護者の子育てに係る負担の軽減を図りつつ、子どもたちの安心安全な食事を確保しようとするもの			
	①保育所給食等材料費高騰対応事業費 [保育幼稚園課]	23,000	国	臨時交付金 23,000
	ア 保育所給食等子育て応援事業費 8,000 保護者から徴収する副食費と国が定める公定価格（施設運営の基準となる価格）との差額を市が負担することで、保護者の負担軽減を図ろうとするもの 補助単価：一人あたり 1号認定：月320円 2・3号認定：月400円			
	イ 保育所給食等材料費高騰対応事業費 15,000 提供に実際に要している副食費と公定価格との差額を市が負担することで、保護者の負担を増大させることなく給食の質を確保するもの 補助単価：一人あたり 1号認定：月400円 2・3号認定：月500円			
	※ア、イ合わせて、最大で児童一人当たり年間で約1万円の負担軽減を見込む			
	②学校給食材料費高騰対応事業費 [学校給食課]	64,896	国	臨時交付金 64,896
	ア 学校給食子育て応援事業費 12,870 保護者から徴収する給食費の一部を市が負担することで、保護者の負担軽減を図ろうとするもの 補助単価：一食あたり 中学校：20円			
	イ 学校給食食材費高騰対応事業費 52,026 提供に実際に要している給食費と市（小学校の場合は国）が設定する給食費との差額を市が負担することで、保護者の負担を増大させることなく給食の質を確保するもの 補助単価：一食あたり 小学校：実勢価格と国が定める基準額の差額 中学校等（しまなみ高校含む）：52円			
	※ア、イ合わせて、最大で小学生は一人当たり年間で約3千円（国の無償化施策を合わせると年間で約6万円）、中学生は一人当たり年間で約1万4千円の負担軽減を見込む			
◎	(2) ファミリー・サポート・センター提供会員活動助成事業 [こども未来課] ファミリー・サポート・センター提供会員が行う援助活動に対し、市独自の活動費助成を行うことで、提供会員の安定的かつ持続可能な活動を支援しようとするもの 助成内容 提供会員が依頼会員から得る報酬とは別に、一時間あたり400円を公費で追加支給	1,893	国	臨時交付金 1,893
2 一般家庭の負担軽減				
◎	(1) 島しょ部通行料金助成事業 [しまなみ振興課] 日常生活におけるしまなみ海道通行料金の恒常的な負担に加え、物価高騰により更なる負担を伴う島しょ部地域の住民に対し、令和8年度に限り国の交付金を活用し、しまなみ海道利用に係るアンケートの協力世帯を対象に、島しょ部地域内の店舗で日用品等の購入に使用可能なクーポン券を配布しようとするもの 対象者 島しょ部地域（大島、伯方島、大三島、関前）に居住する世帯主 助成額 クーポン券1世帯あたり1万円分（@500円×20枚）	87,000	国	臨時交付金 87,000
◎	(2) 省エネ家電等普及促進事業費 [環境政策課] 物価高騰の影響を受ける家計の負担軽減を図るため、対象となるエアコンやLED照明器具を購入した市民に対して、その購入金額に応じた電子マネーを給付し、省エネ家電等の買い替えを促進することで併せて脱炭素化を推進しようとするもの	92,524	国	臨時交付金 92,524
	①対象商品：エアコン・LED照明器具（統一省エネラベル 2つ星以上） ※LED照明器具については、複数購入で基準額を超えたものが対象			
	②電子マネー給付額 75,000 購入金額40,000円以上120,000円未満の場合 15,000円相当 購入金額120,000円以上の場合 30,000円相当			
	③事務費（人件費、電子マネー手数料等） 17,524			

○	(3) ゼロカーボンシティ事業費 [環境政策課] 物価高騰等により、家計の負担が増大し続けている中、太陽光発電設備の導入を国の交付金を活用し臨時的に支援することで、電気代による負担を軽減し、家庭におけるエネルギー使用量の削減を図るもの 補助対象者 市内全地域の一般住宅 補助率 1/2 (上限500千円) 補助対象経費 太陽光発電設備又はソーラーカーポート	25,000	国	臨時交付金	25,000
<b>3 事業者の負担軽減</b>					
◎	(1) 経営力強化伴走支援事業 [産業振興課] 市内企業の持続的な競争力強化を図り、賃上げ環境を整備するため、業種ごとの課題を分析して市の施策に反映するとともに、各業種の企業に対して伴走型の個別支援を行うもの 対象者 市内の中小企業、個人事業主 対象業種 (想定) ①タオル産業 ②建設業 ③食品関連産業 ④観光業 ⑤農林水産業 事業内容 各業界全体の課題抽出及び解決策の整理・報告 分析結果に基づいた各社への伴走支援	15,000	国	臨時交付金	15,000
◎	(2) 物価高騰対応DX・GX緊急対策事業 [産業振興課] エネルギー価格高騰に直面する中小企業に対し、DX・AIを活用した設備投資や省エネ投資を支援し、生産性向上とコスト削減を実現するとともに、創出された原資を賃上げや次世代投資に還流させ、物価高騰に負けない強靱で競争力のある経営基盤の強化を図るもの 対象者 市内に事業所を有する中小企業 条 件 1人あたり平均2.5%以上の賃上げを行う事業者 (従業員20名以下の場合は、賃上げ平均1.5%以上) 補助率 1/2 (補助上限額10,000千円)	100,201	国	臨時交付金	100,201
☆	(3) 地域特産物振興対策関係支援事業 [農林水産課] 国・県事業の対象とならない小規模な簡易ハウス及び付帯設備等の整備を支援することで、農産物の生産量の拡大、製品価値の向上を図るもの 実施主体 農業協同組合、3戸以上の農業者団体 補助率 市1/2 (R8年度拡充内容) ①湧水対策として「井戸の調査・掘削」に対する支援 ②「中古ビニールハウス」のリノベーション支援	12,000	国	臨時交付金	12,000
◎	(4) 高温化対策支援事業 [農林水産課] ①農業高温化対策支援事業 近年の高温化への対策として遮光ネットの導入を支援することで、農業者の負担を軽減し、農作物の生産量の安定化を図るもの ※R7年度に実施した高温対策実証事業の結果を踏まえたもの 実施主体 資材販売事業者 対象経費 遮光ネット 補助率 1/2 (1農業者あたり上限200千円) 事業費 200千円/人×15人=3,000千円	3,000	国	臨時交付金	3,000
◎	②水産業高温化対策支援事業 近年の高温化で活魚のへい死や施水量の増加が進んでいるため、鮮度保持を目的に、生け簀への直射日光を防ぐ漁船用テントや老朽化した保冷箱の導入を支援するもの 実施主体 漁業協同組合正組合員 対象経費 漁船用テント、漁船用保冷箱 補助率 1/2 (1漁業者あたり上限50千円) 事業費 50千円/人×70人=3,500千円	3,500	国	臨時交付金	3,500
◎	(5) タクシー地域アプリ導入等支援事業費補助金 [地域振興課] タクシー共同配車アプリの導入を支援することで、タクシードライバーの高齢化や人材不足などによるタクシーの供給不足といった課題を解決し、業界の効率化やサービスの充実を図ろうとするもの	16,700	国	臨時交付金	16,700
<b>I 「考勤する市役所」がある『まち』に</b>					<b>192,222千円</b>
<b>&lt;考勤する市役所への進化&gt;</b>					
<b>4 デジタル活用の推進</b>					
デジタル技術を活用した行政運営の効率化や市民の利便性向上、地域の課題解決に向けた取組み等を推進しようとするもの					

[市民の利便性向上]				
	(1) 本庁・支所間オンライン相談窓口 [未来デジタル課] 各支所と本庁担当課間のオンライン相談体制を確保し、市民が利用しやすい環境を整え、利便性向上を図ろうとするもの 設置箇所 11支所・本庁14課	2,460		
◎	(2) オンライン手続きの拡充等 [未来デジタル課] 手のひら市役所などオンライン手続きの利活用拡充に向けた環境整備 ア 電子申請ポータルサイト構築 110 電子申請・施設予約・電子図書館など、市民が利用可能なオンラインサービスメニューを集約したポータルサイトを市ホームページ上に構築しようとするもの イ サービス利用のサポート自動化ツール 4,180 PC画面上での操作を自動でスライド化することができるツールを導入し、電子申請サービスにおける操作手順マニュアルを作成するなど、市民サービスの向上や日常業務の省力化・効率化に活用しようとするもの	4,290		
	(3) 書かない窓口（デジタル窓口システム） [市民課] 転出・転入・転居の異動等について、職員がシステム上で来庁した市民と一緒に確認しながら住民異動届を作成することで、何度も同じ内容を書く必要がないよう住民負担の軽減に寄与するもの	2,593		
	(4) 住民窓口の多様化モデル事業 [未来デジタル課・市民参画課] 住民がアクセスしやすい場所まで行政サービスを届ける「移動市役所」と申請ナビ端末を用いた「行かない窓口」「書かない窓口」の運営	12,822		
	(5) 多言語翻訳ディスプレイによる相談窓口 [未来デジタル課] 透明ディスプレイ上に翻訳内容を字幕でリアルタイム表示し、「相手の顔」と「字幕」の両方を有効視野に入れることで、多様な方に均一な行政サービスを提供しようとするもの 対応言語 13言語（英語・中国語・韓国語・ベトナム語・フィリピン語など）	624		
◎	(6) 庁内案内デジタルサイネージの導入 [未来デジタル課] 設置予定箇所 本庁第1・2別館エレベーター付近、 市民が真ん中相談センター付近の計3箇所	2,884	市債	2,200
☆	(7) デジタル給付事業 [i.i.imabari!推進課] 補助金やボランティア活動に対するインセンティブ付与などについて、市内限定での利用が可能なデジタル給付を活用することで、市民の利便性の向上と地域経済循環の促進を図ろうとするもの (実施予定事業) ・こどもが真ん中応援券 [こども未来課] ・特定健診、つるかめ健診受診勧奨 [保険年金課] ・健康づくり応援ポイント [健康推進課・保険年金課] ・ねんりんピック全国大会出場表彰、社会福祉大会市長表彰、 中学生弁論大会参加賞、ことぶき大学記念品 [福祉政策課] ・海岸清掃ボランティア [環境政策課] ・サイクリングしまなみ2026参加者へのおもてなし [サイクルシティ推進課] ・いまぱりジュニアマイスター賞表彰 [産業振興課・海事都市今治推進課] ・令和7年今治市林野火災復旧・復興ボランティア植樹 [農林水産課]	25,473		
	[行政運営の効率化]			
	(8) DX人材育成研修 [人事課] 市民サービス向上を目的としたデジタルツールの活用を促進するため、職員の意識改革及び課題解決に取り組む実践的なDX人材育成研修を実施 内容 管理職から若手職員までの混合チームで課題解決型学習に取り組み、行政サービスやデジタルツール活用のボトルネック解消に有効な考え方や手法を学び、庁内で横展開を行うもの	792		
☆	(9) DXリテラシー研修 [未来デジタル課] DXマインドセットの醸成を図りながら、業務効率化を目的としたデジタルツール及びAIの活用を促進するため、職員向けの研修を実施 内容 高度人材シェアリング事業 生成AIワークショップ研修、ハンズオン研修 kintone操作研修	2,384		
◎	(10) 共用車管理システム [総務調整課] 共用車管理をデジタルで一元化することで、予約・鍵管理・日報作成等の手作業を廃止し業務効率化等を図るもの。併せて、稼働実績の可視化により、共用車稼働の平準化を図り長寿命化・適正管理を行うもの	1,184		

(11) 各種DXツールの活用 [未来デジタル課] 10,875  
kintone、プラグイン、ペーパーレス会議システム、LoGoチャット等の活用による行政事務のスマート化を推進。職員による内製化を図りつつ業務効率化を実施

★ 5 地域おこし協力隊の支援

都市部等から本市に移住し、各種地域協力活動に従事しながら、本市への定住・定着を目指す「地域おこし協力隊」の活動を支援するもの 148,711

R8年度活動予定隊員 27名(1年目 10名、2年目 9名、3年目 8名)

- ①地域協力型 10名
- ②移住コーディネーター業務 2名
- ③参加支援・生活困窮者のための地域づくり業務 2名
- ④こどもの居場所づくり業務 2名
- ⑤観光振興業務 2名
- ⑥文化振興業務 1名
- ⑦村上海賊魅力業務 1名
- ⑧スポーツ振興業務 1名
- ⑨お供馬イベント企画業務 1名
- ⑩森林整備業務 1名
- ⑪地域産業デジタルイノベーション加速化業務 3名
- ⑫農業支援企画業務 1名

<政策アンテナ・戦略的情報発信の強化>

◎ 6 市民参加型政策形成プラットフォーム構築事業[市民が真ん中課] 2,000

複雑化・多様化する地域課題に対応するため、世代や分野を超えて、市民などから提案やアイデアなどを収集し、政策立案に結び付けるプラットフォームを構築することで、これからの今治にとってより良い未来を切り開こうとするもの

(1) 政策アイデア募集ステージ

イマバリ未来デザイン・ノミネート会議

以下の事業等から提案されたアイデア等を整理・分析し、選抜ステージへ繋げようとするもの

[アイデア提案が想定される事業]

- ①市職員フロンティアステージ事業[市民が真ん中課]
- ②いまここ青春祭2026[地域振興課]
- ③市公認探究部等の魅力発掘探究[地域振興課]
- ④FCI里山研究ゼミなどの各教育機関独自の課題研究プログラム[各課]
- ⑤ふるさとキャリア教育[学校教育課]
- ⑥SDGsまちづくりプロジェクト・サステナブル研究活動支援[市民が真ん中課]等

(2) 選抜ステージ

イマバリ未来デザイン・アワード

主にZ世代・α世代の若者などから政策アイデアを広く募集するとともに、

(1)のノミネート会議の提案を含めた全提案の中から、優れた提案の選抜・顕彰を行う。

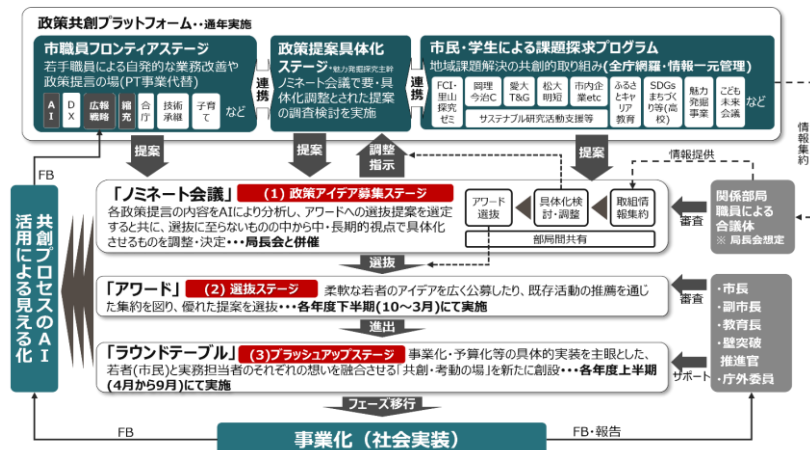
時期(募集)：R8. 10月～R9. 3月予定

(3) ブラッシュアップステージ

イマバリ未来デザイン・ラウンドテーブル

前年度に実施したイマバリ未来デザイン・アワードにおいて選抜された提案について、市の関係部局と提案者、外部有識者が一緒になって協議し、事業化・予算化に向けた検討を行う。

時期：R8. 4月～R8. 9月予定



7	<b>「Z世代」「α世代」の声の政策反映に向けた取組</b>		
◎	<p>(1) 市職員フロンティアステージ事業[市民が真ん中課] 300 若手職員の「考動」を活性化させるとともに、政策立案や業務改善につなげることを目的として、職員が個人又はチームで自発的に行う研究活動を支援しようとするもの 対象事業 業務改善や政策提言の研究に要する経費 補助上限 1チームあたり100千円</p>	300	
	<p>(2) こどもみらい会議 [こども未来課] 833 市内の学生団体「たねからゼミ」と連携して「こどもみらい会議」を開催することで、これからの未来を担う子どもたちが身近な疑問や発見を持ち寄って、将来の今治市について楽しく、自由に発想・議論・意見表明する機会を創出するもの 対象 市内の小中学生30人程度</p>	833	
	<p>(3) SDGsまちづくりプロジェクト [市民が真ん中課] 500 市内高校生を対象にSDGsの視点からまちづくりやまちの将来について考え、未来へのアイデアを提案するワークショップを実施する</p>	500	
	<p>(4) サステナブル研究活動支援 [市民が真ん中課] 1,800 SDGsを推進する団体等が本市の地域課題解決に資する活動に取り組む場合にその活動経費の一部を支援しようとするもの 対象 市内の高校および高等教育機関、中小企業、民間団体等 1件当たり100千円</p>	1,800	
8	<b>広報戦略プロジェクトの推進</b>		
○	<p>(1) 広報戦略プロジェクト [秘書広報課] 3,947 令和6年度からスタートした広報戦略プロジェクトをさらに進化させ、庁内の広報司令塔としての機能を強化するとともに、「AI攻略」×「市民共創」をキーワードとした新戦略を定め、「日本一の広報」を目指した広報・情報発信の充実を図ろうとするもの ①広報戦略会議による「統合広報オペレーション」の実現 広報戦略室が司令塔となるオペレーションを構築し、情報集約から発信・その後の効果分析を踏まえた改善までを行うことで質の高い広報を目指す ②AI時代に対応したAIアルゴリズム攻略による拡散力強化 膨大なデータの中から各ユーザーに最適化されたコンテンツを自動的に選別・推奨するAIアルゴリズムを駆使して様々なターゲットに対して、個別最適な刺さる広報を展開する ③市民と共に発信する「市民共創広報」への転換 SNS等において、複数のアカウントやプラットフォームを横断した「多地点同時発信」による発信力強化に向け、市内の発信力が高いアカウントと相互連携しながら市民や市外の今治ファンとともに発信する体制を構築する (参考) これまでの主な取組みと実績 ア 情報スキルの向上 (P R T I M E Sの活用とSNSの強化) ・ P R T I M E S 発信件数 36回 (1月末時点) 広告換算値 27,928,500円 (事業費の297%) ・ Xフォロワー数 約14,600人 (1月末時点) ※R7. 4月から約2倍 イ 庁内横断の情報収集と最適な広報媒体による情報発信 ・ 各部署の広報責任者で構成される広報戦略PTを設置して定例MTGを開催し、発信すべき案件の集約と最適な広報媒体を個別調整する体制を構築・運用</p>	3,947	
	<p>(2) 市政広報テレビ番組制作・放送 [秘書広報課・議会総務課] 27,797 市政、観光、産業、イベント、スポーツ、議会などの情報発信 民間放送：毎週2回 (通常・再放送各1回 5分程度) C A T V：市政ハイライト動画、市長記者会見動画制作 (随時放送) 取材した市関連事業を、自主制作番組やニュースで年60本程度放送 市議会定例会放送 (本会議を生中継、YouTubeでも視聴可)</p>	27,797	
◎	<p>(3) わが街ポータルへの導入 [秘書広報課] ゼロ予算 官民間問わず、地域の祭りやイベント、ボランティアスタッフの募集など、様々な情報や話題を発信することができる特設サイトを開設し、シティープロモーションの強化を図ろうとするもの サイト公開日 令和8年7月1日 (予定)</p>	ゼロ予算	
◎	<p>(4) 生成AIを活用した暮らしの情報整理・発信 [市民が真ん中課] 2,000 生成AIを活用し、暮らしに関する各種指標の整理・可視化を行い、移住施策や雇用施策等への活用を図ろうとするもの</p>	2,000	県1/2 1,000

<スマートシティ今治（デジタル化）の推進>

<p><b>9 AIを活用した行政・生活・産業のデジタル化の加速</b></p> <p>「AIフル活用検討チーム」を発足し、行政・生活・産業のあらゆる分野においてAIの活用を進め、住民サービスの質の向上や業務の高度化・効率化等を力強く推進し、スマートシティ今治の深化を図ろうとするもの。</p>			
<p>[生活分野]</p> <p>(1) 生成AI接客アバターを活用した総合窓口案内 [未来デジタル課]</p> <p>本庁ロビーのデジタルサイネージを活用し、多言語対応可能なアバターによる窓口・案内サービスを提供しようとするもの</p>		5,808	
<p>(2) 生成AIチャットボットの運用 [未来デジタル課]</p> <p>生成AIチャットボットを活用し、ホームページを通じた市民からの問い合わせに24時間365日対応をしようとするもの</p>		5,808	
<p>(3) AIを活用した道路損傷検知システム [道路課]</p> <p>検針等で市内を巡回する機会の多い市内ガス会社と連携して、その社用車が市道を通行した際の画像データを取得し、AIを活用した画像分析を行うことで、市道の異常を早期に検知し、効率的な舗装修繕に繋げ、良好な道路環境を確保しようとするもの</p>		1,991	
<p>[教育分野]</p> <p>(4) 学習支援・ドリルソフト等の導入 [学校教育課]</p> <p>ドリルソフトや学習アプリのAI機能を活用し、子どもたちの学習意欲の向上を図るとともに、個別最適な学習を実現するもの</p>		30,223	
◎	<p>(5) ポケットーク for スクールの導入 [学校教育課]</p> <p>外国人生徒に対するきめ細かな支援を図るため、先生の発言した言語を同時通訳し、タブレット上に表示することができるAIサービスを導入しようとするもの (最大75言語対応)</p>	672	
<p>[公共交通分野]</p> <p>(6) 伯方島公共ライドシェア実証運行支援 [地域振興課]</p> <p>伯方島住民等の移動を支えるmobiシステム（AIを利用した最適な乗り合わせルートや配車システム）を利用した公共ライドシェア・貨客混載の実証運行を支援 実施主体：伯方島モビリティコンソーシアム</p>		8,000	
<p>(7) チョイソコおおみしま運行業務 [地域振興課]</p> <p>大三島の対象区域内での移動を可能にするチョイソコシステム（AIを利用した最適な乗り合わせルートや配車システム）を利用した移動サービスを実施 実施主体：今治市公共交通活性化協議会</p>		9,914	
◎	<p>[行政分野]</p> <p>(8) みらい行政AIラボの設置 [未来デジタル課]</p> <p>AI活用の更なる高度化を図るため、AIフル活用プロジェクトとして庁内横断AIフル活用検討チームを設置。業務への既存AIツールの活用はもとより、新たなAI技術の活用や先進事例の導入についての実証・検証・運用基盤の整備に取り組む</p>	1,000	
<p>(9) 生成AIツールの活用による業務の高度化 [未来デジタル課]</p> <p>情報収集・分析等への生成AIの活用を推進し、政策立案・意思決定の質的向上を図ろうとするもの</p>		3,061	
◎	<p>(10) 庁内AIコンシェルジュの構築・運用 [未来デジタル課]</p> <p>規則やマニュアルなどを読み込ませることで、業務をサポートするAIアシスタントを作成することのできるツールを導入し、日々の業務の効率化と市民サービス提供の迅速化を図ろうとするもの</p>	3,230	
◎	<p>(11) 生成AIを活用した暮らしの情報整理・発信 [市民が真ん中課]</p> <p style="text-align: right;">※8(4)再掲</p>	2,000	県1/2 1,000
<p>(12) RPA・AI-OCRの活用 [未来デジタル課]</p> <p>RPA・AI-OCRの活用により、手作業で行っていた書類のデータ入力や定型業務を自動化し、人為的なミスの削減と処理時間の短縮を図ろうとするもの ※RPA：コンピュータを使った定型的な作業を自動化する技術 ソフトウェアによって職員が行っていた作業を代行 ※AI-OCR：書類や画像内の文字情報をデジタルデータに変換する技術</p>		10,865	
<p>(13) AI音声認識議事録作成支援 [未来デジタル課]</p> <p>AIを活用した議事録作成サービスを導入し、議事録作成にかかる時間を大幅に削減しようとするもの</p>		1,056	

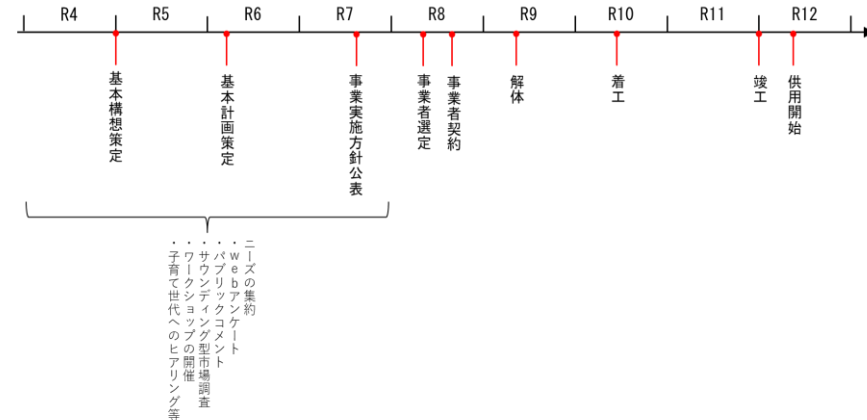
★	(14) D×リテラシー研修 [未来デジタル課] ※4 (10) 再掲	
	(15) AI水位予測システム [農業土木課]	3,036
	実際の水位と気象データからAIが1時間後の水位を予測し、市職員に通知するシステムを導入することにより、経験によらない対応を可能とするもの	
	<導入地区>	
	令和6年度 鳥生地区	
	令和7年度 桜井地区	

Ⅱ 人が元気になる『まち』に ~ひとりひとりが輝く今治の創出~ 3,319,677千円  
<子育ての理想郷の実現>

10	誰もが安心して子どもを産み育てることのできる環境整備 (ふるさと納税重点活用事業)	
◎	(1) ネウボラ拠点施設整備事業 [ネウボラ政策課]	5,058
	「つどい つながり はぐくむ みんなの居場所~こどもが輝く未来を創る~」を基本理念に、妊娠期から出産・子育て期に至るまで、切れ目のない支援を提供する今治版ネウボラのランドマークとして、また、新たな中心市街地活性化のリーディングプロジェクトとして、子育て世代のみならず、中高生や多世代が利用し交流する拠点施設を整備しようとするもの。	
	全体事業費 9,087,000千円 (R8年度~R26年度)	
	積算内訳 施設整備費7,502,000千円	
	維持管理費1,585,000千円	
	内訳: R8 5,058千円	
	R9~R26 9,081,942千円<債務負担行為予算 (R8~R26)>	
	事業方式: DBO方式 (設計・建設・運営一括発注)	

国1/2	1,350
市債	1,200
繰入金	2,508

<スケジュール (予定)>



★	(2) 地域子育て支援拠点事業 [こども未来課]	95,447
	市内11か所に配置する子育て支援拠点施設において、子育て中の親子交流の場を提供するとともに、育児相談、子育てに役立つ情報提供等を行うことで、子育てする親の不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援しようとするもの	
	(R8変更内容)	
	現在、(公財)今治市シルバー人材センターに委託して喜田村地区において運営する「にこにこ広場おおきくなあれ」を令和8年10月より同地域内の別の場所に移転する予定	
	移設費 2,342	

国1/3	31,100
県1/3	31,100

★	(3) 児童育成支援拠点事業 [こども未来課]	
	養育環境に課題を抱える児童に対し、安心して過ごすことができる居場所を確保するとともに、生活習慣の形成や学習支援、相談支援等を通じて、個々の状況に応じた継続的な支援を行い、児童の健全な育成を図るもの	
★	①児童育成支援拠点事業	27,811
	支援を必要とする児童の身近な地域における受け皿の充実を図るため、実施施設を拡充する。	
	既存施設 鳥生地域食堂れんこん「みんなの食堂」	
	創作クラブGrian「鎮守の杜」	
	新規施設 チャレンド「いまりば」	
	山路白鳩福祉会 (R9年度より新規施設にて実施予定)	

国1/3	9,270
県1/3	9,270

◎	②次世代育成支援対策施設整備費	16,122
	児童育成支援拠点事業の円滑な実施に向け、拠点として必要な機能を備えた施設整備を支援するもの	
	補助対象者 山路白鳩福祉会	

国1/2	10,748
------	--------

(4) ウッドスタート事業			
◎ ①木育体験事業[ネウボラ政策課]	2,000		
官民が連携して、令和8年春に開設する「しまなみ木のおもちゃ美術館」を木育の拠点とし、子どもたちに小さい頃から地域の伝統文化や地域の木材に触れる機会を提供しようとするもの。			
内容 しまなみ木のおもちゃ美術館の半年パスポートを1歳半健診を受診する児童に配布			
対象者数 約700人			
◎ ②「おもちゃ学芸員」応援事業[ネウボラ政策課]	400		
おもちゃ美術館の運営に参画する「おもちゃ学芸員」に対し、オリジナルエプロンを贈呈しようとするもの			
◎ ③ウッドスタート事業[農林水産課]	9,527	県1/2	4,763
令和8年4月1日以降誕生の乳幼児を対象に、今治市オリジナル品を制作し、誕生祝い品を贈呈するもの			
祝い品：木のおもちゃ、トートバック			
◎ (5) こ(子×木)育て住空間よむらプロジェクト[建築住宅課]	8,400	国5/10 市債	4,200 4,200
誰もが安心して子どもを育てることができる環境づくりを進めるため、四村団地内に、住宅に困窮する子育て世帯を対象に、間取りや設備等、子育てに配慮した仕様の公営住宅を新たに整備しようとするもの。併せて、県内初となる木造3階建て構造とすることで環境にも配慮した公営住宅の整備を目指すもの。			
(四村団地7号棟)			
構造：木造3階建て(18戸)			
工期：R8年度～R10年度予定(R10.10月入居募集開始予定)			
R8内容：設計(R8～R9)			
<債務負担行為予算>19,600千円(R8～R9)			
◎ (6) 子どもの遊び場サテライト整備事業[公園緑地課]	101,000	国5/10 市債	20,500 57,600
今治版ネウボラの遊び場サテライトの充実のため、老朽化した公園遊具等の更新・修繕を行い、安心で安全な遊び場環境を子どもたちに提供するもの			
①しまなみアースランド・ふわふわドーム修繕	33,600		
②玉川総合公園・遊具更新	29,000		
③桜井総合公園 外5件	38,400		
◎ (7) おおしま認定こども園改修事業[保育幼稚園課]	12,000	市債	12,000
吉海認定こども園と宮窪認定こども園を統合することに伴い必要となる施設の改修を行い、子どもたちが安心して過ごすことができる環境を確保しようとするもの			
2階乳児室及び遊戯室の床改修、2階テラス人工芝の敷設工事等			
☆ (8) 保育環境向上等事業[保育幼稚園課]	6,474	国1/3・2/3 県1/3	2,258 2,058
近年の猛暑等による熱中症リスクの増大や、保育現場における子どもの安全確保を巡る課題に対応するため、保育施設における熱中症対策及び安全対策等の環境整備を支援し、子どもが安全・安心に過ごせる保育環境の向上を図る			
①熱中症対策事業			
補助対象 冷房設備の設置・更新経費			
補助金額 1施設当たりの上限金額1,029千円			
②安全対策事業			
補助対象 保育の実践記録等を行うためのカメラの設置等経費			
補助金額 1施設当たりの上限金額100千円			
☆ (9) こども食堂支援事業[こども未来課]			
◎ ①市内企業連携フードドライブ事業	200		
包括連携協定を締結している事業所と協働してフードドライブを実施することで、官民連携による地域全体の子育て支援の拡充を図るもの			
◎ ②子ども食堂応援事業費補助金	1,000	国2/3	666
補助対象者 子ども食堂を運営する者			
補助対象経費 開設経費もしくは運営経費			
補助率 補助対象経費の2/3(上限100千円)			
加算 こども食堂の実施に加え、子どもの学習支援を実施した場合に最大50千円を加算(令和8年度拡充部分)			
◎ ③フードドライブ常設コーナーの設置	ゼロ予算		
市役所本庁および各支所にフードドライブ常設コーナーを設置し、集まった食品を活用してこども食堂への支援を行うもの			

11 結婚から子育て期にわたる切れ目のない子育て支援（ふるさと納税重点活用事業）				
☆	(1) いまバディ（仮）婚活支援事業〔こども未来課〕 市の地域資源を活用した気軽に参加できる出会いの機会・場の提供によって、結婚を希望する者の新たなマッチングの可能性を創出することで、未婚化・晩婚化を食い止め、将来的な出生率の向上につなげるもの			
	①家族を作ろうサポート事業 専門的な知識をもつ事業者との協働によって結婚を希望する若い世代の出会いの創出 ア 結婚等に関する講座の開催（年1回） イ マッチングイベント（年3回） ウ 「愛結び」（AIを活用した会員制のマッチングシステム）登録・閲覧会場の開設（月3回）	2,340	国2/3	1,500
	②出会い交流応援事業 趣味等をきっかけにしたマッチングイベント等の開催により気の合う方との出会いを創出するとともにセンスアップ講座などを実施	1,300	県1/2	650
	③婚活イベント振興事業 市内企業が開催する婚活イベントに対し、開催に要する経費の一部を補助することにより、出会いの機会を創出を支援し、その活性化を図るもの。 補助対象者 えひめ結婚支援センターの応援企業に登録している今治市の団体 助成金額 イベント参加人数×1,000円	150	県1/2	75
☆	(2) 妊婦・乳児健康診査〔ネウボラ政策課〕 母子保健法に基づく妊婦・乳児健康診査の実施。令和8年度から新たに「1か月乳児健診」を実施し、産後早期からの切れ目ない支援の強化を図る。	95,533	国1/2 県1/2	5,952 3,500
◎	(3) ファミリー・サポート・センター提供会員活動助成事業〔こども未来課〕 ※1(2)再掲	1,893	国 臨時交付金	1,893
◎	(4) 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）〔保育幼稚園課〕			
	①乳児等通園支援事業 保護者の就労要件を問うことなく、月一定時間までの柔軟な通園を可能にすることで、こどもの良質な成育環境を充実するとともに、全ての子育て家庭への支援を強化しようとするもの 対象者 生後6か月～2歳の未就園児 利用上限 1人あたり月10時間 実施施設 7施設（認定こども園3・保育所2・地域型保育施設1・幼稚園1）	2,963	県7/8	2,592
	②乳児等通園支援事業費補助金 乳児等通園支援事業を初めて利用する保護者に対し、最初の1月分の自己負担額を補助することで、制度の利用拡大を図ろうとするもの 補助限度額 3,000円（子ども1人あたり300円/回、10時間以内）	120	県1/2	60
☆	(5) 病児保育事業〔保育幼稚園課〕 保護者の勤務等の都合により入院を必要としない程度の病気の児童や回復期にある児童を家庭で保育、看護できない場合に、専門施設で一時的に保育を行うもの	60,434	国1/3 県1/3	18,683 18,683
	①病児対応型 通院で治療が行える程度の病児を病院等に併設の専用施設で一時的に保育するもの 委託先 あおい小児科（キッズケア・青い鳥） 対象者 保護者が就労している児童（市内居住の生後6か月～小学生）	22,164		
	②体調不良児対応型 保育施設において通園児が体調不良等の際に、保護者が迎えに来るまで園の看護師が専用スペースで看護等を行うもの 市内8施設にて実施	27,200		
	③病後児対応型 病気の回復期にあり集団保育が困難な児童を、専用の施設等で一時的に保育するもの 委託先 学校法人波止浜虎岳学園（はしはまこがく認定こども園 隣接地） 対象者 保護者が就労している児童（市内居住の満1歳～小学生）	6,686		
	④事業安定運営支援 病児保育事業について、人件費や運営経費の増加に対応するため、市単独予算により委託事業者への経費加算支援を行い、事業の継続性と安定的な運営体制の確保を図るもの	4,384		
☆	(6) イングリッシュティーチャー派遣事業〔保育幼稚園課〕 ALTを市内の保育所に派遣し、子どもが生英語に触れあう機会を創出しようとするもの 対象施設 私立を含めた全保育施設 ※私立保育所も対象に追加 実施回数 1施設あたり年2回程度 ※ALTの増加に伴い令和7年度から倍増	913		

★	(7) 早朝一時預かり事業 [こども未来課] 土曜日と学校の長期休業中に、児童クラブ開始前の時間帯の児童預かりを行うこと とで、子育て家庭の負担軽減を図ろうとするもの 実施施設 2~3か所(利用施設の見直し・拡充) ※R7は枝堀児童館で実施 実施期間 土曜日、長期休暇(春、夏、冬) 7時~9時頃 ※各児童クラブへの送迎は「ファミリーサポートセンター」事業を利用可	2,749		
★	(8) しまなみの子どもを育む交通費支援事業 島しょ部(大島・伯方島・大三島・関前地域)に居住する方を対象に、子育てや 通学等でしまなみ海道を利用することにより生じる経済的負担を軽減するための 交通費支援を行うもの			
	①子育て世帯に対する交通費支援 [しまなみ振興課] 対象者 島しょ部に居住し、同一世帯に18歳(到達以後最初の3月31日まで) 以下の子どもがいる保護者 助成額 島しょ部間及び市内陸地部までの移動にかかる交通費の1/2(上限1万円)	5,000	県1/2 市債	2,500 2,500
	②通学費助成事業 ア 中学生 [こども未来課] 対象者 市内在住で市内の中学に通学する生徒の保護者 助成額 通学定期代の1/2(上限5千円/月)を助成	1,830	市債	800
	イ 高校生 [こども未来課、教育大綱推進課] (基礎支援) 対象者 市内在住で市内の高校に通学する生徒の保護者 助成額 以下のいずれかの経費の1/2(上限額あり)を助成 ・通学定期代(上限5千円/月) ・電動アシスト自転車購入費(上限75千円)	15,645	県1/2 市債	5,570 5,900
	(追加支援) a 陸地部から島しょ部高校に通学する高校生 対象者 陸地部在住で島しょ部の高校に通学する生徒の保護者。但し、基礎支援において電動アシスト自転車購入に係る助成を選択した場合は対象外。 助成額 通学定期代から基礎支援の助成額を差し引いた額(上限10千円/月) b 島しょ部在住で島しょ部の高校に通学する高校生 対象者 島しょ部在住で島しょ部の高校に通学する生徒の保護者。但し、基礎支援において電動アシスト自転車購入に係る助成を選択した場合は対象外。 助成額 通学定期代から基礎支援の助成額を差し引いた額	8,300	市債	8,300
	ウ 大学生 [しまなみ振興課] 対象者 島しょ部から市内の大学等に通学する学生 助成額 定期券又は橋の通行料(ETC利用分に限る)(月5千円上限)	480	市債	400
	③医療・福祉サービス利用等に係る交通費支援 ア 妊産婦健診等に係る交通費助成 [しまなみ振興課] 対象者 島しょ部に居住し、以下の対象事由に該当する者 助成額 しまなみ海道通行料金の一部 対象事由 ①妊産婦健診、②乳児健診、③産後ケア事業、④小児救急医療、 ⑤産後1か月までの受診、⑥不妊症・不育症治療、⑦母子保健事業	2,000	県1/2 市債	1,000 1,000
	イ 出産サポートタクシー利用助成 [こども未来課] 対象者 妊産婦 助成額 妊娠36週から出産後1月までの健診と出産にかかる全7回分のタクシー利用料金(しまなみ海道通行料含む)	500	県1/2 市債	250 50
	ウ 障がい児通所支援利用に係る交通費助成 [しまなみ振興課] 対象者 島しょ部に居住し、障がい児通所支援事業所に通う児童を養育する保護者 助成額 しまなみ海道通行料金のうち半額相当分(既存の障がい者割引制度と同様)	500	県1/2 市債	250 200
	エ ファミリー・サポート・センター島しょ部会員講習支援事業 [こども未来課] 対象者 島しょ部に居住するファミリーサポートセンターの提供会員 助成事業 提供会員に必要な講習受講 助成額 しまなみ海道通行料金の一部	100	市債	100

<今治型学校教育（個別最適教育・先進グローバル教育）の推進>

施策	予算	国3/5	7,267
<b>12 学力向上対策</b>			
(1) 学力向上に向けた各校のサポート体制強化 [教育大綱推進課・学校教育課] 教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できるようサポート体制を構築することで、授業の質の向上を図るとともに児童生徒がより安心して学習に取り組める学校環境を整えようとするもの	320,371	国3/5	7,267
① スクールサポートスタッフ (10人) 教材作成補助や事務業務による教師の時間創出支援	16,684		
★ ② 外国人語学補助員 (16人⇒18人) 日本語の配慮を要する外国籍児童生徒の語学補助	23,188		
③ 学校生活支援員 (70人) 障がい等のある児童生徒の生活支援	172,716		
④ 学習アシスタント (41人) 配慮が必要な児童生徒に寄り添った学習支援	102,332		
★ ⑤ 学校司書 (2人⇒3人) 学校図書館における選書購入等による環境整備や読書推進の支援	3,348		
⑥ 学生ボランティア (登録29人) 校内環境の整備や下校指導補助等	2,103		
(2) 学習支援・ドリルソフト等導入事業 [学校教育課] ドリルソフトや学習アプリのAI機能を活用し、子どもたちの学習意欲の向上を図るとともに、個別最適な学習を実現するもの	30,223		
<b>13 英語力向上対策（ふるさと納税重点活用事業）</b>			
「瀬戸内の世界都市・今治」の実現に向け、就学前から高校までの子どもたちの発育段階に合わせた英語教育の充実を図るとともに、次世代を担う子どもたちのグローバルな感覚をより一層育もうとするもの			
◎ (1) 英語力向上今治メソッド推進事業 [教育大綱推進課] 市内全域で質の高い英語教育を実現することを目的に、外部有識者を招聘し、A L Tを最大限に活用した英語教育改革に取り組む。	1,877		
★ (2) A L T (外国語指導助手)の充実 [教育大綱推進課・学校教育課] 英語を公用語とする海外都市との国際交流協定締結を機に、小中学校における外国語指導助手 (A L T)を拡充し、子どもたちが生きた英語に触れる機会を拡大することで、英語教育の更なる充実を図る。	276,644		
① A L Tの配置 (17人⇒40人)	273,149		
② A L Tコーディネーターの配置 (1人) A L Tの生活支援のサポート、職員の事務業務を担当	3,191		
③ A L Tアドバイザーの配置 (1人) 学校との連携面強化、業務管理、配置、派遣計画の策定	304		
★ (3) イングリッシュキャンプの開催 [教育大綱推進課] 外国人の講師や留学生と英語でのコミュニケーションを楽しみながら、英語を身につけるデイキャンプ及びステイキャンプを実施するもの	5,944		
① デイキャンプ (日帰り体験研修) 対象 小学生 (1～6年生) 80名/回 場所 総合福祉センター等 (予定) 時期 計9回 (R7実績4回) 夏休み5回、冬休み2回、春休み2回 講師 A L T、市内2大学等に通う外国人留学生、地域案内通訳士等			
② ステイキャンプ (宿泊体験研修) ※今治青年会議所と連携 対象 中学生 (1～3年生) 23名/回 場所 グリーンピア玉川、鈍川温泉 (予定) 時期 計4回 (R7実績3回) 夏休み3回、冬休み1回 講師 A L T、市内2大学等に通う外国人留学生、地域通訳案内士等			
③ オールイングリッシュエクスカージョン 学校とは違う環境で、中学2年生の遠足をオールイングリッシュで実施する			
④ 地域d eイングリッシュキャンプ 地域の文化祭等のイベントに児童生徒とA L Tが参加し、地域住民に対して英語にて交流する			
⑤ 自然の家d eイングリッシュキャンプ 自然の家において他校のA L Tを動員し英語に触れる機会を創出する			
(4) 学習支援・ドリルソフト導入事業 [学校教育課] ※12(2)再掲 英語4技能 (聞く・話す・読む・書く) を全て学習可能なソフトを導入し、子どもたちに合った個別最適な英語学習を支援し、英語力向上を目指すもの	30,223		
① ドリルソフト 対象 小学生 内容 中学校3年生までの学習内容を解説動画付きで各自で選択可能			
② 学習アプリ 対象 中学生 内容 過去5回分の英検問題集を提供 (問題毎の解説や直前対策ポイントあり)			

	(5) 英語力向上支援事業 [学校教育課] 英語に対する学習意欲及び英語力の向上を図ることを目的に、英語の技能検定を受検する子どもを支援しようとするもの	14,400		
	①英語検定受検料補助金 対象者 英検を受検した小中学生の保護者 対象検定 英検3級以上 補助額 検定受検料全額(年度内に1回)	5,000		
☆	②英検対策講座の実施 対象者 英検を受検予定の希望する小中学生 内 容 年3回ある英検受験に向けて放課後等を利用して各学校においてALTが対策講座を開催			
◎	③英語コミュニケーション力調査・分析事業 [学校教育課] スコア型英語技能検定(GTEC)により、生徒の英語の能力や課題について調査研究し、分析したデータに基づいた指導を実施することで英語力向上を図るもの 対象者 公立中学校に在籍する2、3年生全員	9,400		
☆	(6) 保育施設イングリッシュティーチャー派遣事業 [保育幼稚園課] ※11(6)再掲	913		
◎	(7) 市内高校へのALT派遣 [学校教育課] ALTを市内高校の授業や部活などに派遣し、生徒と交流することで英語によるコミュニケーション能力の向上と外国文化を学ぶ機会を提供しようとするもの	ゼロ予算		
14	<b>体力向上対策 [学校教育課]</b> 児童生徒の身体能力の低下が懸念される中、子ども達のスポーツへの関心を高めるとともに体力の向上を図ることを目的として、外部の専門家と連携しながら各校で取り組む特色ある体力向上活動を推進しようとするもの			
	(1) 子ども体力向上対策事業 小学4年生及び中学1年生の児童生徒を対象に、地元プロスポーツ団体等から走り方を中心とした身体の動かし方を学ぶ機会を提供するとともに、教職員の指導力の向上を図ろうとするもの	3,500	繰入金	3,500
☆	(2) 一般社団法人コーチング科学推進機構との連携事業 一般社団法人コーチング科学推進機構と連携し、子どもたちの体力や運動能力、運動習慣などの調査・分析を行うほか、小中学校の教員向けの研修などを通じて子どもたちの体力向上に資する指導方法を確立しようとするもの 対象校：伯方小学、大三島小、上浦小、吉海小、宮窪小	2,500	繰入金	2,500
15	<b>教育のデジタル化推進</b>			
	(1) ICT支援員配置(小・中学校) [教育大綱推進課] 学習者用タブレット端末や電子黒板等ICT機器を活用した授業の円滑な進行や、教員・児童生徒のICT活用に係るスキルアップなどを目的にICT支援員を配置するもの(6人)	35,574		
☆	(2) 通信環境の整備(小・中学校) [教育大綱推進課] 機器及びサービスの改善を図り、文部科学省が推奨する通信環境を整備しようとするもの 対象校：18校(小学校12、中学校6)	19,805	市債	15,500
◎	(3) ポケットーク for スクールの導入 [学校教育課] ※9(5)再掲	672		
	(4) プログラミング教育推進事業 [学校教育課] 技術・家庭科(技術分野)指導教員に対する事前研修を行うほか、中学3年生を対象に、主体的にプログラミング学習に取り組めるよう、全中学校へオンライン出前授業を実施するもの	1,000		
◎	(5) 今治市KIDSプログラミングコンテスト(仮称)開催 [未来デジタル課・学校教育課] 小学生たちがプログラミングコンテストを通じて楽しくプログラミングに取り組むことで新たな学習機会を提供しようとするもの 対 象：今治市内在住の小学生 テーマ：今治市の課題解決に向けたコンピュータープログラミングを用いたオリジナル作品 ※「TECH KIDS GRAND PRIX」(サイバーエージェントグループが開催している全国の小学生を対象としたプログラミングコンテスト)と連携予定	1,000		

<b>16 部活動の地域展開支援 [学校教育課]</b>			
★ (1) 休日の部活動地域展開支援	4,428	県(国) 2/3	2,952
①運営団体・実施主体等の体制整備・拡充 ・外部講師の拡充(講師9⇒21名、競技4⇒6) R8:水泳・剣道・ソフトテニス・バレー・サッカー・ソフトボール (参考) R6:水泳 R7:水泳・剣道・ソフトテニス・バレー	3,308		
②移動費助成 島嶼部(大島中・伯方中・大三島中)の部活動を円滑に実施するための移動に係る助成	1,120		
★ (2) 平日の部活動支援 対象校に部活動指導員を配置し、教師に代わる指導等を実施 部活動指導員の配置(2人⇒3人) 配置校:立花中学校(ソフトボール部) 大島中学校(陸上競技部) 日吉中学校(女子ソフトテニス部)(R8~拡充)	1,149	県(国) 2/3	702
<b>17 島しょ部高校魅力創造事業</b>			
(1) 高校魅力化提言会議 [教育大綱推進課] 令和8年4月より新設・開学する島しょ部高校の魅力向上を目的に、高校魅力化提言会議を開催し、特色ある学校づくりや継続的な入学者確保に向けた提言を行うもの 名 称 愛媛県立しまなみ高等学校 開設時期 令和8年4月 特 色 1年次は共通のカリキュラムで学び、2年次から4つの系列をベースとした科目に分かれて学習する ・伯方キャンパス(文理探求系列、マリビジネス系列) ・大三島キャンパス(総合進学系列、アグリビジネス系列)	288		
(2) 教育振興費 [教育大綱推進課]	15,530	市債	8,300
①島しょ部高校生生徒の部活動に要する経費に対する補助	1,104		
②島外から通学する生徒の交通費(定期代)に対する補助	8,300		
③島外居住の生徒が島内に下宿するのに必要な家賃の補助	6,126		
(3) 島しょ部高校魅力創造支援事業 [しまなみ振興課] 令和8年度に開学する「しまなみ高校」に対し、生徒たちが行う学校の魅力向上や地域交流、学習機会の地理的制約の解消などの取組を支援しようとするもの ①地域塾運営等事業 スタディサブリを提供し、島内での学習機会を確保 ②魅力発信事業 制服や校章、カリキュラムなど新しい学校の魅力を広く発信 ③生徒による魅力創造活動 地域と協働して活動する事業	8,000	市債	8,000
<b>&lt;教育環境の整備・充実&gt;</b>			
<b>18 教育環境の整備・充実</b>			
○ (1) 特別教室に係る空調設備整備 [教育大綱推進課] 特別教室のうち、美術室、家庭科室等の未整備教室への空調整備及び受変電設備の改修 事業期間 令和8年6月~令和10年3月(予定) 全体事業費 2,300,000千円 (内訳) 小学校分 1,224,000千円(R8:485,000千円/R9:739,000千円) 中学校分 1,076,000千円(R8:426,400千円/R9:649,600千円) 整備対象校 小学校26校、中学校15校 <債務負担行為予算>1,388,600千円(R8~R9年度)	911,400	市債	734,600
◎ (2) 屋内運動場等に係る空調設備整備アドバイザー業務委託 [教育大綱推進課・障がい福祉課・スポーツ振興課] 子どもたちの学びの場でもあり避難所にも指定される小中学校の屋内運動場や市内体育館等に空調設備を新たに導入するもの 対象施設 小学校28施設(現役校26施設+廃校(旧今治小、旧上朝小)2施設) 中学校23施設(体育館14施設+武道場9施設) 障がい者文化体育施設1施設(サン・アビリティーズ今治1施設) スポーツ施設4施設(大西体育館及び菊間緑の広場公園のアリーナ・格技場) R8実施内容 アドバイザリー業務委託 <債務負担行為予算>35,000千円(R8~R10年度)	15,000		
○ (3) 中学校校舎改修設計 [教育大綱推進課] 西中学校 実施内容 (校舎)外壁改修、屋上防水、トイレ洋式化 (屋内運動場)バスケットゴール等の耐震化 (武道場)鉄骨部塗装修繕	11,600	市債	8,700

○	(4) 中学校校舎改修工事[教育大綱推進課] ①近見中学校 実施内容 (校舎) 防水改修、外壁改修、トイレ洋式化、バリアフリー化 (屋内運動場) バリアフリー化、バスケットゴール等の耐震化 <債務負担行為予算>61,200千円(R7~R8年度) ②立花中学校 実施内容 (校舎) 防水改修、外壁改修、トイレ洋式化、エレベーター設置 (外構) ブロック塀改修 <債務負担行為予算>85,500千円(R8~R9年度) ③桜井中学校 実施内容 (校舎) 防水改修、外壁改修、トイレ洋式化 (屋内運動場) バスケットゴール等の耐震化 <債務負担行為予算>90,000千円(R8~R9年度)	178,200	国1/2・1/3 市債	20,681 121,800
	(5) バリアフリー化改修工事[教育大綱推進課] 小学校 鳥生、亀岡、菊間、上浦、岡村 中学校 立花、南、西、菊間、大三島 <債務負担行為予算>141,900千円(R7~R8年度)	141,900	国1/2 市債	47,424 66,700
○	(6) トイレ洋式化整備事業[教育大綱推進課] 年間予定整備基数 64基(小学校39基、中学校25基) 洋式化率 R6:36.5%⇒R7(見込):40.1%⇒R8(見込)44.5%	64,000		
◎	(7) 学校給食施設再編整備基本計画の策定支援[学校給食課] 既存施設・設備の老朽化や生徒数の推移などを踏まえ、市内にある共同調理場(11施設)と自校式調理場(10施設)の今後のあり方について検討しようとするもの	5,000		
◎	(8) 電話録音装置及び終了アナウンス導入[教育大綱推進課] 学校設置の電話機に通話録音装置及び休日・時間外における業務終了アナウンスの自動応答装置を設置するもの 対象校 41校(小学校26校、中学校15校)	5,817		
19	<b>教育応援基金[教育大綱推進課]</b> 企業版ふるさと納税等による寄附金を教育応援基金に積み立て、これを活用し充実した教育環境の整備を推進しようとするもの			
	(1) 教育応援基金への積立金 寄附額(企業版ふるさと納税1,000千円+一般ふるさと納税10千円) 基金利息(1千円)	1,011	寄附金 財産収入	1,010 1
	(2) 教育応援事業費補助金 寄附金額の9割を財源として寄付者が指定する高校が行う以下の①~③の事業に要する経費の一部を補助しようとするもの(寄付金額の1割は、市の教育行政推進のために活用) 対象者 市内の私立高校、県立高校の各教育振興会 対象事業 ①市外からの生徒の受け入れに関する事業 ②スポーツ・文化の振興に関する事業 ③国際交流及び地域交流に関する事業 補助率 10/10(指定校毎の基金積立額を上限)	1,818	繰入金	1,818
20	<b>給食費等の負担軽減による子育て支援</b>			
☆	(1) 材料費物価高騰対応事業[保育幼稚園課・学校給食課] ※1(1)再掲	87,896	国 臨時交付金	87,896
◎	(2) 学校給食費無償化支援事業(小学校)[学校給食課] 小学校学校給食無償化に伴い、国が定める基準額を給食運営委員会へ補助しようとするもの 補助対象 給食運営委員会 積算根拠 国・県からの補助 5,200円/月×11月÷年195回⇒294円/食 294円/食×195回×5,965人=341,974千円	341,974	県 ④ 10/10	341,974
◎	(3) 学校給食費非喫食者等支援事業(小学校)[学校給食課] アレルギー対応等による給食非喫食者の保護者に対し、小学校学校給食無償化に伴い国が定める基準額を補助しようとするもの 補助対象 アレルギー対応等をしている非喫食者の保護者 積算根拠 国・県からの補助 5,200円/月×11月÷年195回⇒294円/食 294円/食×195回×35人=2,007千円	2,007	県 ④ 10/10	2,007

21	<b>日本一おいしい学校給食づくり（ふるさと納税重点活用事業）</b> [学校給食課]	3,055		
	(1) 日本一おいしい給食レシピコンテスト 市内産の食材（農産物）を活かした給食メニューを開発するため、市民などからレシピを公募する給食レシピコンテストを実施。 ※優秀なレシピについては、給食メニューとして定番化し児童生徒に提供するとともに、「全国学校給食甲子園」にエントリー予定			
	☆ (2) 日本一おいしい給食フェア（市民向け試食会・給食PRブース） せとうちみなどマルシェにおいて日本一おいしい給食フェアを開催するなど、市内で実施される各種イベントにおいて給食PRブースを出展し、一般市民向け試食会などを開催			
	◎ (3) 小学校の家庭科授業と連携した食育の実施 給食への理解と関心を高めてもらうため、小学生を対象に給食の食材について種付けから収穫、メニュー開発、家庭科の授業での調理体験、試食を行う。 開発したメニューについては、市内の学校へ給食として提供する。			
	(4) シェフによる地元産農畜産物を使った給食レシピ開発 招聘する市内のシェフの地元食材を活用したレシピ開発技術を栄養士が学び、日頃の献立作成や調理に活かしてもらおうとするもの			
	☆ (5) 学校給食親子探検（規模拡大：24名⇒40名） 親子で普段見ることのない給食調理場を探検し、給食が教室まで届けられる過程を知る機会を提供することで、食育の推進を図る			
22	<b>図書館活用促進事業</b> [生涯学習課]			
	◎ (1) 今治市立図書館開館100周年事業 <span style="float:right">6,000</span> 市立図書館開館100周年を契機に、中央図書館において読書の推進や子どもたちの将来のキャリア育成に資するイベントを開催するもの 《事業内容（予定）》 ① 風良ゆう氏企画（映画公開に合わせた企画展・講演会など） ② 100周年企画展示（今治市立明德図書館報復刻など） ③ 人気作家講演会（角田光代氏、早見和真氏予定）※前夜祭として夜の図書館開催 ④ アニメーションワークショップ（矢野ほなみ氏予定） ⑤ 若者向けワークショップ（ブックディレクターなど） ⑥ 大手出版編集者による「絵本制作」の講演 ⑦ 今治版ビブリオバトル大会（人気作家、ラジオ生放送、YouTubeライブ配信、動画制作） ⑧ 今治出身クリエイターの紹介展示（黒川博行氏、長野ヒデ子氏、坂野義光氏等） ⑨ 屋上ラウンジ設置（カフェやイベント会場として活用） ⑩ プロモーション動画制作			
	☆ (2) 図書館システム更新 <span style="float:right">6,153</span> 供用開始 令和8年10月1日 内 容 システム更新及び無人貸出機（10機）の導入等			
	◎ (3) 図書館ビジョン喋り場事業 <span style="float:right">100</span> 図書館運営審議会や各種ワークショップの開催などを通じてより多くの利用者の声を聞き取り、令和7年度に策定した図書館ビジョンをベースとしながら、今後の図書館が更に市民に愛され活用されるものになるよう将来像を明確に描こうとするもの			
<b>&lt;健康・医療・福祉都市づくり&gt;</b>				
23	<b>看護、介護、保育の人材確保定着制度</b>			
	本市において人材不足する看護師、介護福祉士、保育士といったエッセンシャルワーカーの確保・定着を図り、こどもから高齢者まで安心して暮らせる地域づくりを目指すもの			
	(1) 医療福祉人材市内定着支援事業 <span style="float:right">10,700</span> 看護師、介護福祉士、保育士として市内に就職した者に対し、就職奨励金を支給するもの			
	① 看護師 [健康推進課] <span style="float:right">7,000</span> 対象者 看護師養成施設（3年課程以上）を卒業し、看護師資格を取得した者であって、本市に居住し、令和7年度以降に新卒で市内医療機関に常勤の看護師として就職した者（市職員除く） 助成額 看護師養成施設授業料の1/3を5か年に渡り支給 （上限：96千円/年、480千円/5年） ※市内養成施設卒業生の場合、助成率2/3。助成額の嵩上げ分については今治市医師会が負担（上限：192千円/年、960千円/5年）。			
			繰入金 諸収入	7,340 3,360

②介護福祉士 [介護保険課]	1,800		
対象者	介護福祉士養成施設を卒業し、介護福祉士資格を取得した者であって、本市に居住し、令和7年度以降に新卒で市内高齢者施設に常勤の介護福祉士として就職した者（市職員除く）		
助成額	介護福祉士養成施設授業料の1/3を5か年に渡り支給 (上限：73千円/年、366千円/5年)		
③保育士 [保育幼稚園課]	1,900		
対象者	保育士養成施設を卒業し、保育士資格を取得した者であって本市に居住し、令和7年度以降に新卒で市内保育関連事業所に常勤の保育士として就職した者（市職員除く）		
助成額	保育士養成施設授業料の1/3を5か年に渡り支給 (上限：73千円/年、366千円/5年)		
◎ (2) 今治看護専門学校授業料貸与制度補助事業 [健康推進課]	2,400	繰入金	2,400
今治市医師会が行う今治看護専門学校に入学し、卒業後今治地域の医療機関に看護師として就職しようとする者に対し、返済免除条件付きで授業料を貸与する制度を支援することで、市内の看護人材の確保を図ろうとするもの			
対象者	R8年度以降今治看護専門学校第一看護学科に入学した者であって市内医療機関で3年間以上勤務することを確約した者		
負担割合	医師会1/5、県3/5、市1/5		
(3) UIJターン医療福祉人材支援事業	6,000	県繰入金	1,200
市外から市内に転入等し、看護師、介護福祉士、保育士として就職した者に対し、引越越し費用や制服購入費等、就労準備に係る経費の一部を支援しようとするもの			
対象者	令和7年度以降市内の医療機関、高齢者施設、保育関連事業所に看護師、介護福祉士、保育士として、3年以上継続して勤務することを前提に常勤職員として就職した者の内、以下に該当する者 ア 就職を機に本市内に転入した者 イ 県外から県内の各職種養成施設に進学し、市内に転入または本市内で転居を行った者（いずれも市職員除く）		
対象経費	勤務を開始するために要した以下の経費 ア 引越越し代、礼金、仲介手数料、家賃 イ 通勤用の自転車、職場で使用する被服等 ウ その他、生活に必要な用品等の購入費		
支給額	1人あたり20万円（上限）		
(4) 看護師養成事業（市医師会） [健康推進課]	12,000		
地域の看護人材を確保するため、今治看護専門学校における看護師養成等の取組を支援するもの			
◎ 24 がん検診の無償化 [健康推進課]	10,000		
基本健診を受診した市民を対象に、がん検診のうち1項目に係る経費を無償化することで、がんの早期発見・早期治療による死亡率の低減を目指すとともに、特定健診受診率向上も図り、市民の健康の保持増進に寄与しようとするもの			
対象者	特定健診等受診者等		
対象がん検診	胃がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん、大腸がん		
無償化期間	R8年度～R10年度（3年間）		
25 予防接種事業 [健康推進課]			
(1) 子どもを守るインフルエンザ予防接種に対する支援	10,000		
生後6か月から12歳までの小児・児童及び受験生世代（中学・高校3年生）に対し、予防接種にかかる費用の一部を助成するもの			
助成額	1回につき1,000円（12歳までの小児・児童は2回まで）		
★ (2) 高齢者帯状疱疹ワクチン接種事業	48,332		
高齢者の帯状疱疹発症のリスク、重症化軽減のためワクチンの自己負担額の減額			
対象者	① R8年度に65歳に到達する者のうち帯状疱疹ワクチン未接種者 ② 5年間（R7～R11年度）の経過措置として各年度において70、75、80、85、90、95、100歳が対象		
個人負担額	① 生ワクチン 4,500円 ⇒ 4,000円 ② 不活化ワクチン（2回接種） 33,000円（16,500円/回×2）⇒ 21,000円（10,500円/回×2）		
★ (3) 高齢者インフルエンザ予防接種事業	50,000		
標準量ワクチンよりもより効果の高い高用量ワクチンの接種開始			
対象者	75歳以上（標準量が高用量のどちらかを選択）		
個人負担額	4,500円（予定）		

☆	(4) RSウイルス母子免疫ワクチン予防接種事業 新生児や乳児のRSウイルス感染症の重症化を防ぐため定期接種を開始 対象者 妊娠28週から37週に至るまでの妊婦 個人負担額 無料	16,343		
◎	26 難聴者補聴器購入費助成事業【福祉政策課】 聴力機能の低下により日常生活に支障をきたしている方であって、非課税世帯に属する満18歳以上の方を対象に補聴器購入費の一部を補助する制度を開始しようとするもの 対象者 ・市内に在住の満18歳以上の方 ・両耳聴力が30dB以上70dB未満の軽度、中等度難聴で医師の意見で補聴器の使用の必要性が認められる方 ・非課税世帯である者 補助額 上限3万円	2,400		
	27 お供馬活用事業【地域振興課・障がい福祉課】			
◎	(1) 地域おこし協力隊の採用 お供馬を活用した地域おこし事業の企画立案・実施する隊員を新たに採用するもの 活動内容 ①お供馬を活用した地域貢献活動となるイベント等の事業提案 ②JRA、NPO法人菊馬会、岡山理大、野間馬保存会等と連携 ③将来のお供馬の飼育方法転換の計画立案の実施 ④SNSや動画コンテンツ等を活用した情報発信	5,125		
	(2) ホースセラピー・乗馬体験事業 R7年度に初開催したホースセラピー・乗馬体験事業を継続して開催するもの 開催日 R8年5月上旬 会場 菊間町池原小ヶ丸広場公園 実施内容 お供馬乗馬体験、ホースセラピー、野間馬、モルモット等のふれあい体験等 協力 NPO法人菊馬会、JRA、野間馬保存会、岡山理科大学獣医学部馬術部 など ホースセラピーの効果 平衡感覚の養成、情緒安定、柔軟性の向上	829		
<b>&lt;共生社会の充実&gt;</b>				
◎	28 共に生きる社会づくりの推進【市民参画課】 (1) 多文化共生の推進加速化事業 市内の外国人住民に対して、暮らしやすさを確保するための支援を行うとともに、国際交流協会の多文化共生機能の強化を図るなど、共生社会の実現に向けた環境整備の更なる充実を図っていくもの ① 国際交流協会の運営支援 ② 多文化共生講座の開催 ③ 外国人住民と地域住民のネットワーク構築事業 ④ 相互理解のための交流や意識醸成 ⑤ 多言語対応に関する手引書や用語集の作成 ⑥ 資格取得の後押し	22,426	国1/2	5,216
☆	(2) 外国人住民への生活相談体制の充実 多言語対応可能な相談窓口を設置するとともに、交通ルールやごみの捨て方など、日常生活を過ごすうえで必要となる基本的な情報を解説した多言語リーフレットを作成するもの 外国人相談窓口の設置 1,529千円 多言語リーフレット制作 1,200千円	2,729	国1/2	1,364
◎	(3) 災害対応多言語コールセンターの開設 災害時に外国人住民が相談可能な多言語コールセンターを開設するもの	238	国1/2	119
<b>&lt;「みなさと」戦略の展開&gt;</b>				
◎	29 しまなみ・今治移住施策の深化 (1) 二地域居住コーディネーターの配置【しまなみ振興課】 将来の移住へつなげる関係人口の拡大を図るため、都市と地方に生活拠点を持つ「二地域居住」を希望する方に対し、情報提供や相談対応、地域での生活支援を行うコーディネーターを配置し、移住・交流・定着に向けた相談支援体制の強化するもの	4,344		
	(2) 今治版デュアルスクール全校区展開【学校教育課】 地方と都市の2つの学校で教育を受けることができる環境を整備し、地方と都市双方の視点に立った考え方のできる人材を育成するとともに、二地域居住や地方移住を促進しようとするもの 実施場所 市内全小中学校 対象者 移住体験を希望する市外の児童生徒	ゼロ予算		

(3) おいで今治！もどろう今治！お試し移住滞在サポート事業 [地域振興課・しまなみ振興課] 多くの移住希望者が本市を訪れる機会を創出することを目的に、移住希望者による移住の実現に向けた市内への訪問活動に要する宿泊費の一部を助成 補助内容 1人当たり5,000円/日(上限6泊分・最大30,000円)	2,000		
(4) 住もういまばり！住宅改修賃貸支援 [地域振興課・しまなみ振興課] 空き家の市場化を促進することを目的として市内の空き家所有者に対し、住宅改修等にかかる経費の一部を助成 対象経費 ①住宅の改修(居住に関する諸工事) ②家財道具の搬出等(入居又は住宅の改修に必要な家財の搬出や清掃等) 補助率等 ①1/2(上限100万円) ②1/2(上限10万円)	3,300		
(5) 住もういまばり！移住者住宅取得事業 [地域振興課・しまなみ振興課] 市外からの「若者人材」の確保と定着に向け、市外からの移住者に対し住宅の新築又は購入に要する経費を支援 補助内容 住宅の新築または購入費用 補助率等 1/10(上限30万円) 加算金 18歳以下1人につき10万円を加算(上限20万円 ※条件不利地域は上限40万円)	20,000		
(6) 移住者住宅改修支援事業 [地域振興課・しまなみ振興課] 働き手世代等の移住・定着を促進し、人口減少抑制と集落機能の維持持続を図るため、県外からの移住者に対し住宅の改修等に要する経費を支援 補助内容 住宅の改修・家財道具搬出 補助率等 通常地域 2/3以内・上限100万円(子育て世帯400万円) 条件不利地域 2/3以内・上限150万円(子育て世帯500万円)	40,000	県1/2	19,800
<b>☆ 30 合宿誘致等を通じた関係人口・交流人口の創出</b>			
(1) 大学ゼミ合宿等支援事業 [市民が真ん中課] 市内人口が減少するなか、まちづくりに寄与する関係人口を増加させることで持続可能なまちづくりを推進するため、まちづくりに資する大学ゼミ合宿など、大学生等が市内に宿泊して行う活動を支援しようとするもの (対象の拡大) (現行) 対象事業 まちづくりに資するゼミ合宿等(宿泊を伴うもの) 対象者 学校教育法の規定に基づく大学等の高等教育機関に属する生徒及び教員 補助上限 1人1泊あたり3千円(宿泊費の1/2補助) ※1団体上限100千円、市内企業への訪問を行う場合、5千円に引き上げ (追加内容) 関係人口増加、移住促進、地域課題解決に向けた外部人材の参入 対象事業 地域課題解決を目的としたワーケーション開催等(宿泊を伴うもの) 対象者 主に市外在住者で組織される任意団体 補助上限 1人1泊あたり3千円(宿泊費の1/2補助) ※1団体上限100千円	500		
(2) スポーツ合宿開催経費補助金 [スポーツ振興課] 県外に所在するスポーツ団体等が今治市内の体育施設等及び宿泊施設利用を伴った合宿を行う場合に、宿泊経費の一部を支援しようとするもの (補助対象区分の見直し) 旧：上限一律300千円 → 新：国内外のプロスポーツ団体500千円、その他300千円	2,800		
(3) 文化合宿等開催費補助金 [文化振興課] 市外在住で市内で開催される文化イベントに参加する者、市外に所在する市内で合宿等を行う文化活動団体に対して、宿泊経費の一部を支援するもの 補助上限300千円	300		
(4) スポーツ・文化・芸術大会等の参加者へのおもてなし [スポーツ振興課・文化振興課] 県外からの参加者が多く見込まれる西日本大会規模以上の出場者に対して、本市の特産品を配布することで、今後の関係人口の増加を図ろうとするもの	1,750		
<b>Ⅲ 産業に活力を与える『まち』に ～瀬戸内クロスポイント構想のさらなる推進～</b>	<b>883,382千円</b>		
<b>&lt;地域経済の「新しい成長」&gt;</b>			
<b>☆ 31 地域産業支援拠点管理運営費 [産業振興課]</b>	<b>40,000</b>		
地場産業の振興、新産業の創出を目的として地場産業振興センターが行う事業に要する経費及び施設の運営管理費を補助しようとするもの。令和10年に地場産センターの建物内に愛媛大学のサテライト会場が開設されることから、大学と連携し、市内企業の課題解決や起業支援、小中高生向けIT人材育成をより一層推進するとともに、地場産業振興センターを次世代産業を創出する「知の拠点」とし再構築していく			

(1) 地域産業活性化事業	20,835			
・経営支援 (各種セミナー等)				
・人材育成 ①少年少女発明クラブ				
②小中学生プログラミングキャンプイベント				
③ビジネスアイデアコンテスト 等				
市内小中学生向けのプログラミングイベントを開催し、デジタルスキルや論理的思考力を育む。また、小学校高学年向けのビジネスアイデアコンテストを開催し、発想の創造性や自己表現力・考える力を高め、アントレプレナーシップを醸成することで、将来的に地域産業や社会に貢献できる人材の育成を図るもの				
(2) インキュベーション事業	17,876			
・創業支援、起業家同士の連携等の伴走支援				
(3) 需要開拓支援事業	1,289			
・大都市圏等への商談会出展支援				
◎ 32 経営力強化伴走支援事業 [産業振興課] ※3 (1) 再掲	15,000	国	臨時交付金	15,000
◎ 33 物価高騰対応DX・GX緊急対策事業 [産業振興課] ※3 (2) 再掲	100,201	国	臨時交付金	100,201
◎ 34 大西地区造船振興土地造成 [海事都市今治推進課] 今治市造船振興計画に基づき、大西地区に立地する造船用地の拡張と効率的な建造施設の再配置により造船業の振興を図るとともに、安定した雇用の創出を通じて今治市の活性化に寄与するもの 構造物撤去工 一式 <債務負担行為>1,102,200千円 (令和8年度～令和11年度)	3,000		繰入金	3,000
<b>&lt;新・今治のみなとづくり・まちづくり&gt;</b>				
★ 35 中心市街地グランドデザインの推進 (ふるさと納税重点活用事業) 持続可能な都市経営の実現を目指して、中心市街地グランドデザインで示したまちなかの将来像や取組の方向性等を踏まえ、公共施設・公共空間の再編を一体的・総合的に推進するもの				
(1) シビックゾーン再編整備事業				
①ネウボラ拠点施設整備事業 [ネウボラ政策課] ※10 (1) 再掲	5,058			
②合同庁舎整備事業 [総務調整課]	59,630			
ア 合同庁舎整備基本計画の策定	50,000			
施設の機能及び配置などの基本条件を検討し、概算事業費、事業スキーム、整備スケジュール等を定める基本計画を策定するもの				
イ 合同庁舎整備検討審議会	330			
合同庁舎整備基本計画の調査、審議及び意見の答申のため、合同庁舎整備検討審議会を設置するもの (学識経験者等10人以内)				
ウ 河野美術館の解体設計	9,300			
合同庁舎建設予定地として位置付ける河野美術館について、解体に向けた設計業務を行うもの				
③今治版MICE施設整備事業 [海事都市今治推進課]	36,568			
国際海事都市“IMABARI”の象徴となるMICE施設整備の実現に向け、新たな海事の未来を切り拓くため基本計画の策定に着手するもの				
ア MICE施設整備基本計画策定業務	36,300			
本施設の役割や集約効果、市民意向を踏まえた基本理念・機能を整理し、利便性・安全性・環境性・シンボル性・コストを総合的に検討して、規模・配置・建築計画・概算事業費・事業手法・整備スケジュール等を定める基本計画を策定するもの				
イ 今治市海事都市推進会議	268			
MICE施設整備基本計画の審議及び答申をしようとするもの 委員構成案 学識経験者、海事産業関係企業従事者等				
④シビックゾーン新設道路整備 [道路課]	66,000	国1/2 市債		32,500 30,100
中心市街地の再編整備に伴う人の流れや交通の変化に対応するとともに、今後、整備が見込まれるネウボラ拠点施設や合同庁舎等の各施設へのアクセス道路を確保するため、県道38号と市道今治駅天保山線を繋ぐ道路 (幅員：18m、延長：330m) を新たに整備しようとするもの R8内容：測量設計等				

(2) 魅力都市創生事業 [魅力都市創生課]	51,200	国1/2	25,600
① 広小路(今治港線) 道路空間再編整備事業			
ア 大規模社会実験の企画・運営・効果検証	28,576		
「居心地がよく歩きたくなるまちなか」の実現に向け、県市連携による広小路(今治港線)の道路空間再編について、社会実験を実施し、交通機能への影響、歩行者の安全確保、滞留・交流の創出等の効果を検証するもの			
イ 道路空間再編デザイン案の作成	12,576		
地域住民・地権者・事業者との協議・合意形成を図りつつ、整備方針、管理運営方針、設計計画、配置計画、主要構造物計画等を精緻化するもの			
② 中心市街地まちづくり推進に向けたその他取組	10,048		
ア 公共空間・交通再編に向けた空間・交通デザイン、活用方法・設えの検討			
イ 都市再生協議会の運営(公民連携の強化)			
ウ 「まちづくり市民会議2026」の企画・運営			
エ その他(計画準備、打ち合わせ協議、報告書作成等)			
(3) 今治港内港物揚場改修事業 [港湾漁港課]	69,500		
老朽化が進む内港物揚場について、港湾機能の更新とあわせて、中心市街地と港港エリアのつながりを高め、交流や活動の広がりを生み出す空間として再構築しようとするもの			
R8内容：① 測量調査設計	36,500		
② 環境現況調査	14,000		
③ 公有水面埋立免許願書等作成	19,000		
◎ 36 持続可能な都市モビリティ計画(SUMP)の策定 [都市政策課]	20,308	国1/2	9,000
本市のまちづくりを支えるあらゆる移動手段(公共交通機関や徒歩、自転車、自動車等)を包括し、市全域での人の移動のあり方を長期的なビジョンとして示す、国内でも先進的な「都市モビリティ計画」を国や愛媛県と連携して策定することで、本市が目指す「コンパクト・プラス・ネットワーク」の取り組みを着実に推進しようとするもの			
① 既存アンケートの分析、課題の整理、市民・関係団体とのワークショップ等	18,000		
② 外部への公表に向けた資料作成と取りまとめ	2,000		
③ 計画策定についての調査、審議及び意見の答申のため、都市モビリティ計画審議会を設置予定(学識経験者等8人以内 任期の定めなし)	308		
◎ 37 国道317号(松山・今治間) 整備促進期成同盟会負担金 [道路課]	1,000		
本市と松山市を最短ルートで結び、令和9年に水ヶ峠トンネル開通30周年を迎える国道317号について、両都市圏の経済活性化や広域観光の発展、防災力向上を図るため、当該国道の走行性向上に資する線形改良等、愛媛県及び国土交通省等に対して要望活動を行う期成同盟会を設立するもの			
同盟会構成団体(予定)：本市と松山市の市議会・商工会議所等・観光協会・トラック協会			
◎ 38 市道伊予熊複線整備事業 [道路課]	20,000	国1/2 市債	10,000 9,000
蒼社川左岸沿いの市道のうち、交通量の多い郷橋から複橋の区間(延長：920m)の歩車道分離を行い、安全で快適な道路環境の整備をしようとするもの			
工期：R8年度～R14年度(予定)			
R8内容：道路改良工事			
◎ 39 盛港務所建替事業 [港湾漁港課]	45,476	市債	45,400
老朽化した盛港務所を建替えようとするもので、併せて、外壁に今治らしいデザインを描くなど、立ち寄りたくなる工夫を凝らすことでサイクリストの休憩所などにも活用しようとするもの			
R8内容：盛港務所建替工事			
<強い農・林・水産業づくりの推進>			
☆ 40 農産物鳥獣被害対策事業 [農林水産課]	83,010	県①1/2・定額 県1/2・事業費×1/2・1/3	24,010 9,750
野生鳥獣による農作物被害を軽減するため、捕獲個体の買上支援、捕獲技術向上の研修、防護柵等の被害防止施設整備等を実施するもの			
(1) 有害鳥獣買上金		手数料	27
(通常分)	45,500	財産収入	95
(上乗せ分) 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業による上乗せ支援	22,260		
(2) 鳥獣被害防止総合支援事業			
① 有害捕獲推進	2,000		
箱わな購入・貸出、わな猟技術研修、新規狩猟免許取得助成			
地域ぐるみで取り組む鳥獣被害防止対策研修会の開催			
② ジビエ等の利用拡大の取組	250		
人材育成、試食会の開催等			

	(3) 農業生産被害対策事業 野生鳥獣による農業生産被害を防止するための施設整備に対する助成補助率 補助対象経費の1/2 (1世帯年1回限り) 対象(限度額) 電気柵・防鳥網(5万円) 防護柵(10万円) 複合柵(15万円) 箱わな・囲いわな(15万円) 防護柵等に併設する場合の防草シート(防護柵及び複合柵3万円、電気柵4万円) 箱檻・囲いわなに設置するICT機器(遠隔操作による捕獲機器5万円) 防護柵・複合柵・防鳥網の取付費用(1万円)	13,000		
<b>41 地域農業振興事業〔農林水産課〕</b>				
★	(1) 地域特産物振興対策関係支援事業 ※3(3)再掲	12,000	国 臨時交付金	12,000
◎	(2) 農業高温化対策支援事業 ※3(4)再掲	3,000	国 臨時交付金	3,000
◎	(3) ひめの凜優良種子等供給体制強化事業 優良種子・優良苗の安定的な供給のため、種子及び育苗関連施設等の整備を支援し、ひめの凜の生産体制の強化を図るもの 実施主体 農業協同組合 補助率 県1/3、市1/6	10,557	県 事業費×1/3	7,038
◎	(4) 緑肥等供給事業 圃場への有機肥料成分の供給による環境負荷低減及び農作物の収穫量等の向上を図るため、緑肥の購入を支援しようとするもの 実施主体 緑肥種子販売事業者 補助率 市1/4	500		
○	(5) 野菜広域選果施設整備支援事業 県内の野菜等の広域選果及び物流体制の再編のために行われる新たな広域選果集出荷施設の整備を支援することで、市内生産者の負担軽減と持続可能な生産体制の維持を図るもの 実施主体 愛媛野菜広域事業コンソーシアム 機能 ①広域選果場機能(とまと・なす・きゅうり) ②県域販売センター設置のによる一元分荷、出荷、配車等の物流体制機能 利用団体 6JA(おちいまばり、松山市、えひめ中央、愛媛たいき、えひめ南、ひがしうわ) 補助率 国1/2、県1/10、市町1/10(※) ※対象市町の過去3か年実績に基づき負担割合を算出 対象市町 13市町(今治市、東温市、砥部町、松山市、伊予市、松前町、内子町、大洲市、西予市、宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町)	5,484		
<b>42 食と農のまちづくり推進事業〔農林水産課〕</b>				
★	(1) オーガニックビレッジ推進業務 いまばりオーガニックブランドのPRや販売支援、有機農業スタートアップ企画等を通じて、有機農業・有機農産物の認知度向上及び消費拡大を図ろうとするもの また、11月に木更津市で行われる全国大会に出展し、いまばりオーガニックブランドをPRしようとするもの	1,788		
★	(2) 有機農業推進事業 有機農業について学べる環境づくりや市内で有機栽培可能な新作物の栽培実証支援等を行い、有機農業の栽培に取り組む農家の拡大を目指すもの R8年度より先駆的有機農業者が継続的に指導できるように補助メニューを追加 ①JAS法に基づく有機認証推進事業(認定手数料等の助成) ②有機農業研修生講習支援事業(研修生受入農家への助成) ③有機農業就農サポート事業 ④有機新作物栽培実証事業	3,560		
	(3) 地産地消推進事業 学校給食で地元食材を活用する場合に、その経費の一部を助成することで、今治産の米や野菜、肉、魚等の消費拡大を目指すもの	13,600		

43	<b>新規漁業就業者育成強化事業【農林水産課】</b>	6,607		
	U I J ターン等による新規漁業就業者の定住定着促進を図ろうとするもの			
★	(1) 新規漁業就業者マッチング支援事業 255			
	①短期漁業技術研修			
	漁業の担い手確保に繋げるため、新たに就漁を検討している者に対して、漁業体験の場を提供するとともに受入れ漁協・漁師とのマッチングを図ろうとするもの			
	実施主体 愛媛県漁協市内各支所			
	対象経費 技術指導料（研修生1人あたり上限75千円（25千円/日×3日）） 傷害保険料（研修生1人あたり上限10千円）			
	②長期漁業技術研修移行支援 752			
	短期漁業技術研修を経て、国の長期研修支援事業に採択されるまでの技術指導等に要する経費に対して支援するもの（最長2か月）			
	実施主体 愛媛県漁協市内各支所			
	対象経費 研修経費（国の長期研修支援事業の月額支援費に準ずるもの）			
	(2) 新規漁業就業者育成強化事業 5,600			
	新規就業者の就業に必要な漁業経費に対して支援をするもの		県1/3	2,800
	実施主体 愛媛県漁協市内各支所			
	対象経費 漁具費、燃料費等			
	補助率 2/3（1人あたり上限1,400千円）			
◎	44 水産業高温化対策支援事業【農林水産課】※3(4)再掲	3,500	国	臨時交付金 3,500
○	45 復旧・復興の森づくり事業【農林水産課】	23,854		
	令和7年今治市林野火災からの復旧・復興に向け、復旧復興計画の方針に基づき、市民や企業と連携して森の再生を目指す“森づくりゾーン”におけるボランティア植樹を実施するもの			
	[スケジュール]			
	令和7年11月～ 現地測量、地拵え 等※			
	令和8年3月 植樹イベント開催（発災から1年）※			
	場所 野々瀬地区			
	参加 朝倉小学校4～6年生、朝倉中学校1～3年生、			
	地元自治会 等			
	令和8年5月～ 地拵え(6ha)			
	令和8年11月～ 地域小中学校、各種団体により2haのボランティア植樹			
	1haあたり2,500本程度植栽を想定			
	※令和7年9月補正予算計上済み			
◎	46 全国植樹祭えひめ2026【農林水産課】	4,166		
	愛媛県で60年ぶりに開催（令和8年5月17日）される「全国植樹祭」において、サテライト会場を開設し、令和7年今治市林野火災からの復興に向けた取組みなどを全国に向けて紹介しようとするもの			
	(1) サテライト会場（イオンモール今治新都市） 2,826			
	県内5か所のサテライト会場の1つとして、イオンモール今治新都市を会場とし、本会場で行われる式典映像の中継や、イベント、ワークショップを通じて全国植樹祭を盛り上げると共に今治市の魅力を発信するもの			
	①ステージイベント（郷土芸能）			
	②関係者によるプランター植樹			
	プランター植樹した苗木は、秋以降に被災地に植樹			
	③しまなみ木のおもちゃ美術館ブース（木育体験ブース）			
	おもちゃ美術館招待券（こども）500枚を来場者に配布			
	④木工教室ブース			
	⑤令和7年今治市林野火災復旧復興ブース			
	(2) 本会場 1,340			
	県内外からの招待者に対し、今治市の特産品を大会参加記念品として配り、今治市のPRを行うもの			
	招待者への大会参加記念品（今治タオル等）			
	3月に実施するボランティア植樹等の取組みを全国からの来場者に発信			
○	47 森林Jクレジット創出事業【農林水産課】	2,815		
	市有林資源の有効活用に向けて、太陽石油（株）と協働で整備している「今治市太陽が育む森」のフィールド等において、森林Jクレジットの創出を目指すもの <Jクレジット創出の目的> 適切な森林管理によるCO2吸収量をJクレジットとして認証、売却することで実質的な整備コストの一部を回収でき、更なる森林整備に充てることができる			

<p>(1) 森林経営計画策定 Jクレジットの認証を受けるために必要となる森林整備施業地における森林経営計画を策定するもの</p> <p>(2) プロジェクト計画書作成 Jクレジットの認証を受けるために必要となる事業の目的、実施内容および管理方法等を明記したプロジェクト計画書を作成するもの [スケジュール] R7年度 Jクレジット可能性調査 R8年度 計画書作成 R9年度 審査機関への申請 R10年度 Jクレジット販売 (以降4～5年毎に販売)</p>			
<p>&lt;「住み続けられる」魅力あるまちづくり&gt;</p>			
<p>◎ 48 いまばり観光振興・デザイン2026【観光課】 社会情勢の変化等を踏まえ、コロナ禍を経て多様化・高度化する観光ニーズに対応するため、R3年度に策定した現行の観光振興計画を見直し、官民連携のもと、実効性の高い観光施策の方向性やターゲットの再設定を行うもの (具体的な改訂内容) ①訪れる人も、住む人も笑顔に 最新の観光統計や宿泊データを分析・活用し、訪問者の属性や行動の把握によるターゲティング強化等を行い、観光客に選ばれるまちとなり、市民にとっても誇りを持てるまちとなること目指す ②「また来たい」を生む仕組みづくり 事業の目的と効果を明確化するため、KGI/KPIの再設定・重点施策を決定し、効果的な施策展開のため観光協会を含む各団体の役割を整理</p>	8,000		
<p>◎ 49 「汝、星のごとく」プロモーション事業【観光課】 R8年度公開予定の今治しまなみエリアが舞台となる映画「汝、星のごとく」の映画公開に合わせて各種プロモーションを実施することで、市内各所のロケ地を観光資源化し、誘客促進を図るとともに市民の地域理解の深化と郷土への誇りの醸成につなげるもの 《事業内容》 ①ロケ地巡りを促す導線づくり及び認知度向上と話題性の創出に資する取組 (想定) ロケ地マップ(紙媒体)、ポスター、チラシの企画・制作等 ②情報発信基盤整備に資する取組 (想定) 各種ノベルティ・特設Webページの制作等 ③市内回遊性の向上及び滞在時間の延伸並びにこれらに伴う観光消費額増加に資する取組 (想定) ロケ地マップ一体型スタンプラリー、映画ファンの為のコラボカフェ等</p>	7,000	国1/2	3,500
<p>◎ 50 プレミアムインバウンドツアー造成事業【観光課】 インバウンドの更なる誘客促進を目指し、本市観光資源を活かした新たなインバウンド向けツアーの造成及びナイトタイムエコノミーの基盤構築に取り組むことで、滞在型観光の推進へと繋げるもの 《事業内容》 ①通過型体験者へのプレミアムコンテンツ造成事業 ②インフルエンサー・ファムトリップ事業 ③紹介サイト、動画構築事業 ④ナイトタイムエコノミーを含むエリア、滞在先でのイベント事業 ⑤ガイド人育成(地域通訳案内士へのブラッシュアップ研修) (造成ツアー展開に向けたスケジュール) ①サイクリングしまなみ2026において一部ツアーの実証 ②Velo-city(自転車国際会議)2027の参加者を中心に造成ツアーの実施 ③民間事業者によるインバウンドへのツアー展開</p>	20,000	諸収入	12,000
<p>☆ 51 インバウンド観光交流推進事業【観光課】 愛媛・韓国経済観光推進協議会が実施する韓国国内プロモーション事業に参画し、松山空港発着の国際利用者を対象とした今治・しまなみエリア周遊バスツアーを実施するとともに、韓国国内において、今治市に特化した「旅マエ」情報の発信を行うことで誘客促進を図るもの</p>	6,000		
<p>○ 52 インバウンド受入体制支援整備事業【観光課】 インバウンド受入環境の整備に取り組む市内事業者を支援することで、本市を訪れる外国人観光客等の利便性や快適性の向上を図り、誘客促進や多文化共生社会の実現に向けた環境整備を促進しようとするもの 補助対象者 市内の飲食事業者、宿泊事業者、交通事業者 補助率 1/2(1件につき上限150千円) 補助対象経費 ①自社ホームページ等の多言語化表記に係る費用 ②翻訳機や電子決済機器の導入費用(運用費用は除く) ③グーグルビジネスプロフィール等登録代行料 ④無料公衆無線LAN環境の整備費用 ⑤ハラル、ビーガン対応費用</p>	1,500	国 臨時交付金	1,500

<p>★ 53 今治港クルーズ船おもてなし事業（ふるさと納税重点活用事業）  <b>【港灣漁港課】</b>          令和7年度に引き続き、国際クルーズ船の寄港が予定されているため、おもてなし事業を実施し、中心市街地のにぎわいに繋げるとともに、「瀬戸内の世界都市・今治」の実現に寄与しようとするもの          ヘリテージ・アドベンチャー          船籍 ポルトガル          乗客人員 140人          全長 122m          総トン数 8,445 t          入港予定 令和8年6月9日（火）</p>	1,000	諸収入	500
<p>★ 54 鈍川温泉“ゆ”ノベーション推進事業          令和6年度に官民一体となって設立した玉川地区ランドデザイン推進協議会を核として、官民連携を一層強化し、鈍川温泉を中心とする玉川地区の魅力向上と地域活性化を戦略的に推進するもの          (1) サインデザインの統一【観光課】 50,000          玉川地区の玄関口や主要動線において、シンボルサイン・道標・景観型ガードパイプを一体的に整備することで、地区の統一感あるイメージを形成し、来訪者にとって分かりやすく、安心して鈍川温泉郷の自然を堪能し、周遊できる環境を整えるもの          施工内容 シンボルサイン設置 N=1箇所          車両誘導サイン改修 N=3箇所          景観型ガードパイプ改修 L=908m          (2) 観光まちづくり推進事業【観光課】 2,000          「玉川みらいプロジェクトスローリバース」が取り組む玉川地区の活性化事業を支援するもの。令和8年度は、足湯出店による泉質PRの継続の他、渓谷ヨガやPOLAとの取組みを活かした商品造成、鈍川米を使った商品開発を実施予定          【参考】令和7年度に鈍川温泉の手湯や足湯ブース出展によるPR（渋谷スクラステージ「IMABARI広場」、今治ペダル、里山マラソンなど）、鈍川PR動画作成など          (3) 鈍川渓谷周辺もリエリア整備【農林水産課】 2,000          渓谷沿い遊歩道の枯木伐採や階段・看板修繕、ウッドデッキ等の整備を行い、景観及び歩行者の利便性・安全性を向上させるとともに、森林の癒し効果を発揮しようとするもの</p>	54,000	繰入金	25,000
<p>★ 55 亀老山展望公園整備事業【公園緑地課】          しまなみ海道沿線を中心に国内外からの来訪者が年々増加傾向にある中、建造後30年が経過する亀老山展望台について、隈研吾氏監修のもと、観光スポットとしてリニューアルを図ろうとするもの          アプローチ・展望台改修工事          大島石モニュメント設置工事          サイン設置工事等</p>	78,500	市債	78,500
<p>IV 輝く『まち』に～「今治時間」のあるまちへ～ 2,773,419千円</p>			
<p>&lt;「瀬戸内の世界都市」づくり&gt;</p>			
<p>◎ 56 今治版MICE施設の整備（ふるさと納税重点活用事業）  <b>【海事都市今治推進課】 ※35（1）③再掲</b></p>	36,568		
<p>◎ 57 愛媛大学今治サテライト設置等支援事業（ふるさと納税重点活用事業）  <b>【海事都市今治推進課】</b>          今治地域の海事産業を再び成長産業へと導くため、今治地域地場産業振興センターに知と技術と人の交流拠点として施設整備を行い、デジタルやロボットなどの先進技術に関する産学共同研究や高度海事人材育成を進めるべく、他の大学や研究機関から研究者を外部招聘、スタートアップ企業誘致など環境整備を行うもの          (1) 今治海事エコシステム構築プロジェクト推進補助金 495,731          対象期間 令和8年度～令和12年度（5年間）          参画機関 今治市、愛媛県、愛媛大学、今治造船株式会社、株式会社新来島どつく、BEMAC株式会社 他          ①デジタル・ロボット技術の活用、次世代船開発のための新技術基盤の構築（大学、海事産業） 486,581          外部の専門人材を招聘し、海事産業の課題解決に向けた研究開発          ②海事人材育成エコサイクルの構築（地場産施設改修設計） 7,150          海事教育研究の中核機関として、愛媛大学今治サテライトを整備          ③オープンイノベーションによる新ビジネスの創出（大学） 2,000          スタートアップ企業と海事産業界とのマッチング機会を創出</p>	495,731	国1/2・2/3 市債	328,961 3,200

<p>&lt;参考&gt;            R8年4月 愛媛大学工学部工学科海事産業特別コース新設            R8年度 今治地域地場産業振興センター改修設計            R9年度 今治地域地場産業振興センター改修工事予定            R10年4月 愛媛大学工学部工学科海事産業特別コース3年次(約20名)から今治サテライトにおいて修学開始</p>			
	<p>(2) 海事人材育成推進プロジェクト            海事産業に対する興味・関心を高めることをきっかけとして、将来的な海事産業の人材確保に繋げようとするもの            対象 ①小学生、②中高校生、③大学生・高専・民間企業            事業内容 ア 各世代にマッチしたイベントの実施            イ 海のロボコン開催に向けた検討</p>	5,500	国1/2 2,750
58	<p><b>瀬戸内の世界都市・今治を担う子どもへの英語学習環境の充実(ふるさと納税重点活用事業)</b>            「瀬戸内の世界都市・今治」の実現に向け、就学前から高校まで子どもたちに発育段階に合わせた英語の学習環境を提供し、次世代を担う子どもたちのグローバルな感覚をより一層育もうとするもの</p>		
★	<p>(1) 就学前            ①イングリッシュティーチャー派遣事業[保育幼稚園課] ※11(6)再掲</p>	913	
★	<p>(2) 小学校            ①英語力向上今治メソッド推進事業[教育大綱推進課] ※13(1)再掲            ②ALT(外国語指導助手)の充実[教育大綱推進課・学校教育課] ※13(2)再掲            ③イングリッシュキャンプ(デイキャンプ)の開催[教育大綱推進課] ※13(3)再掲            ④ドリルソフト導入事業[学校教育課] ※12(2)再掲            ⑤英語力向上支援事業[学校教育課] ※13(5)再掲</p>	1,877 276,644 5,994 30,223 5,000	
★	<p>(3) 中学校            ①英語力向上今治メソッド推進事業[教育大綱推進課] ※13(1)再掲            ②ALT(外国語指導助手)の充実[教育大綱推進課・学校教育課] ※13(2)再掲            ③イングリッシュキャンプ(ステイキャンプ)の開催[教育大綱推進課] ※13(3)再掲            ④学習アプリ導入事業[学校教育課] ※12(2)再掲            ⑤英語力向上支援事業[学校教育課] ※13(5)再掲</p>		
★	<p>(4) 高等学校            ①各市内高校へのALT派遣 ※13(7)再掲</p>		ゼロ予算
◎	<p>59 <b>今治港富田ふ頭における一体的な保安対策の更新業務[港湾漁港課]</b>            国際港湾施設である今治港富田ふ頭において、老朽化した設備(照明・カメラ・センサー・スピーカー等)の更新と警備業務を一体的に行う体制を確保し、国際条約で義務付けられている保安対策を講じるもの            令和8年度 保安設備の設計            令和9年度 保安設備の更新            令和10年度～ 警備業務・保守点検等(10年間)            &lt;債務負担行為予算&gt;918,854千円(R8～R19年度)</p>	2,488	
<p>&lt;アート&amp;カルチャー&amp;スポーツで夢中になれるまちづくり&gt;            [自転車関係]</p>			
60	<p><b>サイクルシティIMABARIのパワーアップ</b></p>		
★	<p>(1) サイクルシティ推進事業[サイクルシティ推進課]            官民一体となって自転車の活用推進と安全安心な利用環境を整え、しまなみ海道を核とした地域の活性化により「サイクルシティIMABARI」の推進を図ろうとするもの            ①「愛媛サイクリングの日」と連動したサイクリングイベント運営            サイクルシップを活用した呉市との連携イベント            ②外国人向けしまなみ海道サイクリング体験及び交通安全教室            ③しまなみサイクリング情報発信「ササ飯(サイクリング×サウナ×ご当地グルメ)」のPR            ④サイクルフィットネス事業(R6 TURE-TECH発案事業)            ⑤ファーストバイクスクール事業            ⑥幼児2人同乗用自転車貸出 ※貸出回数 10台⇒15台に拡大</p>	6,000	
	<p>(2) グレーターしまなみ・えひめ推進協議会[サイクルシティ推進課]            広域サイクルツーリズム圏域「グレーターしまなみ・えひめ」(GSE)を形成し「滞在型」観光への転換促進と実需の創出を図る(県市町連携事業)</p>	4,437	

◎	(3) 瀬戸内しまなみ海道活性化実行委員会 (県市町連携事業) [サイクルシティ推進課] ①中学生を対象とした自転車安全教育のモデル実施 2,500 市内モデル校においてトヨタ・モビリティ基金のビックデータを活用した危険箇所の検証を実施し、自転車安全教育実施・安全利用ガイドブックを作成 ②増加するインバウンド対策 (サイクリストマナー啓発) 720	3,220		
○	(4) サイクリングしまなみ2026 (ふるさと納税重点活用事業) [サイクルシティ推進課] ①「サイクリストの聖地」しまなみ海道の本線を走行する 国際サイクリング大会の開催 開催日 R8.10.25 (日) 開催場所 瀬戸内しまなみ海道及び周辺地域 (全8コース) 参加人数 7,000名程度 総事業費 約600,000千円 (愛媛県、広島県等負担額含) ②参加者へのおもてなし 今治市内のみで使用できるデジタルクーポンを配布	70,970	基金繰入金	33,735
☆	(5) サイクルライフ促進事業 [サイクルシティ推進課] ①幼児及び高齢者 自転車用ヘルメット利用促進事業 補助内容 自転車用ヘルメット購入費用を補助 補助率 1/2 補助上限 3,000円 ②小学生・中学生 中学校就学自転車等購入支援事業 補助内容 小学6年生を対象に自転車、ヘルメットの購入や修繕等にかかる経費に使用可能なクーポンを配布 (前年度申請されなかった中学1年生も交付申請が可能) クーポン 10,000円分 ③市内の高等教育機関 (大学、短期大学、専門学校等) 自転車用ヘルメット利用促進事業 補助内容 自転車用ヘルメット購入費用を補助 補助率 1/2 補助上限 3,000円 ※着用率の更なる向上を図るため補助対象を拡大 ④「自転車通勤推進企業」宣言企業 (※) 自転車用ヘルメット利用促進事業 補助内容 自転車用ヘルメット購入費用を補助 補助率 1/2 補助上限 従業員1人あたり3,000円 1企業の補助上限100千円 ※着用率の更なる向上を図るため補助対象を拡大 (※) 自転車通勤を導入する企業・団体を自転車活用推進本部長 (国土交通大臣) が認定し、自転車通勤の取組を広く発信するもの	13,400	国 臨時交付金	13,400
◎	(6) サイクルシティ (自転車都市×循環型都市) ブランド強化事業 [サイクルシティ推進課] 廃棄予定ヘルメットをベンチやサイクルスタンド等、アートと実用性を兼ね備えた「街の家具」として再生する新たなプロジェクトを実施し、本市の環境先進性を国内外に向けて強く発信するとともに、プロジェクトの記録映像を作成し、Velo-city2027などにおいて公表することで「サイクルシティIMABARI」のブランド価値をより一層高めようとするもの	20,000	国1/2	10,000
	(7) サイクリストに優しい道路環境整備 [道路課] ①自転車通行空間整備事業 今治駅からしまなみ海道までの自転車通行空間整備による快適な通行環境の確保 ・市道北宝来近見線道路改良工事 工期：R4年度～R8年度 (R9.3月完了予定) ・市道今治駅北浜町線道路改良工事 工期：R8年度 (R9.3月完了予定) ※完成予定時期 Velo-city2027開催までに完成予定	203,000	国5.5/10 市債	110,000 81,900
	②市単独道路舗装事業 サイクリストの安全確保のため、路面の不良箇所を緊急的に補修 ・市道大新田大浜線 (舗装改良) 工期：R7年度～R8年度 (R8.9月完了予定)	19,000	市債	19,000

<p>61 Velo-city2027機運醸成事業</p> <p>◎ (1) Velo-city2026 (イタリア) での今治市のPR [サイクルシティ推進課] 200 Velo-city2026 (イタリア) にて愛媛県と連携し、しまなみ海道や今治市の魅力をPRすることで、翌年度の愛媛開催において今治市への誘客促進を図ろうとするもの ※Velo-city (自転車国際会議) 2026 Rimini開催 (2026年6月16日～19日)</p> <p>◎ (2) 国際水準の受入環境整備 [サイクルシティ推進課] 5,000 国1/2 2,500 Velo-city2027や増加するインバウンドへの対応として、トヨタ・モビリティ基金等と連携し、誰にとっても分かりやすいピクトグラム等を用いた案内標識や路面標示を設置しようとするもの (工事概要) サイクリング観光客の通行量が多いルート (市道北宝来近見線、市道今治駅北浜町線) 上、交通事故が多い交差点、海外のサイクリストが走行方法を迷う箇所、通学路等に設置 ※Velo-city (自転車国際会議) 2027愛媛県開催 (2027年5月25日～28日)</p> <p>◎ (3) プレミアムインバウンドツアー一造成事業 [観光課] ※50再掲 20,000 諸収入 12,000</p>	<p>[スポーツ関係]</p> <p>62 里山スタジアムを核としたにぎわい創出事業 (ふるさと納税重点活用事業) 30,500 官民一体となって立ち上げた「今治市里山にぎわい創出協議会」を核として、里山エリアとその周辺地域における「365日のにぎわい」を創出しようとするもの (協議会構成団体) (株) 今治・夢スポーツ、イオンモール今治新都市、今治しまなみスポーツクラブ、せとうちみなとマルシェ実行委員会、玉川みらいプロジェクトスローリバーズ、今治市</p> <p>(1) にぎわい創出に資する環境整備 [スポーツ振興課] 3,000 階段設置、ラウンドアバウト植栽、スポーツパーク (サッカー場) の無料開放実証 (月1回、平日午前)、里山エリアマップ印刷</p> <p>◎ (2) 持続可能なにぎわいの創出に向けた取組み 27,500 [地域振興課・スポーツ振興課] FC今治のJ1昇格を見据えた中での交通量の増加や駐車場不足への対応やエリアの更なる活性化に向けた事業を実施 ①シャトルバス運行支援 ホーム戦時に今治駅前～イオンモール新都市までのシャトルバスを増便 (バス運賃：往復500円) ②バス乗客へのインセンティブ付与 バス利用者チケットを発行するとともに、イオンモール今治新都市で利用可能な特典引換券 (1,000円) を配布</p>	<p>◎ 63 FC今治サッカー専用スタジアム整備等事業費補助金 (ふるさと納税制度活用事業) [スポーツ振興課] 500,000 基金繰入金 500,000 今治市「FC今治サッカー専用スタジアム建設等」プロジェクト(※)に基づき、R7年度中に寄附のあったふるさと納税を活用し、スタジアム増設や周辺整備に要した費用の一部を助成しようとするもの 事業主体 (株) 今治・夢ビレッジ 事業内容 事業主体が行うFC今治サッカー専用スタジアムの増設やその周辺整備について、その経費の一部を助成 (※)企業版ふるさと納税制度の期間延長を受け、「FC今治サッカー専用スタジアム建設等」プロジェクトも延長して実施。 期 間：令和2年度～令和6年度 ⇒ 令和2年度～令和7年度 (令和9年度末まで延長予定) 目標額：10億円 ⇒ 23億円 (参考) FC今治サッカー専用スタジアム建設等プロジェクト実績 寄附金累積額 1,193,096千円 (R7.12月末時点) 補助金累積額 951,493千円 (R7.12月末時点) 今治市基金積立額 99,598千円 (R7.12月末時点) 今治市基金活用実績 スポーツトラクター購入、スポーツ備品等購入事業費補助金、子ども体力向上対策事業など19,079千円 FC今治補助金活用実績 里山スタジアム建設費用40億円の一部 今後の補助金活用予定 里山スタジアム周辺整備費用 (下記) の一部として ・観客席増席 (5,300→8,900) 約900,000千円 ・大型映像装置 約137,005千円 ・市民交流スペース 約200,000千円 等</p>
---	--	--

64	<b>ジュニアアスリート競技能力向上プロジェクト【スポーツ振興課】</b> 市内の小学生を対象とした身体可動域の拡大や筋力向上を図るプログラムを実施することで、中学生期以降の一層の競技能力向上につなげ、未来のアスリートを育成しようとするもの 対象者 市内の小学6年生 対象人数 30名程度 内容 個々の基礎能力のデータ分析 運動能力開発に特化したトレーニング・エクササイズ 選手および保護者向けの栄養学、医科学、テーピング講習 実施場所 市内スポーツ施設 実施期間 令和8年6月～令和9年3月	3,700
○ 65	<b>モルックアジア大会の開催【スポーツ振興課】</b> 国内外から300を超えるチームの参加が見込まれるモルックアジア大会を西日本で初めて今治市営スポーツパークを会場として開催しようとするもの 開催日 令和9年1月上旬予定 開催場所 スポーツパーク 市負担金 4,000千円(大会運営費及び参加者へのおもてなし) 参加者 300チーム1,200人 出場国 日本・韓国・台湾・香港・インド・オーストラリアなど (その他モルック関連事業) モルック今治オープン(今治市内での普及促進) 開催日 令和8年4月上旬予定 開催場所 今治市営球場補助グラウンド 市負担金 1,000千円 参加者 80チーム240人	4,000
☆ 66	<b>eスポーツ普及促進事業【スポーツ振興課】</b> 幅広い年齢層が参加できるeスポーツの普及により、魅力あるまちづくりの推進、新しい交流を生み出そうとするもの ①こどもが真ん中フェスタeスポーツ体験 VR体験、インスタコード、ドローンレース ②みなとマルシェeスポーツ大会 マイクラフトで船づくり ③高齢者生きがいつくりeスポーツ体験 脳と身体を元気にするゲーム体験	1,815
67	<b>競い・愉しみ・繋がるスポーツ施設の整備・維持【スポーツ振興課】</b> ◎ (1) 玉川総合運動公園設備更新工事における発注支援業務 グリーンピア玉川の体育館空調改修および照明LED化に向けて、事業方式の検討や市場調査等にかかる専門家の支援体制を構築するもの (参考) 概算工事経費340,000千円 ◎ (2) 桜井スポーツランドトイレ設置工事 既存の水洗汲み取り式トイレの衛生環境を改善させるため、合併浄化槽を用いたトイレを新設しようとするもの	6,820 52,000
◎ 68	<b>【芸術・文化関係】</b> <b>国民文化祭今治市準備検討委員会(仮称)【文化振興課】</b> 令和10年度に愛媛県で開催される国民文化祭に向けて、各種企画・検討を担う準備検討委員会を発足させるもの	512
☆ 69	<b>世界のTANGE魅力創生事業(ふるさと納税重点活用事業)【文化振興課】</b> (1) 国登録有形文化財(建造物)の登録に向けた国への意見具申 313 丹下建築の保存とさらなる活用に向けて、市庁舎本館・公会堂・市民会館の国登録有形文化財の登録を目指すもの (2) 丹下健三建築サポーター養成ワークショップ&講演会 763 丹下健三建築の魅力を伝える市民サポーターの育成を目的として、キッズワークショップや大人向け講演会・見学会などを開催するほか、マンガを増刷し、ワークショップ・講演会参加者に配布しようとするもの (3) 世界のTANGEビジターセンター機能および情報発信の強化 3,785 丹下建築紹介パンフレットの作成、マンガ英語版(WEB)の制作・発信、丹下健三特設WEBサイトの管理、ビジターセンター(市民会館)に常設展示品を設置	5,911

	(4) 国際的な建築祭との連携に向けた取組 既存の国際的な建築祭と連携した「TANGE Architectural Festival2028(仮)」 の開催に向け関係機関との調整を開始するもの	50		
	(5) 建築美術のまちめぐりツアー 丹下健三建築を始めとした有名建築家が手がけた現代建築をめぐるツアー造成に 取り組むとともに、建築を学ぶ大学生等を対象としたスタディツアーを開催する もの	1,000		
70	<b>文化芸術未来×ウェルビーイングプロジェクト【文化振興課】</b> 子どもや若者が文化芸術に親しむ機会や市民のアートを通じた「社会参加」の機 会を創出することで、次世代の芸術家の育成や市民の「心の健康」、「幸福感」 の醸成を図ろうとするもの	9,253	国1/2	4,314
	(1) 文化芸術未来講座 国内外で活躍する郷土出身アーティストによる本物の芸術に触れる特別な体験を 提供することにより、文化芸術に身近に親しむ機会を創出するとともに、地域を 支える子どもたちのクリエイティブな発想力や表現力を育むもの 《事業内容》 郷土出身芸術家による講座(ワークショップ・出前講座)・作品公開 テーマ(予定)写真・絵画・文学・書道・アニメーション等	1,388		
	(2) 市民向け音楽ワークショップ 瀬戸内し・ま・の音楽祭によるミュージアムコンサート・ワークショップ	500		
	(3) 今治落語会学校寄席 有名落語家による学校寄席を開催することで、子ども達が日本の伝統芸能に触れ る機会を創出しようとするもの(陸地部・島しょ部 各1回)	1,660		
☆	(4) ひびのこづえアートプロジェクト 今治タオルのデザインを手掛けるひびのこづえ氏によるモノづくり×アートイベ ントを子どもが真ん中フェスタとの連携にて実施することで、今治ならではの文 化とモノづくりを体験できる機会を創出しようとするもの 《事業内容》 芝っち広場でのダンスワークショップ・パフォーマンス、 商店街でのモノづくりワークショップを予定	3,498		
	(5) 市民のための音楽コンサート 国内外で活躍するプロのアーティストによる生の演奏を聴くという特別な体験を 提供することにより、市民が文化芸術に親しむ機会を創出	2,207		
◎	71 <b>今治城権群への河野美術館機能移転事業【文化振興課】</b> 河野美術館の解体を契機として、今治城に河野美術館の機能及び収蔵品の移転を 行い、その一部を展示することで、文化財保存体制の強化と、文化・観光・交流 が連動する文化拠点の形成、港～城における人の流れの創出を一体的に推進しよ うとするもの 収蔵庫什器整備、事務所・調査室改修、バリアフリー整備等により文化財保存 と来館者受入の基盤を整備	62,202	国1/2	31,101
◎	72 <b>「村上海賊」日本遺産認定10周年記念事業【文化振興課】</b> 日本遺産認定10周年を契機として、村上海賊の更なる認知度向上による関係人口・ 交流人口の拡大と地域住民の愛着醸成による基盤強化を図り、日本遺産村上海賊 の魅力創生に繋げようとするもの 《事業内容》 ①せとうちみなとマルシェ×海賊フェス(稼ぐ取組み) ア ファミリー向け体験型プログラム イ 日本各地の海賊・水軍の歴史専門家によるトークセッション ウ 海賊ゆかりの団体によるブース出展 エ マルシェ会場から今治城・市街地を巡るスタンプラリー ②村上海賊魅力発信推進協議会(尾道市連携)事業(基盤強化の 取組み) ア 地域で活動するステークホルダーによるトークセッションとシンポジウム イ 今治市・尾道市複数会場での企画展及び周遊スタンプラリー ウ 村上海賊の「ゆかりの地」を巡るツアー ツアー内容:村上三家の本拠地「因島・能島・来島」をクルーズ船で周遊 エ 「特色のある城」を有する他地域の小学生とのオンライン交流事業 オ 次の10年へ向けた更なる情報発信・普及啓発の強化と村上海賊の 魅力向上に資する調査研究の推進	9,326	国1/2 諸収入	2,000 2,000

③日本遺産村上海賊わくわく大冒険 日本遺産の構成文化財をめぐる子ども向けスタディツアー	519	
④村上海賊ミュージアム日本遺産10周年記念特別展 日本遺産構成文化財の寺院に収蔵されている宝物の特別公開等	807	
⑤プロジェクトマッピングin村上海賊ミュージアム 倉敷芸術科学大学連携アートプロジェクトにて実施	※再掲	

<公共交通ネットワークの再構築>

<b>73 地域公共交通活性化事業【地域振興課】</b>				
バス・タクシー・鉄道・船舶に新たな交通サービスを加え、誰もが利用しやすく持続可能な公共交通体系の実現を目指し、新設する専門部署のもと、「市民の足を空白にしない」新たな公共交通ネットワークの構築を強力に進めるもの				
(1) 地域公共交通活性化協議会	22,311			
持続可能な地域公共交通ネットワークの構築、市民の足となる新たな交通システムの調査研究・導入を実施するもの				
◎ ①地域公共交通アクションプランの策定	500			
令和7年度に策定した「地域公共交通計画」を着実に実行するため、交通事業者、有識者と協力し、実現及び持続可能なアクションプランを策定し、交通空白地域解消に向けた実証事業の検討を実施				
②乗合タクシー運行	11,326			
朝倉、玉川、菊間、吉海地域において廃止された路線バスに代わる公共交通として運行するもの				
③チョイソコおおみしま運行	9,914			
上浦地域及び大三島地域（宮浦・台）の一部において廃止された路線バスに代わる公共交通として運行するもの				
④その他	571			
バス乗り方教室、公共交通マップの作成及び協議会運営費				
(2) 第二種免許取得支援事業	500			
運転手を確保するため新規採用時の第二種免許取得費用を負担している事業者に対し助成				
助成内容				
バス : 教習費用×1/4 (上限125千円) ※事業者への国補助1/2 (上限250千円)				
タクシー : 教習費用×1/4 (上限75千円) ※事業者への国補助1/2 (上限150千円)				
◎ (3) タクシー地域アプリ導入等支援事業費補助金	16,700	国	臨時交付金	16,700
※3 (5) 再掲				
☆ (4) 伯方島公共ライドシェア実証運行事業費負担金	8,000	国	臨時交付金	8,000
令和7年度に実施した公共ライドシェア実証運行の検証・分析を踏まえ、運行内容の改善を行い、伯方地域の実情に合った最適な公共交通の導入に向けた実証運行の実施を支援するもの				
事業者 伯方島モビリティコンソーシアム				
実施期間 令和8年4月～令和9年1月				

<「ゼロカーボンシティ・今治」の推進>

<b>★ 74 脱炭素先行地域推進事業【環境政策課】</b>				
令和7年度に環境省から「脱炭素先行地域」に選定されたことから、国の支援を活用しつつ、地域特性に応じた脱炭素化に向けた取組を推進する事業を総合的に展開しようとするもの				
★ (1) 脱炭素先行地域づくり事業費補助金	143,494	国10/10		143,494
しまなみ海道ブルーラインメインルート沿線上（以下、「脱炭素先行地域」という。）の家庭、事業所及び今治タオル産業群に対して、再エネ等設備導入に必要な経費を支援するもの				
①家庭向け再エネ設備等パッケージ導入支援補助	57,468			
補助対象者 脱炭素先行地域内の一般住宅				
補助率 2/3				
補助対象経費 再エネ設備等をパッケージとして導入する際の費用				
ア 太陽光発電設備又はソーラーカーポート				
イ HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）				
ウ 蓄電池+給湯機				
②事業所向け再エネ設備等導入支援補助	46,026			
補助対象者 脱炭素先行地域内の事業所				
補助率 2/3				
補助対象経費 再エネ設備等を導入する際の費用				
ア 太陽光発電設備				
イ 蓄電池 ※太陽光発電設備と合わせて導入する場合のみ				
ウ 充放電設備				

③今治タオル産業群向け太陽光発電設備導入支援補助	40,000		
補助対象者 今治タオル産業群(タオル・染色・捺染の組合加盟企業)			
補助率 2/3			
補助対象経費 太陽光発電設備を導入する際の費用			
◎ (2) 公共施設への太陽光発電設備等の設置	108,603	国10/10	108,603
脱炭素化を推進するため、レンタサイクル施設に太陽光発電設備や蓄電池を導入するほか、伯方島最終処分場跡地を活用し、大規模太陽光発電設備を導入するもの			
対象施設 サンライズ糸山、今治駅前サイクリングターミナル、 伯方最終処分場跡地			
<債務負担行為予算> 321,894千円(R8年度～R10年度)			
○ (3) 脱炭素化等資金利子補給金	683		
脱炭素先行地域内の事業所又は今治タオル産業群の事業所が愛媛県の実施する脱炭素化等資金融資を活用する場合に金融機関に支払う利子相当分を支援するもの			
対象となる借入限度額 50,000千円			
対象となる借入期間 10年以内			
補助率 10/10(利率1.7%のうち、愛媛県が1.4%、今治市が0.3%を支援)			
取扱い金融機関 愛媛県の指定する市内金融機関			
○ (4) ゼロカーボンシティ事業費 ※2(3)再掲	25,000	国 臨時交付金	25,000
◎ 75 省エネ家電等普及促進事業【環境政策課】 ※2(2)再掲	92,524	国 臨時交付金	92,524
76 新エネルギー等関連設備導入支援【環境政策課】	35,000	国 臨時交付金	21,250
燃料電池や蓄電池、ZEH、HEMS、EV自動車といった新エネルギー等関連設備の導入に必要な経費を支援するもの		県1/2・1/3	13,750
[設備種別(補助金上限額)]			
燃料電池(90千円)			
蓄電池(90千円)			
ZEH(300千円)			
HEMS(15千円) ※R7年度から対象設備等に追加			
EV自動車(200千円)			
◎ 77 公共施設LED化推進事業	59,231	市債	53,300
【環境政策課、障がい福祉課、こども未来課、保育幼稚園課】			
公共施設のうち、電気代の削減効果が高いと見込まれる施設について、令和8年度以降、照明機器のLED化を加速化させ、管理コストの抑制を図るとともに、エネルギー使用量の削減に取り組んでいくもの			
整備手法：簡易型ESCO方式(ギャランティード・セイビングス契約方式)			
※受託者が設計施工を行い、整備資金を市が負担。受託者はエネルギー削減効果を保証し、電気代の削減を実現			
対象施設：R8年度：サン・アビリティーズ今治 外16施設			
R9年度：村上海賊ミュージアム 外12施設			
<債務負担行為予算> 124,313千円(R8～R9年度)			
78 防犯灯のLED化加速化事業【市民参画課・しまなみ振興課】	36,706	国 臨時交付金	36,706
自治会等が行うLED防犯灯の新設・交換を支援することで、エネルギー使用量の削減に取り組むもの(R7年度から予算規模を拡大)			
R6年度末進捗率 41.6% ⇒ R11年度末100%(目標)			
<「しまなみ海道通行料実質無料化」対応の加速>			
◎ 79 島しょ部通行料金助成事業 ※2(1)再掲	87,000	国 臨時交付金	87,000
80 しまなみマーケット【しまなみ振興課】	3,000	市債	3,000
※実質無料化			
せとうちみなどマルシェの雰囲気や島しょ部においても楽しむことができるよう、島しょ部地域ならではの特産品等をはじめ、しまなみの魅力を発信する「しまなみマーケット」を3島(大島、伯方島、大三島)にて開催するもの			

<b>81 しまなみ海道の利用促進と通行料負担軽減</b>	
★ (1) 利用促進の取組	
亀老山展望公園整備事業 [公園緑地課] ※55再掲	78,500
サイクリングしまなみ2026 [サイクルシティ推進課] ※60(4)再掲	67,470
日本遺産認定10周年記念事業 [文化振興課] ※72再掲	6,000
しまなみマーケット [しまなみ振興課] ※80再掲	3,000
[参考] 利用促進策の経過 (主なもの)	
R3 しまなみ海道利用促進に向けた調査検討事業 しまなみ海道自転車道の利用促進 ・サイクリングイベント出展、外国人対象のサイクリング体験会 移住交流推進事業 イマ旅宿泊観光クーポン事業	
R4 しまなみアートミュージアム魅力発信事業 修学旅行宿泊誘致促進事業 うみ・やま・しま今治体験型観光プログラム創出事業 第1回今治クリテリウム	
R5 関係団体との協議 ワーケーション推進事業 しまなみ広域サイクルツーリズム圏域形成協議会の発足 しまなみ魅力化推進事業 (亀老山展望公園周辺整備)	
R6 スポーツ文化ツーリズム体験型プログラム造成促進事業 地域人材交流支援事業 しまなみ学び・交流の場事業 (しまなみテクノロジー市民大学講座) 伯方島トライアスロン 第2回今治クリテリウム	
R7 しまなみマーケット	
(2) 通行料実質無料化の方策	
オンライン手続きの拡充等 [未来デジタル課] ※4(2)再掲	4,290
しまなみの子どもを育む交通費支援事業 ※11(8)再掲	28,230
①子育て世帯に対する交通費支援	
②通学費助成事業 (中学生、高校生、大学生)	
③医療・福祉サービス利用等に係る交通費支援 妊産婦健診等、出産サポートタクシー利用、障がい児通所支援利用	
しまなみマーケット [しまなみ振興課] ※80再掲	3,000
[参考] 実質無料化施策の経過	
R1 島外から通学する生徒の交通費支援 (定期代)	
R2 妊産婦の健康診査等の利用にかかる交通費支援 (妊婦健診・乳児健診)	
R3 妊産婦の健康診査等の利用にかかる交通費支援 (産婦健診・産後ケア・小児救急 (休日・夜間)) しまなみ海道通行料実質無料化に向けた調査検討事業 (タウンミーティング開催、関係機関との協議)	
R4 しまなみ海道通行料実質無料化に向けた調査検討プロジェクトチームの設置 妊産婦の健康診査等の利用にかかる交通費支援 (母子保健事業 (パパママ学級・こども療育相談・離乳食講習等)) 子育て世帯に対する交通費支援 しまなみ海道通行料実質無料化に向けた調査検討事業 ・生活道としてのしまなみ海道の交通動向分析 (ETCカード番号) ・「しまなみ暮らし」アンケート調査 (燃料クーポン券事業) ハイスpekクブロードバンド基盤整備促進 本庁・支所間オンライン相談機能整備事業 オンライン診療導入事業	
R5 しまなみ海道通行料実質無料化に向けた調査検討事業 ・生活道としての通行料金負担軽減にかかる調査・検討 子育て世帯に対する交通費 (障がい児支援) ファミリー・サポート・センター島しょ部会員講習支援事業 一時預かり拡充事業 (伯方認定こども園) 部活動の地域移行 (休日の地域移行用バス使用料) 住民窓口の多様化モデル構築事業	
R6 「しまなみ海道通行料実質無料化推進会議」の設置 オンライン申請フォーム作成支援業務 住民窓口の多様化モデル事業費 (移動市役所の実装) しまなみ健康塾 障がい児通所支援事業所の利用にかかる交通費支援事業 図書館資料貸出窓口の拡充	
R7 市内の大学等に通学する学生の通学費助成事業	

<地域コミュニティの活性化>

82 今治みらい発掘プロジェクト事業（ふるさと納税重点活用事業）[地域振興課]	3,585		
(1) 地域むすぼうミーティング 地域コミュニティの中での活動を実際に経験してきた今治みらい発掘隊や地域おこし協力隊の隊員がこれまでの経験や地域への想いを語る座談会を開催し、参加者との対話や交流を通じて、次の担い手を発掘・育成しようとするもの テーマ 「ヒトからつながる地域の未来」 場所・回数 市内4エリア×2回（アーバン、フォレスト、シーサイド、アイランド） 内容 地域住民をつなげる座談会 地域のキーマン（発掘隊、市民有志など）の想いを語ってもらう場 参加対象者 市民			
☆ (2) 未来へつなGO！今治共創プロジェクト 市民が中心となって新たな地域の賑わいを創出することを目的とした活動を、四国地域の活性化に取り組む「四国国家サポーターズクラブ」と協働で支援するプロジェクト。令和8年度は、3年計画の最終年となることから、このプロジェクト内で生まれた活動を更にブラッシュアップして展開し、次年度以降の継続展開につなげようとするもの	4,888		
①「いまここ青春祭2026」の開催 市内高校生が中心となって企画・運営を行うイベント「いまここ青春祭」を開催し、市内高校生同士の交流を促すとともに、四国国家サポーターズクラブに参画する市内企業と10代の若者をつなぐお仕事フェスを開催 開催時期 令和8年10月頃（予定） 開催場所 芝っち広場			
②市内高校生と呉未来塾（呉市）との交流事業 それぞれの市で高校生が主体となって開催するイベントにおいて、参加する高校生の相互の交流を促進するとともに、互いのイベントのブラッシュアップを目指すもの。 今治市実施 「いまここ青春祭2026」 R8.10月上旬 呉市実施 「KURE未来フェスタ」 R9.3月上旬			
③「今治市公認探究部」伴走支援事業 いまここ青春祭2025にて高校生から提案のあった学校の垣根を越えた「今治市公認探究部」設立に向け伴走支援するもの			
④今治四国お宝FAMツアー これまでに市民主体で造成した市内をめぐる旅行商品を発掘隊、地域通訳案内士、学生など自らが旅行事業者やインフルエンサーに対し、FAMツアーを通じて魅力を発信し、四国のお宝ツアーの持続的で有効な展開を目指すもの (参考) ア これまで市民主体で造成したツアー R5 今治・伊予桜井地区観光ツアー（今治中等教育学校生徒造成） R7 今治島めぐりツアー（今治みらい発掘隊など造成） イ 四国国家サポーターズクラブの活動経過 R6 「未来へつなGO！今治共創プロジェクト」始動に係る調査・準備（今治みらい発掘プロジェクト12等への参加） R7 いまここ青春祭2025の開催支援、今治島めぐりツアー			
☆ (3) 今治地域みらいまちづくり事業 住民の創意工夫に基づき地域の自立的発展を目指すために実施される事業に対し補助金を交付 ①単独地域事業（地域単独で行う事業） 6,000 補助率 8/10 限度額 1,200千円 ②広域連携事業（複数の地域（2地域以上）が連携して行う事業） 6,000 補助率 10/10 限度額 3,000千円（2,400千円から拡大）	12,000	市債	7,000
83 地域担当職員活動事業 [地域振興課・しまなみ振興課] 担い手不足をはじめとする地域課題に対し、住民の取組を身近で支えるため、各支所に配置された地域担当職員が住民の活動に参画し、一緒になって課題解決に取り組むもの 地域担当職員 各支所 3名程度配置 各支所 1,000千円×11支所	11,500		

V しやなかで強靱な『まち』に		1,849,344千円		
<b>&lt;安全・安心なまちづくり&gt;</b>				
84	<b>道路冠水箇所重点対策事業【道路課】</b> 近年頻発する大雨災害に備え、被害が集中している箇所へ対策工事を実施し、道路冠水や住宅地の浸水被害の軽減を図るもの 市道泉川北日吉町線 路側改良工事 一式	10,000	市債	10,000
85	<b>河川緊急浚渫推進事業【農業土木課】</b> 治水対策として、緊急浚渫推進事業債を活用し、河川に堆積した土砂等の浚渫を行うもの 上浦町二本松川 外2件 <債務負担行為予算>29,400千円（R8～R9年度）	19,600	市債	19,600
◎ 86	<b>治水施設緊急整備事業【農業土木課】</b> 昨今、激甚化・頻発化する豪雨への対策を強化するため、国が延伸した緊急自然災害防止対策事業債の制度を活用し、市内の老朽化したポンプ場や水路の改修等を計画的かつ集中的に行うもの。 (1) ポンプ場等改良工事 ①大西町新町ポンプ場 104,000 工 期：R8年度～R10年度 R8内容：土木工事 <債務負担行為予算>156,000千円（R8～R9年度） ②菊間町タカタポンプ場 98,500 工 期：R8年度 R8内容：土木工事、機械工事、電気工事、鋼構造物工事 ③柚田ポンプ場 23,000 工 期：R8年度～R12年度 R8内容：設計 ④中土手川ポンプ場 5,500 工 期：R8年度～R9年度 R8内容：設計 ⑤御物川遊水地 5,500 工 期：R8年度～R12年度 R8内容：設計 (2) 水路等改良工事 ①御物川河床 25,000 ②喜田村三反地川支川 10,000 ③虹ヶ渚支線5号水路 9,000 ④上浦町井口排水路 6,700 ⑤隅田支川5号水路 4,000	291,200	市債	291,200
87	<b>防災行政無線システム更新工事【防災危機管理課】</b> 災害など緊急時の住民に対する情報伝達手段である多重系システムや、J-A-R E R T放送などを放送操作するデジタル同報系システムを更新し、併せて、将来的な新通信方式への対応を見据えた機能強化を図ろうとするもの 〔概要〕全体事業費：435,600千円 工 期：R7年度～R8年度	270,000	市債	270,000
<b>&lt;「地域ディフェンス力」の強化&gt;</b>				
88	<b>地域防災計画・水防計画の改訂【防災危機管理課】</b> 近い将来発生が懸念されている「南海トラフ地震」や近年、激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、県による南海トラフ地震被害想定調査の結果や中小河川の洪水浸水想定区域等の指定を踏まえ、本市の地域防災計画・水防計画等を改訂・更新しようとするもの ①地域防災計画・水防計画策定 11,000 ②地震・津波ハザードマップ作成（デジタル版） 3,510 ③津波事前避難対象人数把握 308	14,818		

- ★ 89 避難所環境改善事業【防災危機管理課】 30,620 国1/2 11,072  
 近年頻発している複合災害や林野火災の検証結果を踏まえ、避難所の更なる環境改善や物資・資機材を迅速な運搬体制の構築に取り組むとともに、外国人や高齢者、障がい者など配慮を必要とする方が安心して避難できる環境整備を進めるもの  
 県1/3 2,939  
 市債 2,700
- 車載トイレ 2基 2,700
  - トラック（リフトゲート機能付） 1台 8,218
  - 災害対応車 1台 6,182
  - 多言語対応ピクトグラム避難所看板設置 141か所 1,400
  - ポータブルトイレ用すり 29台 1,276
  - 災害用トイレ TENT 4組 3,850
  - 折り畳み式簡易ベッド 110台 3,000
  - 車いす用可搬型スロープ 5組 694
  - カゴ台車 8台 600
  - 発電機 5台 600
  - 投光器 15台 2,100
- ★ 90 災害用備蓄物資の充足【防災危機管理課】 32,607  
 災害時に被災者に支給する食料品、毛布、マット、医薬品等の備蓄物資を想定避難者数に応じて計画的に確保し、供給体制の充実を図るもの  
 備蓄用食料の更新 26,400食  
 保存用飲料水の更新 2,280L  
 災害用備蓄毛布 3,000枚  
 エアーマット 3,840枚  
 自主防災組織支給品（発電機等）  
 その他（事務用品等）  
 ※想定避難者数に応じた備蓄品を確保するよう整備を加速させるもの

災害用備蓄物資について

R7年度未予定

項目	目標数量	現備蓄数量
食料	1人：1日3食 94,110食	103,294食
飲料水	1人：1日1本（500ml） 31,528本	33,168本
小児用おむつ	1人：1日8枚 5,024枚	6,318枚
大人用おむつ	1人：1日6枚 5,087枚	5,994枚
生理用品	1人：1日8枚 14,068枚	16,920枚
ほ乳瓶	1人：5本 785個	2,968個
簡易トイレ	20人当たり1台 1,570台	1,570台
簡易トイレ便袋	1人：1日5回分 157,000回	157,400回
トイレ T ーパー	1人：1日8m（1ロール255m） 986ロール	4,205ロール

項目	目標数量	現備蓄数量
ラップ	指定避難所各50本 7050本	5280本
非常用給水袋	1人：1枚 31,400枚	9,450枚
食器セット	1人：1セット 31,400セット	24,533セット
日用品セット	1人：1セット 31,400セット	14,878セット
毛布	1人：1枚 31,400枚	14,716枚
マット	1人：1枚 31,400枚	9,459枚
カセットコンロ	指定避難所各3台 423台	2,968台
カセットボンベ	カセットコンロ1台当たり3本 1,269本	1,488本
救急箱	指定避難所各2セット 282個	178個

避難想定者数：31,400人

- 91 防災士育成事業（ふるさと納税重点活用事業）【防災危機管理課】 2,093  
 (1) 防災士資格取得支援 1,893  
 防災活動の中心的な役割を担う防災士を養成することで共助の機能強化を図るとともに、平時から資格取得者に対し防災関連事業の実施時や災害発生時における活動への参画を促し、防災関係者のネットワークの強化やスキルアップを通じて、地域防災力の向上を図るもの
- ◎ (2) ジュニア防災士育成事業 200  
 次世代の防災人材育成のため、ジュニア防災士を育成するとともに、地域防災の担い手として継続的に関わる仕組みを構築し、共助力の向上を目指すもの  
 内容 防災士資格取得のための「ジュニア防災塾」の開催  
 資格取得後の訓練参加など防災事業への参加意欲向上のための認証制度の創設  
 対象者 小学生(高学年)～高校生
- 92 防災訓練の実施【防災危機管理課】 6,558  
 (1) 総合防災訓練の実施 5,558  
 防災関係機関、地域住民が一緒に参加する地震、風水害による災害を想定した防災訓練を実施することにより、防災意識の高揚を図るとともに、防災体制の一層の充実強化、応急対策の機能向上を図るもの
- ★ (2) 民間団体との連携による実動訓練 1,000  
 NPO法人や警察、自衛隊等との官民が連携した訓練を実施

<誰も取り残さない消防・救急体制の構築>

93 市民の生命・身体・財産を守る消防・救急基盤の整備

市民の生命・身体・財産を守るため、火災や救急事案に迅速かつ的確に対応できる体制を整備し、消防・救急機能の強化と安全安心なまちづくりを実現するもの

★	(1) 常備消防(ふるさと納税重点活用事業) [消防本部総務課・警防課]	891,880	市債	557,700
	①消防指令システム等の更新 557,700 消防指令システム及び消防救急デジタル無線の老朽化や通信技術の進化等に対応し、円滑な運用を確保するため更新及び機能強化を図るもの <債務負担行為予算>1,301,300千円(R8~R9年度) [スケジュール] R6年度 消防指令システム等基本計画策定 R8・R9年度 消防指令システム等構築 R10年度 消防指令システム等の運用開始予定			
	②消防車両等の更新 302,000 消防ポンプ自動車 3台 中央消防署、北消防署大島分署、北消防署大三島分署 高規格救急車 2台 中央消防署、北消防署		市債	302,000
	③延焼防止水幕防御システム 6,380 強風下での飛び火拡大に備え、効果的な延焼防止を図るもの 100mの消防ホースに5m間隔で噴霧用のノズルを配置 高さ約13m、幅5m以上の水幕を形成することが可能		市債	6,300
	④北消防署女性専用室等増設工事 25,800 女性消防職員が安心して勤務できる職場環境を整備するため、女性用仮眠室及びトイレ、浴室を整備するもの。併せて、勤務形態の変更により仮眠室を2室増設するもの <参考> 実績：中央消防署(H30)、西消防署(R4)、西消防署菊間分署(R5)、中央消防署東分署(R6)、西消防署波方分署(R7)		市債	25,800
	(2) 非常備消防 [消防本部総務課]	245,100		
	①朝倉方面隊第1分団消防詰所の統合整備 116,600 (第1部詰所と第2部詰所を統合するもの)		市債	116,600
	②今治方面隊第8分団消防詰所の統合整備 49,000 (鐘場詰所と大浜詰所を統合するもの)		市債	49,000
	③消防団車両等の更新 79,500 小型動力ポンプ積載車 2台(玉川) 小型動力ポンプ軽四積載車 5台(波方2台・菊間2台・上浦) 小型動力ポンプ一式 6台(朝倉・大西・菊間・宮窪・伯方・上浦)		県(定額) 市債	21,750 51,000
◎ 94	令和7年今治市林野火災を教訓とした防災力強化(ふるさと納税重点活用事業) [防災危機管理課・消防本部総務課・警防課] 令和7年今治市林野火災の検証結果を踏まえ、消防本部と防災担当部局間の情報共有体制や、被災現場の情報収集、緊急消防援助隊等との連携等、浮き彫りとなった課題等に対応することで、本市の防災力の強化を図り、その他の地震や風水害等にも迅速な対応が可能な消防・救急・防災体制を構築しようとするもの			
	(1) 災害時における情報収集・共有体制の強化 16,756			
	①消防ドローン部隊の拡充			
	ア 装備品 7,748 災害時にドローンを活用し、消防本部と防災担当部局が現場の状況をリアルタイムの映像で共有できるシステムを導入するとともに、ドローンの夜間活用を可能とする附属品の購入をしようとするもの			
	イ 体制 1,998 消防ドローン部隊の人員体制を強化するため、新たに国家資格の取得を目指す者を支援しようとするもの 人員体制10名→13名			
	②災害対策本部			
	災害対策本部室マルチディスプレイ更新 6,380 レガシー多機能電話機 141 モバイル端末用イヤホンマイク、ボディカメラ 489			
	(2) 消防団や緊急消防援助隊、自衛隊等との連携強化 16,862 市債 9,000 広域災害等においても、消防団や緊急消防援助隊等の応援部隊と現場の状況や設備の情報等を即時に共有できる体制を整備しようとするもの			
	非常備消防用IP無線 31台 5,157 林野火災用地図作成 一式 362 消防水利システム 一式 1,643 消防救急デジタル携帯無線 6台 9,042 ※94(1)①一部再掲 ノートパソコン 3台 658			
	(3) 林野火災を想定した連携強化訓練 1,250 災害対策本部及び消防本部の連携強化を図るため、導入資機材を活用した情報共有を含めた本部運営と災害現場、避難所での実動訓練を一体的に実施するもの			

【特別会計】				
<b>【港湾事業特別会計】</b>	<b>【港湾漁港課】</b>	417,000	参考 [前年度]	444,000
	[対前年度増減理由]			
	(歳入) 一般会計繰入金の減			
	(歳出) 港湾管理費の減、ふ頭管理費の減、貯木場管理費の減、企業債元金の減			
<b>【国民健康保険特別会計】</b>	<b>【保険年金課】</b>	16,064,000	参考 [前年度]	17,059,000
	[対前年度増減理由]			
	国民健康保険被保険者数の減			
<b>1 保険給付費</b>				
	療養給付費 (一般)	9,900,000	県	9,900,000
<b>2 国民健康保険事業費納付金</b>				
	(1) 医療給付費分 (一般)	2,580,126	県	77,721
	(2) 後期高齢者支援金分 (一般)	894,339	手数料	1
	(3) 介護納付金分	329,471	諸収入	31,001
◎	(4) 子ども・子育て支援納付金分	76,513		
<b>【後期高齢者医療特別会計】</b>	<b>【保険年金課】</b>	3,818,000	参考 [前年度]	3,224,000
	[対前年度増減理由]			
	後期高齢者医療保険被保険者数の増			
<b>1 広域連合納付金</b>		3,758,620		
<b>【介護保険特別会計】</b>	<b>【介護保険課】</b>	19,495,000	参考 [前年度]	19,100,000
	[対前年度増減理由]			
	保険給付費の増			
<b>1 保険給付費</b>				
	介護サービス等諸費	17,639,000	国	4,517,828
	①居宅介護サービス費	7,090,000	県	2,549,316
	②地域密着型介護サービス費	4,224,000	交付金	4,761,990
	③施設介護サービス費	6,325,000	諸収入	1,996
<b>【企業会計】</b>				
<b>【水道事業会計】</b>	<b>【水道総務課】</b>	6,346,000	参考 [前年度]	6,832,000
	今治市内全域に水道水を供給する事業			
	[対前年度増減理由]			
	建設改良費の減			
<b>1 鉛管解消対策の加速化</b>				
	積極的な鉛管解消に向け、一般会計も費用の一部を負担することで引替件数の増加を図り、鉛管からの交換を加速化させるもの			
	(1) 鉛管引替助成金 (300件)	100,000	補助金	25,000
	対象者：鉛製の給水装置を所有又は使用している者			
	補助額：道路部分 対象工事費の全額			
	宅地部分 上限13万円			
	(2) 鉛管引替工事 (150件)	37,500		
<b>2 防災・減災対策事業</b>				
	大規模災害に備えた取組みを行うもの			
	(1) 重要給水施設管路耐震化事業 (R5年度～R17年度)	188,702	国1/3、1/4	35,742
	今後発生することが見込まれる南海トラフ巨大地震に備え、非常時に特に水道水が必要となる救急指定病院などの重要給水施設への管路耐震化を実施し、R17年度までの完了を目指すもの		企業債	89,700
	全体事業費 約83億円			
	R8年度 配水本管整備工事 (八町西地区 外5地区)			
	(2) 高橋馬越連絡管整備事業 (R4年度～R9年度)	170,000	企業債	85,000
	高橋浄水場と馬越浄水場間で連絡管を整備し、平常時の水運用の合理化を図るとともに、大規模災害時や、濁水時における両浄水場間のバックアップ体制を構築するもの		出資金	81,600

全体事業費 約12.3億円 R 8年度 高橋馬越連絡管整備工事（場内配管） 高橋馬越連絡管整備工事（機能増設） ※全体事業費150,000千円（債務負担行為R 8～R 9 140,000千円）			
(3) 宮窪伯方水融通管整備事業（R 7年度～R 17年度） 市町村合併により市域全体を一つの水道と捉え実現したしまなみ送水をさらに進め、陸地部と島しょ部の浄水場間で水融通を行うことにより、安心・安全な水道水の安定供給とともに、災害時や渇水時における相互連携体制を構築するもの 全体事業費 約12.1億円 R 8年度 新宮窪配水池整備工事（造成）	42,000	企業債 出資金	21,000 19,500
<b>3 渇水対策事業</b> 近年の異常気象による水不足傾向を踏まえ、渇水に備える取組みを実施する (1) 予備水源効率化事業（R 5年度～R 13年度） 渇水対策水源を効率的に利用するため、高橋接合井や導水管を整備する 全体事業費 約9.5億円 R 8年度 高橋接合井築造工事（機械工事） 予備水源施設整備実施設計業務委託  (2) 高橋馬越連絡管整備事業（R 4年度～R 9年度） <b>※再掲</b>	102,035		
<b>4 広域化事業</b> 高橋浄水場からの広域送水のための施設・管路整備を行い、事業効率化、水質安全対策を図る。 今治玉川送水整備事業（R 5年度～R 8年度） クリプトスポリジウム対策が必要な水源から、高橋浄水場の送水に切り替えることで水質安全対策を図る 全体事業費 約10億円 R 8年度 三反地ポンプ場送配水管整備工事（三反地ポンプ場～新八幡配水池） 三反地ポンプ場築造工事（電気、場内整備） 新八幡配水池築造工事（電気、場内整備）	246,600	国1/4 企業債 出資金	24,228 61,500 43,300
<b>5 老朽管更新事業</b> 老朽化した配水管の布設替を行う R 8年度 老朽管等布設替工事（中堀地区外）	545,565	企業債 補償金	90,800 20,000
<b>【簡易水道事業会計】【水道総務課】</b> 関前地域に水道水を供給する事業 [対前年度増減理由] 主に減価償却費の減	152,600	参考 [前年度]	153,600
<b>【工業用水事業会計】【水道総務課】</b> 旧今治地域及び菊間地域の企業に工業用水を供給する事業 [対前年度増減理由] 投資（投資有価証券の購入）の増	780,400	参考 [前年度]	377,400
<b>1 浄水場電気設備更新</b> 老朽化に伴う受変電設備等の更新を行うもの 小泉浄水場の電気設備更新設計	76,010	企業債	76,000
<b>2 投資</b> 有価証券の運用によって利息収入を得ようとするもの。 投資有価証券の購入	400,000		
<b>【下水道事業会計】【下水道業務課・下水道工務課・農業土木課】</b> [対前年度増減理由] 建設改良費の増	11,457,000	参考 [前年度]	10,356,000
<b>1 未普及対策・広域化共同化事業</b> (1) 公共下水道事業基本計画等変更業務委託（R 7年度～R 8年度） 人口減少などの地域社会の状況変化を踏まえ、下水道基本計画と事業計画を見直すことで、計画区域や整備方針を適正化し、持続可能な下水道経営を実現するもの	32,000		

(単位：千円)

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

特 定 財 源

(2) 未普及対策事業（下水道の新規整備工事） 下水道計画区域内の未整備地域で管きよ整備を進め、生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図るもの 今治処理区の面整備	558,260	国1/2 市債 負担金 分担金	213,250 317,000 25,825 1,370
(3) 広域化共同化事業（隣接する処理場の統廃合） 処理場の統廃合に向けて処理区を接続するための管渠工事や設計を行い、施設の集約化による維持管理・更新コストの削減と効率的な事業運営を図るもの 【接続管渠実施設計】 （農集）朝倉下処理区 ⇒（公共）今治処理区 （農集）大西九王処理区 ⇒（公共）大西処理区 （漁集）吉海志津見処理区 ⇒（特環）吉海処理区 （農集）伯方北浦処理区 ⇒（特環）伯方木浦・有津処理区 【接続管渠整備】 （農集）朝倉古谷処理区 ⇒（公共）今治処理区 （漁集）吉海棕名処理区 ⇒（特環）吉海処理区 （農集）吉海田浦処理区 ⇒（特環）吉海処理区 （農集）上浦盛処理区 ⇒（特環）上浦井口処理区	357,300	国1/2 市債	175,150 182,100
<b>2 防災・減災対策事業</b>			
(1) ストックマネジメント事業 マンホールポンプの実施設計や管渠・ポンプ場の改築、耐震診断を行い、老朽化施設の計画的更新と耐震化を進めて、安全で安定的な下水処理機能を確保するもの 【管渠】 マンホールポンプ：改築実施設計 今治処理区管渠：改築工事、耐震診断 【施設】 立花中継ポンプ場、近見中継ポンプ場：自家発電設備等の更新 北部終末処理場：受変電設備の更新 北部終末処理場、吉海浄化センター、宮浦浄化センター：非線形解析（耐震診断） 今治浄化センター、伯方浄化センター、井口浄化センター：改築実施設計 天保山第2中継ポンプ場：改築実施設計	1,207,600	国1/2・5.5/10 市債	611,950 595,600
(2) 浸水対策事業 雨水ポンプ場の整備・改築に内水ハザードマップの整備を加え、防災・減災の強化と住民による自助・共助の意識醸成を図るもの 桜井河口排水ポンプ場：基本設計等 天保山排水ポンプ場：非線形解析（耐震診断） 高部下排水ポンプ場：耐震実施設計 内水ハザードマップ作成業務委託	130,300	国1/2 市債	65,150 65,100
<b>3 農業集落排水施設整備事業</b>			
農業集落排水施設を公共下水道等に統合し、施設の再編・集約化によってコスト削減と機能向上を図るもの 大三島口総処理場（廃止）、野々江処理場（統合）に伴う接続工事	80,000	国6/10 市債	44,400 35,600

第 2 回教育委員会議案第 4 号

令和 8 年度学校教育の重点方針について

標記の重点方針を別紙のとおり定める。

令和 8 年 2 月 27 日 提出

今治市教育委員会  
教育長 小澤 和樹

# 1 令和8年度重点方針

重点方針1 新たな時代（Society5.0）を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進

重点方針2 誰一人取り残すことのない学びの実現

重点方針3 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備

重点方針4 「i.i.imabari！」教育version（<sup>きょういく</sup>郷育）の推進

重点方針5 人生100年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備

## 重点方針1

新たな時代（Society5.0）を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進

**施策1： 「知・徳・体」のバランスがとれた育成を図る教育を推進し、自ら課題を発見し、解決するために必要な資質・能力を育みます。**

- ◇ 未来の社会を生き抜く児童生徒の資質・能力を育成するために、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行います。
- ◇ 愛媛大学教育学部との共同研究を通して、授業改善に努めます。
- ◇ 各種調査等の活用を図り、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、学習指導の改善に努めます。
- ◇ ふるさとキャリア教育等において、一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて体験活動や課題解決的活動等の探究的な学習を充実させるなど、思考力・判断力・表現力を育成します。
- ◇ 児童生徒の発達段階を考慮しながら、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共により良く生きるための基盤となる道徳性を養います。
- ◇ 子どもの読書活動を支える「学校司書」の配置を充実させ、読書活動を推進します。
- ◇ 「児童生徒顕彰」、「がんばる子ども応援賞」等において、認め、励まし、伸ばします。
- ◇ 互いの良さを認め合ったり、達成感を味わったりできる体験活動を工夫・充実させ、児童生徒の自己肯定感や自己有用感の高揚を図ります。
- ◇ 様々な主体と連携を図りながら、運動に親しむ姿勢を育てるとともに、児童生徒の運動技能の向上に努めます。

**施策2： 児童生徒の実態や授業のねらいに応じてアナログとデジタルの良さを効果的に組み合わせた授業の質の向上に努めます。**

- ◇ 「一斉学習」、「個別学習」、「協働学習」それぞれの学習場面に応じてICT機器を活用するとともに、読むことや書くことを大切に、学習指導の効果を高めるよう創意工夫を図ります。
- ◇ 児童生徒の発達や学習の特性に応じて、操作や体験、対話や発表などの活動を取り入れ、体験を通して理解を深め、主体的に学ぶ力を育む授業の充実を図ります。
- ◇ 1人1台端末や電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域の学校との交流学习において、子ども同士による意見交換、発表などお互いを高め合う学習を行います。

**施策3： 教職員一人ひとりのICT活用指導力の向上を目指した研修を充実し、ICT授業マイスターの育成に努めるとともに、ICT活用事例の提示や優良事例の横展開を図ります。**

- ◇ 愛媛県ICT教育推進ガイドラインに示された教職員のICT活用スキルチェックを活用し、教職員のICT活用指導力の向上を図ります。
- ◇ 学力向上につながる教職員のICT活用のスキルアップを目的にICT支援員を配置します。

- ◇ 1人1台端末を活用し、児童生徒の考えを引き出すシンキングツールの活用など、考えを可視化、共有化することで学習の理解を深めます。

**施策4： 情報や情報手段を主体的に選択し、活用していくための情報活用能力や情報倫理を身に付け、ICTを最大限に活用することで、新たな時代（Society5.0）を切り拓いていくことができる子どもたちの資質・能力の育成を目指します。**

- ◇ 新たな時代（Society5.0）に必要となる資質・能力を育む授業づくりに努めます。
- ◇ 発達段階に応じて1人1台端末をはじめICTを効果的に活用した学習活動や民間プログラミングスクールとの連携により、プログラミング教育を促進します。
- ◇ 愛媛県ICT教育推進ガイドラインに示されたICT教育プログラム（Can-Do）を活用し、児童生徒の主体的なICT活用を促進します。
- ◇ 生成AIについては、指導者用タブレットを活用し、実生活における具体的な利便性を示しながら、授業への効果的な取り入れ方を検討します。その上で、児童生徒には生成AIを正しく、かつ効果的に活用できるよう、段階的な指導を重視します。
- ◇ 児童生徒がSNSやインターネットを安全に活用できるよう、発達段階に応じた情報モラルの指導を計画的に行います。個人情報の扱いや言葉の使い方、情報の見極め方を段階的に教えるとともに、アンケートを活用して心の変化や不安の早期発見に努めます。
- ◇ 家庭の状況や児童生徒の発達段階に応じて、学校と家庭が協力してルールづくりを進め、ICT機器の適正な使用を見守る環境を整えます。家庭では、「家庭学習チェックリスト」や「スマホ依存対策アプリ」の周知を通じて、学校と連携した取組を行います。

**施策5： 異文化に触れ合う機会を拡充し、我が国や他の国・地域の伝統・文化について関心や理解を深めるとともに、グローバル化に適応できる英語等の語学力やコミュニケーション能力を育成していきます。**

- ◇ ALTを現行の17名から40名に大幅に増員し、ALTとの協働による授業づくり、小中学校の接続を意識した指導、そして地域と結び付いた英語活動の充実など、今治型英語教育「今治メソッド」に取り組みます。
- ◇ 児童生徒が「生きた英語」に触れる機会の充実を図ります。英語で「話せた」「伝わった」という成功体験を積み重ねることで、児童生徒が英語学習への意欲を高め、自ら学びを深めようとする姿勢を育成します。
- ◇ 英語活動を充実させることにより、児童生徒の自己肯定感の向上や学校全体の活力の向上を目指すとともに、将来的には地域全体の活性化にもつなげていきます。
- ◇ イングリッシュキャンプ等を通じて、児童生徒がALTや市内外の留学生と交流する機会を積極的に創出します。今治市の自然・文化・産業といった地域資源を活かし、「ふるさとキャリア教育」とも連携した英語教育を推進することで、地域や国の未来を主体的に考え、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成を図ります。
- ◇ 英語力の一層の向上を図るため、英語検定補助等などの支援を充実させ、誰もが英語学習に挑戦できる環境を整備します。

## 重点方針2 誰一人取り残すことのない学びの実現

**施策6： スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の、教育や心理・福祉の専門家を各中学校区に配置することで、一人ひとりの子どもに寄り添った支援の充実を図ります。**

- ◇ 県の事業を活用し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、ハートなんでも相談員等を配置し、全小中学校で児童生徒や保護者が相談できる支援体制を整えます。
- ◇ 一人ひとりの児童生徒へのきめ細かな指導を充実させるため、幼・小・中学校の教職員間で積極的に情報交換・情報共有を行い、幼小中連携を図ります。

- ◇ 性的指向・性自認に配慮を必要とする児童生徒に対して、きめ細かな対応に努めます。
- ◇ 協動的な生徒指導体制の下、児童生徒の悩み等の早期対応に努めます。

**施策7： 特別支援教育コーディネーター等を中心に、教育相談や校内支援体制を構築するとともに、学習アシスタントや、生活支援員等の配置を充実させることにより、一人ひとりの発達特性を把握し、子どもや家庭のニーズに応じた、きめ細かな支援の充実を図ります。**

- ◇ 授業のユニバーサルデザイン化を図り、全ての児童生徒が分かる授業に努めます。
- ◇ 多様な子どもたちが共に学び合う、インクルーシブ教育システムの構築を目指します。
- ◇ 学校生活支援員等の配置を充実させ、障がいのある児童生徒が安心して学べる体制を計画的に整えていきます。
- ◇ 通級指導教室において、巡回指導を行うことにより、特別な教育的ニーズのある全ての児童生徒が、適切な指導を受けられる体制整備に努めます。
- ◇ 日本語指導が必要な児童生徒に対し、個別の教育計画に基づく組織的な指導体制を構築します。多様な文化を尊重し合う心の醸成を図るとともに、外部人材や有用な機器を活用した学習支援・生活支援を強化し、多文化共生社会の担い手を育む教育環境を整備します。

〔令和8年度特別支援学級配置状況〕 R7.2.20 現在

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	合計	
	吹揚小	別宮小	常盤小	近見小	立花小	桜井小	鳥生小	富田小	清水小	日高小	乃万小	波止浜小	国分小	朝倉小	鴨部小	九和小	波方小	大西小	亀岡小	菊間小	吉海小	宮窪小	伯方小	上浦小	大三島小	岡村小		
自閉症・情緒障がい	2	2	2	1	2	3	2	3	2	3	3	2	2	1	1	2	2	4	1	1	1	1	2	1			46	
病弱虚弱					1				1																			2
難聴						1		1		1								1						1				5
知的障がい	1	1	1	1	2	1	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1		27	
肢体不自由							1			1															1			3
弱視																												0
計	3	3	3	2	5	5	5	6	4	7	4	3	3	2	2	3	4	5	1	2	2	2	4	1	2	0	83	
通級	2				1																							3

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	合計
	日吉中	近見中	立花中	桜井中	南中	西中	北郷中	朝倉中	玉川中	大西中	菊間中	大島中	伯方中	大三島中	関前中	
自閉症・情緒障がい	3	1	3	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1			20
病弱虚弱										1						1
難聴																0
知的障がい	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			13
肢体不自由	1			1												2
弱視																0
計	5	2	5	4	2	3	3	2	3	2	1	2	2	0	0	36
通級			1													1

	学級数		総計
	小学校	中学校	
自閉症・情緒障がい	46	20	66
病弱虚弱	2	1	3
難聴	5	0	5
知的障がい	27	13	40
肢体不自由	3	2	5
弱視	0	0	0
計	83	36	119
通級	3	1	4

〔令和8年度特別支援学級 在籍児童生徒数〕 R7.2.20 現在

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	合計	
	吹揚小	別宮小	常盤小	近見小	立花小	桜井小	鳥生小	富田小	清水小	日高小	乃万小	波止浜小	国分小	朝倉小	鴨部小	九和小	波方小	大西小	亀岡小	菊間小	吉海小	宮窪小	伯方小	上浦小	大三島小	岡村小		
自閉症・情緒障がい	12	14	15	8	11	19	13	19	9	18	18	15	14	6	3	12	15	27	3	5	3	3	11	1			274	
病弱虚弱					2				1																			3
難聴						1		1		1														2				6
知的障がい	4	7	5	8	14	6	15	10	6	9	7	7	3	3	3	3	4	4			2	2	1	3		1	127	
肢体不自由							1				2															1		4
弱視																												0
計	16	21	20	16	27	26	29	30	16	30	25	22	17	9	6	15	20	31	3	7	5	4	16	1	2	0	414	
通級	22	3	1	2	13	1	2		2	4	2	1	2		2		6	2			1	3	2				71	

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	合計
	日吉中	近見中	立花中	桜井中	南中	西中	北郷中	朝倉中	玉川中	大西中	菊間中	大島中	伯方中	大三島中	関前中	
自閉症・情緒障がい	19	2	18	11	7	11	14	7	6	7	2	2	2			108
病弱虚弱									1							1
難聴																0
知的障がい	3	3	10	3	3	2	8	2	3	2		2	2			43
肢体不自由	1			1												2
弱視																0
計	23	5	28	15	10	13	22	9	10	9	2	4	4	0	0	154
通級	4		3			1						1				9

	児童生徒数		総計
	小学校	中学校	
自閉症・情緒障がい	274	108	382
病弱虚弱	3	1	4
難聴	6	0	6
知的障がい	127	43	170
肢体不自由	4	2	6
弱視	0	0	0
計	414	154	568
通級	71	9	80

**施策8** : 不登校児童生徒に対して、**学校復帰**や社会的自立に向けて、福祉・医療諸機関と連携しながら、教育相談や適応指導を行うとともに、ICTを活用した学びの保障の新たなスタイルを構築していきます。

- ◇ 不登校等の対応については、**継続的な関わり**や社会的自立に向けて、今治市こすもすの家、今治市発達支援センター、フリースクール等と連携を密にし、居場所づくりに努めるとともに、フリースクールの運営者及び利用家庭に対する補助金等、支援体制の整備に努めます。
- ◇ 教育相談の充実を図るとともに、ICTを活用した学びの保障と新たなスタイルの構築を目指します。
- ◇ 愛と心をつなぐ不登校対策事業におけるサポートルームでの支援の充実を目指して、精神医療面への専門知識や経験を有する事業所と連携して、不登校対策支援員の資質を向上させ、不登校児童生徒に対する支援を推進します。

### 重点方針3

#### 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備

**施策9** : 教育現場のICT化や、老朽化の進んだ校舎・屋内運動場等の改修、トイレ洋式化等、安全安心と学びを充実させる教育環境（ハード面）の整備を推進します。

- ◇ 老朽化した校舎の改修、施設のバリアフリー化、空調設備の整備、トイレの洋式化を進め、更なる教育環境の整備・充実を図ります。

**施策10** : 新しい生活様式の習慣化を図るとともに、新しい生活様式に対応した学校の環境整備を進めていきます。

- ◇ 「新しい生活様式」を踏まえ、保健管理体制や衛生環境の整備、新しい時代の教室環境に応じた指導体制、必要な施設・設備等の整備や支援を充実させます。

**施策11** : 外部人材の参画や、統合型校務支援システム及び学習支援システム等を積極的に活用することにより、学校における働き方改革を着実に実施し、教職員の負担軽減を図ります。

- ◇ 教員の事務業務を補助するスクール・サポート・スタッフや補助員を充実させるとともに、学校支援ボランティア等、地域人材の活用に積極的に取り組みます。
- ◇ ICT機器や業務アプリ、ネットワークシステム等の整備・活用を進め、教育業務の効率化を図ります。教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、心身の健康を保ちながら質の高い教育を提供できる環境を整備し、教育の質を最大化する『学校DX』を推進します。

**施策12** : 教職員に対する各種研修の充実を図り、一人ひとりの専門知識・能力や倫理観の向上を目指します。

- ◇ 児童生徒の喜びが学校の喜びとなり、その喜びを教職員が共有できるような学校組織づくりと、教職員の資質・能力の向上に向けた各種研修の充実を図ります。
- ◇ 学校経営アドバイザーや指導主事が適宜訪問し、学校組織づくりと、若年教職員の資質・能力の向上に努めます。
- ◇ 各種研修において、ワーク・ライフ・バランスや健康管理に係る意識の高揚を図る内容を盛り込み、仕事優先の職場意識の改革を促します。

**施策13** : 少子化が進行する中、今後の学校の在り方について、子どもたちのより良い学びの環境づくりの視点から検討していきます。また、多様な人間関係や経験を広げるなど、広い視野に立った教育活動を実施するため、小中一貫教育を視野に入れながら、保幼・小・中・高・大の校種間の連携を図ります。

- ◇ 異校種（保幼・小・中・高・大）間の連携を密にし、教育内容や児童生徒の共通理解を図り、学びの輪をつなぎ広げます。
- ◇ それぞれの学校種の良さを生かした小・中学校の授業交流を継続的に実施し、小中連携を図

ります。

- ◇ 「小中学生会議」を開催し、児童生徒が自分たちの問題として捉え、いじめ問題等を解決する意識を高めます。
- ◇ いじめ防止等の対策について、「学校いじめ防止基本方針」を基に、継続的・計画的に取り組めます。教師の日常の観察やアンケート調査、教育相談等を通して、早期発見に努めます。
- ◇ 今後の学校の在り方については、『今治市学校適正配置基本方針』に基づき取組を推進し、PTA や地域代表者等と連携して、次代を担う児童生徒にとって最適な教育環境の構築を目指します。

**施策14： 子どもたちが自らの命を守り、安全に行動する態度を育成するため、防災、交通安全、感染症対策等に関する教育を推進していきます。**

- ◇ 児童生徒に、危機の予測・回避能力や、自助・共助の力を身に付けさせるための安全教育・防災教育、交通安全等に関する教育の充実に努めます。
- ◇ 関係機関との連携の下、喫煙・飲酒・薬物乱用の防止に関する指導を推進します。
- ◇ 日常的な衛生意識を高め、感染症対策等に関する教育の充実に努めます。

**施策15： 安全安心な地域の拠点施設及び避難場所等として、公民館等の教育施設の適切な維持・管理に努めるとともに、地域の関係機関と連携した、通学路の安全点検や見守り活動等、子どもたちの安全を確保するための取組を推進していきます。**

- ◇ 交通、災害等に関する情報を記載した通学路マップや防災マップの公開を進めるとともに、コミュニティ・スクールを活用するなど、地域ぐるみで児童生徒の安全・防災対策を講じます。
- ◇ PTA や地域見守り隊と協力し、ネットワークを生かして児童生徒の安全確保に努めます。
- ◇ 問題行動や虐待等には、警察や児童相談所、ネウボウ政策課等との連携を密にして適切に対応します。

## 重点方針 4

### 「i.i.imabari！」教育 version (郷育) の推進

**施策16： 地元産の農林水産物を活用し、「日本一おいしい給食」を提供することで、子どもたちの食に対する関心や理解を高めるとともに、子どもたちの今治愛の育成に繋げていきます。**

- ◇ 栄養教諭、養護教諭などを中心に、正しい食生活の啓発に努めます。
- ◇ 今治の良さを生かした地産地消の給食を行い、「日本一おいしい給食」を提供することで、子どもたちの食に対する関心を高め、健やかな心と体を育てます。
- ◇ 小児生活習慣病に関する個別指導や集団指導を通して、食生活の改善に努めます。

**施策17： 産学官の連携を図りながら、一貫した今治モデル「ふるさとキャリア教育」の充実に努めます。その中で地域で支え育てた子どもに地域の産業を知ってもらい、地域の雇用につながるよう、産業教育を推進していきます。**

- ◇ 小学校ではふるさと今治に誇りと愛着を持ちながら、課題解決能力と進路選択ができる能力の育成に努めます。
- ◇ 中学校では職業・勤労に関する体験（えひめジョブチャレンジU-15、今治ジョブチャレ・キャリアサポート・プログラム）等を通して、自己の生き方や進路を主体的に選択する能力の育成に努めます。
- ◇ 次世代を担い未来を創る今治っ子が、将来に夢や希望を抱き、今治市に戻って働きたい、ずっと暮らしたいと思えるキャリア教育の推進と郷土愛を醸成する「郷育（きょういく）」に取り組みます。

**施策18** : コミュニティ・スクールの充実・発展を図り、保護者及び地域住民の学校運営への参画及び連携強化を進めることにより、一体となって学校教育の質の向上や地域の活性化、児童生徒の健全育成に取り組みます。

- ◇ 社会と連携・協働し、創意工夫しながら社会に開かれた教育課程の編成に努めます。
- ◇ ホームページ、学校だよりなどを通して、積極的に学校の様子を発信します。
- ◇ 学校支援ボランティアや大学生ボランティア等の協力を得て、地域ぐるみで児童生徒を育てる風土を醸成し、持続可能な学校指導體制を整備します。

**施策19** : 見て、触れて、身近に体感できる本物の今治の自然・歴史・文化を教材にすることで、多くの市民が郷土愛を感じ、地域への誇りが持てるよう、ふるさと教育の充実に取り組みます。

- ◇ 小学6年生を対象に、ふるさとキャリア教育のカリキュラムで学んだ今治の魅力ある場所や地域、また、SDGs 実現に取り組む地元企業を巡り、今治を体感・体験する「今治ふるさと魅力体験 (SDGs 体験) プログラム」を実施し、地域の良さを学びます。

## 重点方針5 人生100年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備

**施策20** : 文化芸術活動・スポーツ活動を通して、異世代間の交流を深め、様々な目的やレベルに応じて多様な活動を楽しめる環境の整備に取り組みます。

- ◇ 今治市が誇る文化・芸術・スポーツ・歴史遺産・自然環境等の多種多様な地域資源や各分野で今治を支える魅力ある人々、企業等の地域の力を生かした教育プログラムを、ふるさとキャリア教育で実施します。

**施策21** : 公民館及び図書館や文化施設などの運営管理について検討し、利用率の向上、発信力の強化、採算性の向上で、市民に親しまれる施設に再生します。

- ◇ コミュニティ・スクールの導入による地域と学校が連携した取組の活発化を通して、地域ネットワークを形成し、地域と学校との連携を強化し、活性化につなげます。
- ◇ 児童生徒の居場所としての公民館や図書館のあり方を検討していきます。また、電子図書館などの図書館サービスと学校教育の連携を強化し、児童生徒への情報提供及び学習支援につなげます。さらに学校図書館と市立図書館の連携体制の強化を進めます。

**施策22** : 関係機関と連携を図り、生涯学習や人権教育を充実させるとともに、世代を超えてみんながつながり、活躍できる地域の基盤づくりに取り組みます。

- ◇ 人のために働くすばらしさを認め、励まし、伸ばします。
- ◇ あらゆる差別の解消を目指し、互いに尊重し合う仲間づくりを推進します。
- ◇ 毎月11日を「人権の日」と定め、人権意識の高揚を図ります。
- ◇ 全教育活動を通して、自他の生命と人権を大切にすることを進めます。
- ◇ ボランティア活動を充実させ、主体的に社会に貢献する子どもを育成します。
- ◇ 高齢者や障がいのある人たちとの触れ合い・交流を通して、児童生徒の社会性を育みます。

**施策23** : スポーツを「する」「みる」「ささえる」機会の充実を図り、みんながスポーツの価値を享受し生活の一部とすることで、ライフステージに応じて、楽しく健康で生き生きとしたスポーツ活動ができる環境の整備に取り組みます。

- ◇ 部活動や課外活動を通して、たくましい心を育て、体力・競技力の向上を図ります。
- ◇ 部活動の地域展開を推進し、スポーツ活動に親しむことのできる環境を整備します。
- ◇ 国の改革実行期間である令和8年度から令和13年度までの6年間、地域展開に重点的に取り組みます。その中で、令和10年度中までに休日の部活動の地域展開を進め、令和11年度からはすべての部活動において休日の地域展開の実現を目指します。

# 令和 8 年度 今治市教育行政の重点方針及び事業

今治市では、令和 3 年 10 月、「子どもが真ん中で輝くやさしいまち“今治”～豊かな心と生きる力を育む～」を基本理念とする「今治市教育大綱」を策定しました。今治市教育委員会においては、大綱に定める 5 つの重点方針に基づいた教育行政を推進し、本市教育のより一層の振興と充実を図ります。

令和 8 年度は次の諸施策に重点を置くこととします。

## （重点方針 1）

### 新たな時代（Society5.0）を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進

新学習指導要領に基づき、ICTを最大限に活用するなど、「特色ある教育」を展開する中で、「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましい心と体」を育成し、子どもたちの「生きる力」を育みます。

#### 【基本施策】

①「知・徳・体」のバランスがとれた育成を図る教育を推進し、自ら課題を発見し、自ら解決するために必要な資質・能力を育みます。

- ◇未来の社会を生き抜く児童生徒の資質・能力を育成するために、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行います。
- ◇愛媛大学教育学部との共同研究を通して、授業改善に努めます。
- ◇各種調査等の活用を図り、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、学習指導の改善に努めます。
- ◇ふるさとキャリア教育等において、一人一人の社会的・職業的自立に向けて体験活動や課題解決的活動等の探究的な学習を充実させるなど、思考力・判断力・表現力を育成します。
- ◇児童生徒の発達段階を考慮しながら、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共により良く生きるための基盤となる道徳性を養います。
- ◇子どもの読書活動を支える「学校司書」の配置を充実させ、学校図書館の環境整備や運営の改善及び向上を図り、学校図書館の利用を促進します。
- ◇「児童生徒顕彰」、「がんばる子ども応援賞」等において、認め、励まし、伸ばします。
- ◇互いの良さを認め合ったり、達成感を味わったりできる体験活動を工夫・充実させ、児童生徒の自己肯定感や自己有用感の高揚を図ります。
- ◇先進校等と連携を図り、学校体育の充実に向けて運動に親しむ態度を育てます。
- ◇様々な主体と連携を図りながら、運動に親しむ姿勢を育てるとともに、児童生徒の運動技能の向上に努めます。

② 情報や情報手段を主体的に選択し、活用していくための情報活用能力や情報倫理を身に付け、ICTを最大限に活用することで、新たな時代（Society5.0）を切り拓いていくことができる子どもたちの資質・能力の育成を目指します。

- ◇新たな時代（Society5.0）に必要となる資質・能力を育む授業づくりに努めます。
- ◇発達段階に応じて 1 人 1 台端末をはじめICTを効果的に活用した学習活動や民間プログラミングスクールとの連携により、プログラミング教育を促進します。
- ◇愛媛県ICT教育推進ガイドラインに示されたICT教育プログラム（Can-Do）を活用し、児童生徒の主体的なICT活用を促進します。
- ◇生成AIやSNS等Web上で情報をやりとりする際の情報モラル等の基本的なルール・マナーを、発達段階に応じて計画的に指導します。

③ 児童生徒の実態や授業のねらいに応じてアナログとデジタルの良さを効果的に組み合わせ、授業の質の向上に努めます。

- ◇「一斉学習」、「個別学習」、「協働学習」それぞれの学習場面に応じてICT機器を活用するとともに、読むことや書くことを大切に、学習指導の効果を高めるよう創意工夫を図ります。
- ◇児童生徒の発達や学習の特性に応じて、操作や体験、対話や発表などの活動を取り入れ、体験を通して理解を深め、主体的に学ぶ力を育む授業の充実を図ります。
- ◇1人1台端末や電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域の学校との交流学习において、子ども同士による意見交換、発表などお互いを高め合う学習を行います。

④ 教職員一人ひとりのICT活用指導力の向上を目指した研修を充実し、ICT授業マイスターの育成に努めるとともに、ICT活用事例の提示や優良事例の横展開を図ります。

- ◇愛媛県ICT教育推進ガイドラインに示された教職員のICT活用スキルチェックを活用し、教職員のICT活用指導力の向上を図ります。
- ◇生成AIについては、指導者用タブレットを活用し、実生活における具体的な利便性を示しながら、授業への効果的な取り入れ方を検討します。その上で、児童生徒には生成AIを正しく、かつ効果的に活用できるよう、段階的な指導を重視します。
- ◇児童生徒がSNSやインターネットを安全に活用できるよう、発達段階に応じた情報モラルの指導を計画的に行います。個人情報の扱いや言葉の使い方、情報の見極め方を段階的に教えるとともに、アンケートを活用して心の変化や不安の早期発見に努めます。

◇家庭の状況や児童生徒の発達段階に応じて、学校と家庭が協力してルールづくりを進め、ICT機器の適正な使用を見守る環境を整えます。家庭では、「家庭学習チェックリスト」や「スマホ依存対策アプリ」の周知を通じて、学校と連携した取組を行います。

⑤ 異文化に触れ合う機会を拡充し、我が国や他の国・地域の伝統・文化について関心や理解を深めるとともに、グローバル化に適応できる英語等の語学力やコミュニケーション能力を育成していきます。

◇ALTを現行の17名から40名に大幅に増員し、ALTとの協働による授業づくり、小中学校の接続を意識した指導、そして地域と結び付いた英語活動の充実など、今治型英語教育「今治メソッド」に取り組みます。

◇児童生徒が「生きた英語」に触れる機会の充実を図ります。英語で「話せた」「伝わった」という成功体験を積み重ねることで、児童生徒が英語学習への意欲を高め、自ら学びを深めようとする姿勢を育成します。

◇英語活動を充実させることにより、児童生徒の自己肯定感の向上や学校全体の活力の向上を目指すとともに、将来的には地域全体の活性化にもつなげていきます。

◇イングリッシュキャンプ等を通じて、児童生徒がALTや市内外の留学生と交流する機会を積極的に創出します。今治市の自然・文化・産業といった地域資源を活かし、「ふるさとキャリア教育」とも連携した英語教育を推進することで、地域や国の未来を主体的に考え、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成を図ります。

◇英語力の一層の向上を図るため、英語検定補助等などの支援を充実させ、誰もが英語学習に挑戦できる環境を整備します。

No.	事業名 (担当課)	事業概要	予算額 (千円)	分類
1	子どもの学び支援のための教育連携事業  (教育大綱推進課)	市内の小中高大連携を図り、探究型学習を行うことにより、多様な子どもたちの資質・能力を育成する ・イングリッシュキャンプ開催 5,944【拡充】 外国人講師や留学生と英語でコミュニケーションを楽しみながら英語を身につけるデイキャンプ及びステイキャンプを実施 ▽対象 [デイキャンプ]小学生、[ステイキャンプ]中学生 ▽ALTや市内2大学等に通う大学生参加 ・その他連携事業 105	6,049	1-①
2	知力のアクションプロジェクト  (学校教育課)	児童生徒の基礎学力の定着と学力向上を推進する ・教育研究所の充実 7,995 学校経営アドバイザー、ALTアドバイザー、指定研究、学習アシスタント等の研修機会の確保 ・放課後学習チャレンジ事業 800 ・学生ボランティアの活用 2,103 ・自然科学教室開催 500 ・自然塾環境学習事業 1,207 ・書道展事業 649 ・英語力向上支援事業 14,400【拡充】 英語検定受験料補助 ▽対象：英検3級以上を受検する児童・生徒 スコア型英語技能テスト実施業務委託 ▽内容：中学校の生徒の英語運用力について調査分析 ▽対象：中学3年生 4技能 (R/L/W/S) 中学2年生 3技能 (R/L/W)	27,654	1-① 1-② 3-④
3	体力向上対策事業  (学校教育課)	学校体育や部活動・課外活動の充実により健やかな体を育成する ・中学校部活動の地域移行に関する実証研究 5,577 ・子ども体力向上対策事業 3,500 ・子ども体力向上推進分析等委託 2,500	11,577	1-①
4	豊かな心を育む文化芸術体験事業  (学校教育課)	文化芸術体験により豊かな人間性を育成する ・劇団四季による「こころの劇場」 3,696 ・坊っちゃん劇場観覧 1,699	5,395	1-①
5	デジタル教材の充実  (教育大綱推進課、学校教育課)	デジタル教材を活用した効果的な授業及びプログラミング教育を推進する ・指導者用デジタル教科書 693 (中学校社会科) ・学習者用デジタル教科書 1,880 (算数・数学 文科省の普及促進事業対象外校分) ・授業支援ソフトウェア・ドリルソフトウェアの導入 30,223 (スタディサプリの中学校への全校展開) ・プログラミング教育推進事業 1,000	33,796	1-② 1-④

6	ICT環境の充実  (教育大綱推進課、 学校教育課)	ICT教育を推進し、教員の負担軽減を推進する ・ICT支援員の配置 35,574 機器及びサービス・通信環境の改善を図る。 ・通信環境の整備(小・中学校) 19,805【拡充】 ・ポケトーク f o r スクールの導入 672【新規】	56,051	1-② 1-③ 1-④ 3-①
7	瀬戸内の世界都市に向けたグローバル人材育成事業  (教育大綱推進課、 学校教育課)	瀬戸内の世界都市を目指し、グローバル化に適応できる英語等の語学力やコミュニケーション能力を育成する 児童生徒に生きた英語を提供し、外国語科や外国語活動の学習を支援するための体制の充実を図る ・ALTを配置 [17人→40人] 271,212【拡充】 ・ALTへの研修 1,633(再掲) ・ALTコーディネーターの配置 [1人] 3,191(再掲) ・ALTアドバイザーの配置 [1人] 304(再掲) ・イングリッシュキャンプ開催 5,944【拡充】(再掲) ・英語力向上支援事業 14,400【拡充】(再掲)	296,684	1-⑤

**(重点方針2)**

**誰一人取り残すことのない学びの実現**

経済的理由等により就学困難な子どもや、障がいのある子ども、不登校の子ども、多様な性自認に悩む子どもなど、特別な配慮を必要とする子どもが増加する中で、誰一人取り残すことなく、一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばし、社会の担い手となれるよう、学校・家庭・地域・関係団体が連携を密にし、心と体の居場所の提供や学習支援を図ります。

**【基本施策】**

① スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の、教育や心理・福祉の専門家を各中学校区に配置することで、一人ひとりの子どもに寄り添った支援の充実を図ります。

- ◇ 県の事業を活用し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、ハートなんでも相談員等を配置し、全小中学校で児童生徒や保護者が相談できる支援体制を整えます。
- ◇ 一人ひとりの児童生徒へのきめ細かな指導を充実させるため、幼・小・中学校の教職員間で積極的に情報交換・情報共有を行い、幼小中連携を図ります。
- ◇ 性的指向・性自認に配慮を必要とする児童生徒に対して、きめ細かな対応に努めます。
- ◇ 協働的な生徒指導体制の下、児童生徒の悩み等の早期対応に努めます。

② 特別支援コーディネーター等を中心に、教育相談や校内支援体制を構築するとともに、学習アシスタントや、生活支援員等の配置を充実させることにより、一人ひとりの発達特性を把握し、子どもや家庭のニーズに応じた、きめ細かな支援の充実を図ります。

- ◇ 授業のユニバーサルデザイン化を図り、全ての児童生徒が分かる授業に努めます。
- ◇ 多様な子どもたちが共に学び合う、インクルーシブ教育システムの構築を目指します。
- ◇ 学校生活支援員等の配置を充実させ、障がいのある児童生徒が安心して学べる体制を計画的に整えていきます。
- ◇ 通級指導教室において、巡回指導を行うことにより、特別な教育的ニーズのある全ての児童生徒が、適切な指導を受けられる体制整備に努めます。
- ◇ 日本語指導が必要な児童生徒に対し、個別的教育計画に基づく組織的な指導体制を構築します。多様な文化を尊重し合う心の醸成を図るとともに、外部人材や有用な機器を活用した学習支援・生活支援を強化し、多文化共生社会の担い手を育む教育環境を整備します。

③ 不登校児童生徒に対して、学校復帰や社会的自立に向けて、福祉・医療諸機関と連携しながら、教育相談や適応指導を行うとともに、ICTを活用した学びの保障の新たなスタイルを構築していきます。

- ◇ こすもすの家の機能をさらに充実させるとともに、市内すべての市立小・中学校において校内サポートルームを設置し、支援が必要な児童・生徒が安心して学べる環境を整えます。
- ◇ 不登校等の対応については、継続的な関わりや社会的自立に向けて、こすもすの家、今治市発達支援センター、フリースクール等との連携を密にし、居場所づくりに努めるとともに、フリースクールの運営者及び利用家庭に対する補助金等、支援体制の整備に努めます。
- ◇ 教育相談の充実を図るとともに、ICTを活用した学びの保障と新たなスタイルの構築を目指します。
- ◇ 愛と心をつなぐ不登校対策事業におけるサポートルームでの支援の充実を目指して、精神医療面への専門知識や経験を有する事業所と連携して、不登校対策支援員の能力を向上させ、登校児童生徒に対する支援を推進します。

No.	事業名 (担当課)	事業概要	予算額 (千円)	分類
8	教育相談活動の充実 (学校教育課)	一人ひとりの子どもに寄り添った支援の充実を推進する ・スクールソーシャルワーカーの配置 [4人] 1,986 ・ハートなんでも相談員の配置 6,671 ・スクールカウンセラーの配置 (県費)	8,657	2-①
9	特別支援教育の充実 (学校教育課)	子どもや家庭のニーズに応じたきめ細かな支援の充実を推進する ・学校生活支援員の配置 [70人] 172,714 ・教育相談会の実施、教育支援委員会の開催 90 ・仲よし学習発表会、仲よし運動会 2,405 ・特別支援学級の教育用具購入経費 1,134	176,343	2-②
10	学校支援体制の充実 (学校教育課・教育大綱推進課)	学力水準の向上及び学校における働き方改革を推進する 教員の負担軽減、児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制整備に取り組む ・学習アシスタントの配置 [41人] 102,330 ・外国人語学補助員の配置 [18人] 23,185【拡充】 ・スクール・サポート・スタッフの配置 [10人] 16,682 ・事務補助員の配置 [2人] 5,140 ・学校司書の配置 [3人] 3,348【拡充】	150,685	2-② 2-④
11	不登校児童生徒への支援 (教育大綱推進課、学校教育課)	福祉・医療機関等と連携して教育相談や適応指導を行い、学校復帰や社会的自立を図る ・愛と心をつなぐ不登校対策事業の実施 52,658 全小中学校へ校内サポートルームの運用 不登校対策支援員の配置[78人] ・フリースクール事業費補助 200 ・不登校児童生徒等支援事業 1,364 ・フリースクール等利用児童生徒支援補助 3,600	57,822	2-③

### (重点方針3) 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備

学校施設は子どもたちが一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、災害時には地域住民の避難場所としての役割を果たすことから、その安全性の確保に努めるとともに、新時代の学びを支える教育環境の充実を図ります。社会教育施設等についても、安全で快適な教育環境を整えていきます。

#### 【基本施策】

① 教育現場のICT化や、老朽化の進んだ校舎・屋内運動場等の改修、トイレ洋式化等、安全安心と学びを充実させる教育環境（ハード面）の整備を推進します。

◇老朽化した校舎の改修、施設のバリアフリー化、空調設備の整備、トイレの洋式化を進め、更なる教育環境の整備・充実を図ります。

② 新しい生活様式の習慣化を図るとともに、新しい生活様式に対応した学校の環境整備を進めていきます。

◇「新しい生活様式」を踏まえ、保健管理体制や衛生環境の整備、新しい時代の教室環境に応じた指導体制、必要な施設・設備等の整備や支援を充実させます。

③ 外部人材の参画や、統合型校務支援システム及び学習支援システム等を積極的に活用することにより、学校における働き方改革を着実に実施し、教職員の負担軽減を図ります。

◇教員の事務業務を補助するスクール・サポート・スタッフや補助員を充実させるとともに、学校支援ボランティア等、地域人材の活用に積極的に取り組みます。

◇ICT機器や業務アプリ、ネットワークシステム等の整備・活用を進め、教育業務の効率化を図ります。教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、心身の健康を保ちながら質の高い教育を提供できる環境を整備し、教育の質を最大化する『学校DX』を推進します。

④ 教職員に対する各種研修の充実を図り、一人ひとりの専門知識・能力や倫理観の向上を目指します。

◇児童生徒の喜びが学校の喜びとなり、その喜びを教職員が共有できるような学校組織づくりと、教職員の資質・能力の向上に向けた各種研修の充実を図ります。

◇学校経営アドバイザーや指導主事が適宜訪問し、学校組織づくりと、若年教職員の資質・能力の向上に努めます。

◇各種研修において、ワーク・ライフ・バランスや健康管理に係る意識の高揚を図る内容を盛り込み、仕事優先の職場意識の改革を促します。

⑤ 少子化が進行する中、今後の学校の在り方について、子ども達のより良い学びの環境づくりの視点から検討していきます。また、多様な人間関係や経験を広げるなど、広い視野に立った教育活動を実施するため、小中一貫教育を視野に入れながら、保幼・小・中・高・大の校種間の連携を図ります。

◇異校種（保幼・小・中・高・大）間の連携を密にし、教育内容や児童生徒の共通理解を図り、学びの輪をつなぎ広げます。

◇それぞれの学校種の良さを生かした小・中学校の授業交流を継続的に実施し、小中連携を図ります。

◇「小中学生会議」を開催し、児童生徒が自分たちの問題として捉え、解決する意識を高めます。

◇いじめ防止等の対策について、「学校いじめ防止基本方針」を基に、継続的・計画的に取り組みます。教師の日常の観察やアンケート調査、教育相談等を通して、早期発見に努めます。

◇今後の学校の在り方については、『今治市学校適正配置基本方針』に基づき取組を推進し、PTAや地域代表者等と連携して、次代を担う児童生徒にとって最適な教育環境の構築を目指します。

◇県立学校振興計画を踏まえ、島しょ部地域をはじめとする市内高等学校の維持に向けた取組や、高等学校の特色や魅力ある学校づくりに向けた取組を地域ぐるみで推進するため、高校魅力化提言会議の開催や地域課題に則した各種支援を行います。

⑥ 子どもたちが自らの命を守り、安全に行動する態度を育成するため、防災、交通安全、感染症対策等に関する教育を推進していきます。

◇児童生徒に、危機の予測・回避能力や、自助・共助の力を身に付けさせるための安全・防災教育、交通安全等に関する教育の充実を努めます。

◇関係機関との連携の下、喫煙・飲酒・薬物乱用の防止に関する指導を推進します。

◇日常的な衛生意識を高め、感染症対策等に関する教育の充実を努めます。

⑦ 安全安心な地域の拠点施設及び避難場所等として、公民館等の教育施設の適切な維持・管理に努めるとともに、地域の関係機関と連携した、通学路の安全点検や見守り活動等、子どもたちの安全を確保するための取組を推進していきます。

◇交通、災害等に関する情報を記載した通学路マップや防災マップの公開を進めるとともに、コミュニティ・スクールを活用するなど、地域ぐるみで児童生徒の安全・防災対策を講じます。

◇PTAや地域見守り隊と協力し、ネットワークを生かして児童生徒の安全確保に努めます。

◇問題行動や虐待等には、警察や児童相談所、ネウボラ政策課等との連携を密にして適切に対応します。

◇今治市公共施設個別施設計画に基づき、公民館施設等の耐震化や長寿命化を図ります。

◇公民館施設・設備について定期的な点検等を行い、適切な管理を行います。

No.	事業名 (担当課)	事業概要	予算額 (千円)	分類
12	校舎の大規模改修・長寿命化対策 (教育大綱推進課)	老朽化の進んだ学校環境の改修整備 ・校舎改修工事 近見中(2期工事) 61,200 立花中(1期工事) 57,000 桜井中(1期工事) 60,000 ・校舎等改修工事実施設計 西中 11,600	189,800	3-① 3-⑦
13	インクルーシブ教育に向けた学校施設の整備 (教育大綱推進課)	多様な子どもが通い学びやすい学校環境の整備 ・バリアフリー化工事(2期工事) 141,900 [小学校5校、中学校5校]	141,900	3-①
14	快適な学習環境の整備 (教育大綱推進課)	学びを充実させる学校環境の整備 ・空調設備設置 設備賃借 34,340 特別教室に係る空調設備整備 911,400【新規】 屋内運動場等に係る空調設備整備 アドバイザー業務委託 12,000【新規】 ・トイレの洋式化[小中学校64基] 64,000 ・照明器具の一括LED化(計測検証、維持管理サービス) 小中学校一括LED化事業(ESCO事業)	1,026,304	3-①
15	学校施設の安全対策整備等 (教育大綱推進課)	安全安心の学校環境の整備 ・施設改修 プール改修[桜井小、清水小、波止浜小] 46,500 プールフェンス改修[鳥生小] 9,000 プール解体[宮窪小] 40,500 バスケットゴール[北郷中] 6,500 ・遊具整備[桜井小、清水小] 22,000 ・遊具撤去[小学校7校][中学校7校] 3,533 ・ブロック塀改修[常盤小] 3,000【新規】 ・石塀改修[桜井小] 14,000【新規】 ・設備点検委託(舞台吊物、遊具点検、定期点検) 16,605 ・校内連絡システム設備 7,639【拡充】	169,277	3-① 3-⑦
16	ICTを活用した教職員のスキルアップと負担軽減 (教育大綱推進課、学校教育課)	ICT活用により学校における働き方改革を推進する ・校務支援システムの活用 12,725 ・授業支援ソフトウェア・ドリルソフトウェアの導入 30,223(再掲) スタディサプリの中学校への全校展開 ・CBT(県システム)の活用 2,110 ・学校図書情報管理システム更新・導入 29,877	74,935	3-③
17	教職員等の指導力及び資質の向上 (学校教育課)	各種研修により教職員の専門知識・能力や倫理観の向上を図る ・研究指定による教員の専門知識・能力の向上 2,680(再掲) ・学習アシスタント等への研修実施 28(再掲)	2,708	3-④ 3-⑥
18	学校適正配置の推進 (教育大綱推進課)	第2次今治市学校適正配置基本方針の策定及び地元協議に取り組む ・通学区域調整審議会開催 ・地元代表者協議会開催 ・先進地研修	1,166	3-⑤
19	公民館等整備事業 (生涯学習課)	公民館等の整備計画に沿った機能集約・耐震化等工事 ・伯方支所跡整備工事 9,800 (駐車場)	9,800	3-⑦
20	公民館等管理事業 (生涯学習課)	公民館等の12条建物点検等を踏まえた施設や設備の改修工事 ・エレベーター改修工事(吉海学習交流館) 32,000 ・空調設備改修工事(菊間公民館) 78,000	110,000	3-⑦
21	児童生徒健全育成推進事業 (生涯学習課)	学校・PTA・地域が一体となった研修や教育相談、地域巡回指導、健全育成推進PR事業等への支援 4,860	4,860	3-⑦
22	就学及び通学支援 (教育大綱推進課)	スクールバスの運行及び通学費補助、市奨学金等の運営・支援 ・スクールバス運行 118,000 ・遠距離通学費支援 377 ・今治市奨学金貸付事業 1,239 ・育英会奨学金事業支援(檜垣育英会、河野育英会、加根又育英会) 1,758	121,374	3-⑥
23	高校魅力化推進事業 (教育大綱推進課)	小中学生の進学先である市内高校の魅力化を地域ぐるみで推進・支援する。 ・高校魅力化提言会議 288 ・島しょ部高校生徒の部活動・下宿・通学費支援 15,530 ・教育応援事業 1,818【拡充】 (参考)【しまなみ振興課予算】 島しょ部高校魅力化創造事業 8,000	17,636	3-⑤

## （重点方針4）

### 「i.i.imabari!」教育version（郷育（きょういく））の推進

みんなで今治を盛り上げ、つい夢中になってしまうような今治の魅力を、広く世界に発信する「i.i.imabari!」キャンペーン。教育分野においても、今治の溢れる魅力を身近に感じてもらえる施策を展開し、ふるさと今治を愛し、今治に夢と誇りを持ち、今治に夢中になる人の輪を広げていきます。

#### 【基本施策】

① 地元産の農林水産物を活用し、「日本一おいしい給食」を提供することで、子どもたちの食に対する関心や理解を高めるとともに、子どもたちの今治愛の育成に繋げていきます。

- ◇今治の良さを生かした地産地消の給食を行い、「日本一おいしい給食」を提供することで、子どもたちの食に対する関心を高め、健やかな心と体を育てます。
- ◇学校給食で地元産減農薬米を使用するなど学校における食育や地産地消を推進します。
- ◇安全で安心な学校給食を推進するため、給食施設・設備の整備・充実を計画的に行うとともに、学校給食の衛生管理については「学校給食衛生管理基準等」に沿って適切な衛生管理を行います。また、調理場において、より働きやすい職場環境づくりに努めます。
- ◇栄養教諭、養護教諭などを中心に、正しい食生活の啓発に努めます。
- ◇小児生活習慣病に関する個別指導や集団指導を通して、食生活の改善に努めます。

② 産学官の連携を図りながら、一貫した今治モデル「ふるさとキャリア教育」の充実に努めます。その中で地域で支え育てた子どもに地域の産業を知ってもらい、地域の雇用につながるよう、産業教育を推進していきます。

- ◇小学校ではふるさと今治に誇りと愛着を持ちながら、課題解決能力と進路選択ができる能力の育成に努めます。
- ◇中学校では職業・勤労に関する体験（えひめジョブチャレンジU-15、今治ジョブチャレ・キャリアサポート・プログラム）等を通して、自己の生き方や進路を主体的に選択する能力の育成に努めます。
- ◇次世代を担い未来を創る今治っ子が、将来に夢や希望を抱き、今治市に戻って働きたい、ずっと暮らしたいと思えるキャリア教育の推進と郷土愛を醸成する「郷育（きょういく）」に取り組みます。

③ コミュニティスクールの充実・発展を図り、保護者及び地域住民の学校運営への参画及び連携強化を進めることにより、一体となって学校教育の質の向上や地域の活性化、児童生徒の健全育成に取り組みます。

- ◇学校・PTA・地域が一体となった児童生徒の健全育成活動を推進します。
- ◇社会と連携・協働し、創意工夫しながら社会に開かれた教育課程の編成に努めます。
- ◇ホームページ、学校だよりなどを通して、積極的に学校の様子を発信します。
- ◇学校支援ボランティアや大学生ボランティア等の協力を得て、地域ぐるみで児童生徒を育てる風土を醸成し、持続可能な学校指導体制を整備します。

④ 見て、触れて、身近に体感できる本物の今治の歴史・文化を教材にすることで、多くの市民が郷土愛を感じ、地域への誇りが持てるよう、ふるさと教育の充実に取り組みます。

- ◇小学6年生を対象に、ふるさとキャリア教育のカリキュラムで学んだ今治の魅力ある場所や地域、また、SDGs実現に取り組む地元企業を巡り、今治を体感・体験する「今治ふるさと魅力体験（SDGs体験）プログラム」を実施し、地域の良さを学びます。

No.	事業名 (担当課)	事業概要	予算額 (千円)	分類
24	日本一おいしい学校給食  (学校給食課)	子どもたちの食に対する関心や理解を高め、今治愛を育成する ・学校との連携・協働によるほか、レシピコンテストによる新たなメニュー開発及び提供、親子体験事業など 3,055【拡充】 ・学校給食地元産減農薬米等補助による食育推進 6,500  参考【農林水産課予算】 地産地消推進事業費 13,600	9,555	4-①
25	調理場の改修・長寿命化対策  (学校給食課・教育大綱推進課)	調理場の改修等により、安全安心な給食を提供する ・学校給食施設再編整備基本計画策定支援 5,000【新規】 ・空調設備賃借 [16調理場] 23,400 ・厨房器具更新 44,700【拡充】 真空冷却器 [センター]、食器洗浄機 [朝倉、菊間] スチームコンベクションオープン[清水、朝倉] など ・牛乳保冷库更新 [小学校3台、中学校2台] 4,800【拡充】	77,900	4-①
26	学校給食食材の物価高騰対策等  (学校給食課)	安全安心な給食の提供により、今治愛を育成する ・学校給食子育て応援補助事業 12,870 ・学校給食材料費高騰対応事業 52,026 ・学校給食費無償化支援事業(小学校) 341,974 ・学校給食費非喫食者等支援事業(小学校) 2,007	408,877	4-①
27	未来を創るキャリアスキルプロジェクト  (学校教育課)	産学官の連携によりキャリア教育を推進する ・ふるさと魅力体験プログラム 6,134 ・今治ジョブチャレ・キャリアサポート・プログラム 856 ・今治市ふるさとキャリア教育 2,508 ・ふるさとキャリア教育デジタル副読本更新・運営 363	9,861	4-②
28	児童生徒の健全育成及び地域協働活動推進支援費  (教育大綱推進課)	学校運営協議会が、学校・地域・保護者とともに実施する地域協働活動を推進・支援する ・学校運営協議会活動支援費 2,050 学校運営協議会が実施する健全育成活動、地域活動支援 ▽学校校内清掃について、地域住民や学校体育施設使用団体等の学校関係者に参加協力を依頼 ・学校運営協議会校内清掃ごみ清掃処分費 2,640	4,690	4-③
29	学校支援ボランティアの配置  (学校教育課)	学校の教育活動を支援するボランティアを配置する  活動内容：①学習指導支援 ②環境整備支援 ③学校生活支援	376	4-③

**(重点方針5)**  
**人生100年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備**

人生100年時代を迎え、老若男女だれもが文化芸術、スポーツ活動などに親しむことで、自分の可能性を開花させることができるとともに、大きな社会変革を乗り越え、豊かさを次世代に引き継ぐために、みんなが考え、行動することに喜びを感じられるまちづくりを展開していきます。

**【基本施策】**

① 文化芸術活動・スポーツ活動を通して、異世代間の交流を深め、様々な目的やレベルに応じて多様な活動を楽しめる環境の整備に取り組みます。

◇今治市が誇る文化・芸術・スポーツ・歴史遺産・自然環境等の多種多様な地域資源や各分野で今治を支える魅力ある人々、企業等の地域の力を生かした教育プログラムを、ふるさとキャリア教育で実施します。

② 公民館及び図書館や文化施設などの運営管理について検討し、利用率の向上、発信力の強化、採算性の向上で、市民に親しまれる施設に再生します。

- ◇公民館の講座等の実施など、身近な地域での学習機会の充実に取り組みます。
- ◇学習活動等に関する幅広い情報が得られるよう、SNS等を活用し、公民館等の利用状況や各種講座の開催などの情報提供を行います。
- ◇電子図書館の利用促進や、図書館を身近に感じられる魅力あるサービスの向上を図ります。
- ◇ICTを活用し図書予約サービスを充実させるなど、市民ニーズを的確に把握しながら、魅力ある図書館づくりを推進します。
- ◇島しょ部公民館等に図書館資料窓口を開設するなど、全ての市民がどこに住んでいても等しく図書館サービスが受けられるよう取り組みます。
- ◇図書館に求められる施設像やサービス等について調査・研究を行い、図書館の将来ビジョンを検討します。
- ◇コミュニティ・スクールの導入による地域と学校が連携した取組の活性化を通して、地域ネットワークを形成し、地域と学校との連携を強化し、活性化につなげます。
- ◇児童生徒の居場所としての公民館や図書館のあり方を検討していきます。また、電子図書館などの図書館サービスと学校教育の連携を強化し、児童生徒への情報提供及び学習支援につなげます。さらに学校図書館と市立図書館の連携体制の強化を進めます。

③ 生涯学習を総合的に推進するために関係機関と連携を図り、生涯学習の充実や人権の尊重などを通じて、世代を超えてみんながつながり、活躍できる地域の基盤づくりに取り組みます。

- ◇生涯学習を総合的に推進するため、関係機関と連携を図りみんなが参加できる生涯学習と交流の場づくりを行います。
- ◇生涯学習の指導者を育成し、市民の自主的活動の支援を行います。地域の学びを支える担い手づくりを進めます。
- ◇地域課題解決に繋がる市民の学習や活動を支援します。
- ◇学校・家庭・地域の連携を図り、明るい家庭環境と子どもの居場所づくりを推進します。
- ◇人のために働くすばらしさを認め、励まし、伸ばします。
- ◇あらゆる差別の解消を目指し、互いに尊重し合う仲間づくりを推進します。
- ◇毎月11日を「人権の日」と定め、人権意識の高揚を図ります。
- ◇人権問題の解決を図るために、授業や研修会の充実に努めます。
- ◇全教育活動を通して、自他の生命と人権を大切にする教育を進めます。
- ◇ボランティア活動を充実させ、主体的に社会に貢献する子どもを育成します。
- ◇高齢者や障がいのある人たちとの触れ合い・交流を通して、児童生徒の社会性を育みます。

④ スポーツを「する」「みる」「ささえる」機会の充実を図り、みんながスポーツの価値を享受し生活の一部とすることで、ライフステージに応じて、楽しく健康で生き生きとしたスポーツ活動ができる環境の整備に取り組みます。

- ◇部活動や課外活動を通して、たくましい心を育て、体力・競技力の向上を図ります。
- ◇部活動の地域展開を推進し、スポーツ活動に親しむことのできる環境を整備します。
- ◇国の改革実行期間である令和8年度から令和13年度までの6年間、地域展開に重点的に取り組みます。その中で、令和10年度中までに休日の部活動の地域展開を進め、令和11年度からはすべての部活動において休日の地域展開の実現を目指します。

No.	事業名 (担当課)	事業概要	予算額 (千円)	分類
30	SNSを活用した地域活動 の情報発信  (生涯学習課)	Facebook、X、LINEなどのさまざまな情報発信ツールを活用して、公民館活動の内容を広く発信する。	—	5-②
31	図書館魅力向上事業  (生涯学習課)	図書館を身近に感じられる魅力あるサービスの向上を図る ・電子図書館の利用推進 地域資料のデジタル化による資料保存と発信力の向上 市立小中学校・全児童生徒に利用ID発行 電子雑誌コンテンツ利用による非来館型サービスの充実 1,320 ・島しょ部公民館等に図書館資料貸出窓口運営 600 ・図書館システム更新 6,153 ・今治市立図書館開館100周年記念事業 6,000【新規】	14,073	5-②
32	地域ぐるみで育むえひ めっ子未来創造事業  (生涯学習課)	明るい家庭環境と子どもの居場所づくりを推進する ・地元住民と子どもの交流推進（放課後子ども教室） 2,038 ・家庭教育支援（PTA家庭教育学級） 380 ・子育て学習講座 100	2,518	5-③
33	女性教育支援事業  (生涯学習課)	持続可能な社会の実現に向けた活動や学習機会を支援する ・婦人学級の開講支援（講師謝礼金） 1,000 ・婦人会への地域ふれあい推進事業の委託 1,312	2,312	5-③



# 今治市立学校の教育職員に関する 業務量管理・健康確保措置実施計画

(案)

令和 8 年 4 月

今治市教育委員会

## 目 次

1. 計画の趣旨・現状	3～4
2. 目 標	5
3. 計画の期間	5
4. 実施する業務量管理・健康確保措置の内容	5～8
5. 関連する取組、今後のフォローアップについて	8～9

## 1. 計画の趣旨・現状

### (1) 計画の趣旨

教育職員の業務量の適切な管理と健康・福祉を確保するための措置（業務量管理・健康確保措置）を実施するための計画（業務量管理・健康確保措置実施計画。以下「計画」という。）は、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律（以下「改正給特法」という。）に基づき、教育職員の健康と福祉を確保するために必要な措置を講じることを目的としている。

本市の教育大綱では、「子どもが真ん中で輝くやさしいまち“今治”～豊かな心と生きる力を育む～」を基本理念に掲げ、「家庭」「学校」「地域社会」が一体となって豊かな教育を推進することを目指している。その実現のためには、教育職員一人一人が心身ともに健やかで、やりがいを持って教育活動に取り組める環境を整えることが重要である。

こうした環境づくりの一環として、DX分野において、授業支援システムを導入することで、教材準備のICT化や、児童生徒による話し合い活動の効率化を実現した。また、家庭学習や自主学習においてスタディサプリ等のドリルソフトを活用することで、これまでの採点や教材の準備に費やしていた時間を大幅に短縮することができた。これらの効率化によって生まれたゆとりの時間を、教育職員が子ども一人一人と心を通わせ、きめ細かな指導を行うための「本来の時間」として還元していくことを目指している。

教育職員が過度な負担を抱えることなく、子どもと向き合う時間や授業づくりに必要な時間を確保できることは、教育の質を高め、子どもたちの健やかな成長を支えるために欠かせない。また、業務の効率化や業務内容の見直し等を通じて、教育職員が専門性を十分に発揮できるようにすることは、教育活動への充実感や働きがいの向上にもつながる。

今治市教育委員会としては、教育職員が子ども一人一人と向き合う時間を確保し、より質の高い教育活動を推進するとともに、教育職員のワーク・ライフ・バランスと働きがいの更なる向上を図ることを目指し、本計画を策定する。

### (2) 本市の現状

- 本市では、令和元年12月に、「今治市立学校の教師の勤務時間の上限に関する方針」や「今治市立学校の業務改善方針」を策定し、教育職員の時間外在校等時間の管理及びその時間の縮減に取り組んできた。
- 愛媛県教育委員会が愛媛大学と連携して令和2年度から実施している、「小中学校における働き方改革における意識調査」の結果を分析し、教育職員の「働きがい」に関しての意識向上を視点とした業務改善の推進に努めている。
- こうした取組の結果、近年の本市における教育職員の時間外在校等時間や「働きがい」等に関する意識調査の状況は、以下のとおりであった。

【校種別 時間外在校等時間の状況】（令和6年度）

	月平均	年 360 h 以内	～45 h 未満	45～80 h 未満	80 h ～
小学校	月 35.6 h	30.5%	66.3%	31.0%	2.7%
中学校	月 35.2 h	34.8%	70.0%	28.0%	2.0%

【職種別 時間外在校等時間の状況】（令和6年度）

	月平均	年 360 h 以内	～45h 未満	45～80 h 未満	80 h ～
校長	29.2 h	57.5%	84.8%	14.4%	0.8%
教頭	51.0 h	7.7%	46.6%	44.9%	8.5%
教諭等	35.4 h	32.7%	67.7%	30.0%	2.3%

- 時間外在校等時間が 45 時間を超える割合は、約 30%である。割合は高くはないが、月 80 時間を超える教育職員も存在する。職種では、教頭の割合が高い。学校現場の状況から、依然として生徒指導や保護者対応、教材研究、部活動などの業務の負担感が大きく、適材適所の人員配置や役割分担、部活動地域展開の促進等を図ることによって、教育職員の時間的余裕の創出や子どもと向き合う時間の確保が急務となっている。

【働きがい等の状況】「小中学校における働き方改革における意識調査」

	ワークエンゲージメント	主観的幸福感	抑うつ傾向	学びの実践
R 7 県平均	30.4	6.5	5.0	4.6
R 7 市平均	29.8	6.3	5.5	4.7
R 6 市平均	29.9	6.3	5.0	4.4
R 5 市平均	30.2	6.2	5.4	4.3

愛媛大学教職大学院 露口教諭の研究及び調査より

- ・ワークエンゲージメント：「やりがい」（0→5 4 高い方がよい）
- ・主観的幸福感：「ワーク・ライフ・バランス」（0→1 0 高いほうがよい）
- ・抑うつ傾向：「メンタルヘルス」（2 4→0 低い方がよい）
- ・学びの実践：「専門性を育む」「講座等への参加」等（0→9 高い方がよい）

- 県全体の数値と比較して、本市の教育職員の「働きがい」は、県平均、もしくは若干ではあるが、低い結果となっている。
- こうしたことを踏まえ、改正給特法第 8 条に基づき、本計画を策定するものである。

## 2. 目標

### (1) 時間外在校等時間に関する目標

- ① 各学期における1月の平均時間外在校等時間が80時間を上回る教育職員の割合を0%とする。
- ② 各学期における1月の平均時間外在校等時間が45時間を上回る割合を、20%以下にする。
  - ・ 学期ごとに①及び②の目標達成状況を確認し、学校への指導や助言を随時行うことで、年度末の目標達成を目指す。その結果、教育職員一人当たりの1か月時間外在校等時間が平均30時間に近づくように努める。

### (2) ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標（【 】内はR6年度の数値）

- ・ 夏季休暇5日の取得率を100%とする。【99%】
- ・ 年間の年次有給休暇の取得日数10日以上を100%とする。【87.3%】  
(新規採用教育職員を除く。)
- ・ ストレスチェックにおける高ストレス者の割合を5%までに減少させる。【10.6%】
- ・ 「小中学校における働き方改革における意識調査」における働きがいに関する4項目において、県の平均値を上回る。【1/4項目】
- ・ 「今治市運動部（文化部）活動の在り方に関する方針」に基づき、休養日（平日1日、土・日の内1日）の設定と活動時間（平日2時間程度、休日3時間程度）を順守する。
- ・ 中学校部活動の地域展開を拡充し、令和10年度末を目標に、休日の運動・文化部活動を地域に完全展開する計画を進める。

## 3. 計画の期間

令和8年度から令和11年度まで(ただし、毎年、目標数値の見直しを行う。)

## 4. 実施する業務量管理・健康確保措置の内容

本市では、本計画期間中の重点目標として、以下の内容に取り組む。

### (1) 「業務の3分類」を踏まえた業務の見直し

#### ① 学校以外が担うべき業務

##### ● 登下校時の通学路における日常的な見守り活動等

- ・ 各地域の実情を踏まえつつ、児童生徒の登下校の時間帯に、保護者や各小学校区のみもり隊、学校支援ボランティアなどに協力を依頼し、登下校時の通学路の見守り活動を推進する。

- 放課後から夜間などにおける校外の見回り、児童生徒が補導されたときの対応
    - ・ 放課後から夜間（学校管理下外）における見回りについては、警察や青少年センターが行っている補導活動や巡視活動に委ねることとし、学校における自主的な見回り活動は原則行わないこととする。また、今治市青少年問題協議会や児童・生徒をまもり育てる協議会、生徒指導主事会等において、補導された児童生徒の引取りについては、保護者が第一義的な責任を負うことについて認識を共有する。
  - 学校徴収金の徴収・管理
    - ・ 令和9年度より、学校徴収金システムを導入し、学校での現金取扱い業務を無くす。（岡村小・関前中は除く）
  - 保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等において、学校では対応が困難な事案への対応
    - ・ 市長部局や県との連携を強化し、学校では対応できない過剰な苦情や不当な要求（カスタマーハラスメント）等に対しては、市の顧問弁護士や県のスクールロイヤー制度を活用して相談や対応に当たる。
  - 学校を経由したチラシ等の周知方法の見直し
    - ・ 「市立小中学校を経由したチラシ等の周知に関する運用方針」を策定し、学校外部の団体等から学校を経由して児童生徒及び保護者に対し配布されるチラシ等印刷物について、配布の承認に関する取扱いを明確化するとともに、本市ホームページ内の「小学校・中学校向けイベントチラシ等掲載ページ」に掲載する基準を定め、学校を経由した印刷物配布の内容及び方法を適正化する。（令和7・8年度を移行期間とし、令和9年度からは、原則、紙媒体でのチラシ等配布は行わない。）
- ② 教員以外が積極的に参画すべき業務
- 部活動の地域展開
    - ・ 令和6年度より「部活動地域展開実証事業」を活用し、できる種目から休日の部活動を地域展開へと移行している。令和7年度より更に拡充し、令和10年度末までに休日の運動・文化部活動を完全に地域展開へと移行していく計画を進める。
- ③ 教員の業務だが、負担軽減を促進すべき業務
- ICT機器、システムの充実
    - ・ 授業支援システムや学習支援ソフト等を活用することにより、教材準備や採点等に費やす時間を短縮する。
    - ・ 校務支援システムの機能や愛媛県が開発したCBTシステム（EILS）等を効果的に活用することにより、授業準備や採点業務、

成績処理等に係る事務負担を軽減する。

- グループウェアを刷新し、教育職員間、各学校と教育委員会間での情報共有を強化するとともに、業務効率化を図る。

● 授業準備等への支援

- 授業者が子どもと向き合う時間を確保するために、授業準備や事務業務を補助するスクール・サポート・スタッフ（SSS）を配置するとともに、学校支援ボランティアや、大学生による有償ボランティアを登録し、授業補助や学校生活補助として学校に派遣する。
- ICTを活用した授業力を向上させるため、ICT支援員を配置する。

● 支援が必要な児童生徒、家庭への対応

- スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）、ハートなんでも相談員等の専門的な知見を活用しつつ情報交換を密にした相談支援体制の更なる構築を図る。
- 授業において、配慮が必要な児童生徒に対して、学習の支援を行う学習アシスタントを配置する。
- 特別支援学級の児童生徒を対象に、学校生活全般への支援として学校生活支援員を配置する。
- 令和4年度より本市独自の不登校対策事業「愛と心をつなぐ不登校対策事業」を開始し、令和5年度より愛媛県で初めて全小中学校（岡村小・関前中は除く）に校内サポートルームを開設した。不登校対策支援員を配置して不登校傾向にある児童生徒の安全・安心な居場所づくりの支援体制を構築している。また、年4回、不登校対策支援員研修会を実施し、講師を招いての不登校支援の研修や支援員同士のサポートルームのより良い運営の在り方等についての情報共有を行っている。サポートルームの利用状況については、以下のとおりである。

	サポートルーム利用者数		
	小学校	中学校	合計
令和5年度	61	62	123
令和6年度	71	107	178
令和7年度 (12月末現在)	76	111	187

(2) 学校における措置の推進

学校における以下の措置を推進することで、教育職員が担う業務の適正化を図る。

- 「チーム担任制」を導入し、一つの学級や学年を複数の教育職員が協働して受け持つ体制づくりに取り組む。従来のように一人の学級担任が全ての学級運営・指導・保護者対応等を担うのではなく、複数の教育職員がチ

ームとして児童生徒を支え、「一人で抱え込まない学校づくり」を目指すとともに、教育職員間の連携を深め、教育の質向上及び働き方改革の推進を図る。

- ・ 各学校の教育課程における年間授業時数や週の授業時数については、年度当初の計画段階で真に必要な時数となるように設定する。特に、標準授業時数が大幅に上回っている場合は、指導体制の見直しを行い、教育職員のゆとりの時間を創出する。
- ・ 当初のねらいが形骸化し、十分な効果が見込めない活動等の見直し、清掃活動・頻度の見直し、放課後に行っている活動を勤務時間内での設定にするなど、日課表の点検・工夫を行う。
- ・ 休日及び勤務時間外の対応として、学校設置の電話機に通話録音装置、及び自動音声システム（休日・時間外における業務終了アナウンス自動応答装置）を導入し、業務改善の推進を図る。

### (3) 教育職員の健康及び福祉の確保に関する取組

教育職員の健康及び福祉を確保するため、労働安全衛生法等の規定を順守するとともに、以下の内容に取り組む。

- ・ 1月の時間外在校等時間が100時間を超える教育職員又は連続する2月から6月のそれぞれの期間における各月の時間外在校等時間の1月当たりの平均時間が80時間を超える教育職員は、産業医による面接指導を実施する。
- ・ 各学校も含め、ストレスチェックの実施率を100%にし、実施後の分析結果等を活用して職場改善を推進する。また、必要に応じて個人に対して産業医による面接を行う。
- ・ 年次有給休暇について、まとまった日数を連続して取得できるよう、各学校に対して取得を促進する。
- ・ 各学校に対して、教育職員がリフレッシュすることを目的に、長期休業期間中(夏季休業期間及び冬季休業期間)に週休日及び祝日を含めた連続7日以上为学校閉庁日を設ける。
- ・ 教育職員が健康で安心して働く環境づくりを推進するための相談窓口が活用できるよう、積極的に周知を図る。(教育職員健康相談室・メンタルヘルスさくらさん[A I 診断]、産業医面接相談等)

## 5. 関連する取組、今後のフォローアップについて

- (1) 教育委員会は、この計画における取組の着実な実行を図るため、各学校の教育職員の時間外在校等時間の状況、及び愛媛県教育委員会が実施する意識調査から教育職員のやりがい等を把握し、毎年度、定例教育委員会及び総合教育会議において報告する。
- (2) 各小中学校の校長は、学校運営協議会において、学校運営に関する基本的な方針の中に、業務量管理・健康確保措置の実施に関する内容を含め、

承認を得る。また、年度末に取組状況を報告する。

- (3) 時間外在校等時間にかかる目標の達成状況については、本市で導入している校務支援システムで把握し、その他の目標については、本市で導入しているストレスチェックの結果から把握する。
- (4) 教育委員会において各学校の状況を確認し、本計画の内容に照らして課題が見られるときは、当該学校に聞き取りを実施し、指導や助言を行う。特に、時間外在校等時間が長時間となっている教育職員がいる学校や業務の持ち帰り、休憩時間の確保が課題となっている学校に対しては、当該年度中にも速やかに状況が改善されることを目指し、当該学校に対する個別の支援・指導を行う。
- (5) 各学校における働き方改革の取組が進むよう、校長会や教頭会等、様々な機会を捉え、各学校へ本計画の周知を行う。各学校においては、校長をはじめとした管理職のリーダーシップの下、学校運営協議会における協議等も踏まえつつ、本計画に基づき、教育職員の働き方改革に向けた取組を実施する。
- (6) 保護者や地域の理解を促進するため、各学校で学校運営協議会等を中心に「業務の3分類」である「学校以外が担うべき業務」「教師以外が積極的に参画すべき業務」「教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務」をはじめとする業務量管理・健康確保措置の内容について周知を行い、協力が得られるよう依頼する。また、教育委員会も地域や保護者団体など、あらゆる機会を捉えて周知するとともに、学校への協力を依頼していく。
- (7) 学校生活での児童生徒等の支援及び教育職員の負担軽減に関わる学校生活支援員や学習アシスタント、不登校対策支援員、スクールサポートスタッフ（SSS）など、人材の確保については、県や市関係部局と連携しながら、引き続き取り組んでいく。

## 資料6

## 寄 附 採 納

採納年月日	寄附金額	寄附者	備 考
7. 12. 22	1,000,000	今治市大西町九王甲1666番地 有限会社アートハウス 代表取締役 鴨崎 民彦	教育支援費

採納年月日	寄附物件	評 価 額	寄 附 者	備 考
8. 1. 9	デジタルカメラ 26 台 SDHC メモリーカード 26 枚	470,000	今治市末広町二丁目1番27号 今治ルミナスクラブ 会長 長野 佐恵美	市内小学校
8. 1. 22	書籍 52 冊	101,816	今治市中寺781番地5 株式会社サチクル 代表取締役 村上 博司	市内小学校